

地域保育学科（～2018 年度入学生）

2019 年 12 月 11 日 更新

科 目 名	子どもの保健Ⅰ		単 位 数	4	実務経験	担当教員	み た のりこ 味 田 徳子
ナンバリングコード	AHS2211	授業形態	講義	有・無			
授 業 の 内 容	子どもの健康と保健の意義について学ぶ。 前期では、「健康や保健の概念」「発育・発達の特徴」「心の健康」「子どもの食生活と栄養」「生命の仕組み」など、からだや心の基本的知識について習得する。 後期では、「子どものかかりやすい病気」「感染症の予防」「子どもの事故」「保育環境」など、保育現場における具体的な事柄について学ぶ。						
到 達 目 標	1. 乳幼児の発育・発達についての基礎知識を習得し、一人ひとりに応じた客観的な評価ができる。 2. 子どもの病気について理解し、適切な対応ができる。 3. 発達段階に応じた事故を予防し、また発生時の対応ができる。 4. 望ましい保育環境を整え、子どもおよび保育者の健康を守ることができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1）2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	授業オリエンテーション 子どもの健康と保健の意義① 保育における子どもの保健	予習	健康とは何かについて考える		
				復習	第 1 回プリント見直し・まとめ		
	第 2 回	内容	子どもの健康と保健の意義② 健康の概念と小児保健統計	予習	合計特殊出生率について調べる		
				復習	第 2 回プリント見直し・まとめ		
	第 3 回	内容	子どもの発育・発達	予習	発育・発達とは何か調べる		
				復習	第 3 回プリント見直し・まとめ		
	第 4 回	内容	発育の評価	予習	発育の評価の方法について調べる		
				復習	第 4 回プリント見直し・まとめ		
	第 5 回	内容	運動機能の発達	予習	原始反射について調べる		
				復習	第 5 回プリント見直し・まとめ		
	第 6 回	内容	精神機能の発達① 精神発達の概要	予習	ボルトマンの「生理的早産」について調べる		
				復習	第 6 回プリント見直し・まとめ		
	第 7 回	内容	精神機能の発達② 言葉の発達を支えるもの	予習	フリードリヒ 2 世の人体実験について調べる		
				復習	第 7 回プリント見直し・まとめ		
	第 8 回	内容	生理機能の発達	予習	自分の体温を起床時、各食前後、入浴後測定する		
				復習	第 8 回プリント見直し・まとめ		
	第 9 回	内容	感覚機能の発達	予習	感覚器の働きについて考える		
				復習	第 9 回プリント見直し・まとめ		
	第 10 回	内容	子どもの心の健康	予習	保育園・幼稚園の役割について考える		
				復習	第 10 回プリント見直し・まとめ		
	第 11 回	内容	特別な配慮が必要な子どもたち① 慢性疾患	予習	子どもの慢性疾患について調べる		
				復習	第 11 回プリント見直し・まとめ		
	第 12 回	内容	特別な配慮が必要な子どもたち② 児童虐待	予習	虐待としつけのちがいでについて考える		
				復習	第 12 回プリント見直し・まとめ		
	第 13 回	内容	特別な配慮が必要な子どもたち③ 発達障害	予習	発達障害の種類について調べる		
				復習	発達障害のサポートについてまとめる		
	第 14 回	内容	子どもの食と栄養① 乳汁・離乳食	予習	子どもにとって栄養の必要性について考える		
				復習	第 14 回プリント見直し・まとめ		
	第 15 回	内容	子どもの食と栄養② 幼児食 食育 食中毒 前期まとめ	予習	離乳期以降の発達について確認する		
				復習	食育の内容についてまとめる		
	第 16 回	内容	子どもの健康状態の把握	予習	自分の体調が悪い時の状態を考える		
				復習	第 16 回プリント見直し・まとめ		
	第 17 回	内容	体調の良くない子どもの対応	予習	子どもの身体的特徴について考える		
				復習	第 17 回プリント見直し・まとめ		
	第 18 回	内容	子どものかかりやすい病気① ウイルス性、細菌性感染症	予習	子どもの主な感染症について調べる		
				復習	第 18 回プリント見直し・まとめ		
	第 19 回	内容	子どものかかりやすい病気② 呼吸器、耳、鼻、喉の病気	予習	呼吸器官の位置や働きについて調べる		
				復習	第 19 回プリント見直し・まとめ		
	第 20 回	内容	子どものかかりやすい病気③ 消化器の病気	予習	消化器官の位置や働きについて調べる		
				復習	第 20 回プリント見直し・まとめ		

授 業 計 画	第 21 回	内 容	子どものかかりやすい病気④ 循環器の病気	予 習	循環器官の位置や働きについて調べる
				復 習	第 21 回プリント見直し・まとめ
	第 22 回	内 容	子どものかかりやすい病気⑤ 泌尿器、血液の病気	予 習	泌尿器・血液の働きについて調べる
				復 習	第 22 回プリント見直し・まとめ
	第 23 回	内 容	子どものかかりやすい病気⑥ 免疫、アレルギー	予 習	免疫とは何か調べる
				復 習	第 23 回プリント見直し・まとめ
	第 24 回	内 容	子どものかかりやすい病気⑦ 皮膚、眼、脳・神経の病気	予 習	アトピー性皮膚炎について調べる
				復 習	第 24 回プリント見直し・まとめ
	第 25 回	内 容	子どものかかりやすい病気⑧ その他の病気(SIDS、SBS、MCLS など)	予 習	乳幼児突然死症候群について調べる
				復 習	第 25 回プリント見直し・まとめ
	第 26 回	内 容	感染症の予防、予防接種	予 習	最新予防接種スケジュールを見ておく
				復 習	第 26 回プリント見直し・まとめ
	第 27 回	内 容	学校感染症、健康診断	予 習	健康診断の内容について調べる
				復 習	第 27 回プリント見直し・まとめ
	第 28 回	内 容	子どもの事故 子どもに多い事故・園で起こりやすい事故 子どもに多いケガ、症状の対処	予 習	園で起きやすい事故について考える
				復 習	第 28 回プリント見直し・まとめ
	第 29 回	内 容	保育環境	予 習	居心地の良い環境について考える
				復 習	第 29 回プリント見直し・まとめ
	第 30 回	内 容	健やかな育ち、保育者の健康管理 後期まとめ	予 習	自分の健康管理法について考える
				復 習	第 30 回プリント見直し・まとめ
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	課題は採点后、返却する。定期試験実施後、解答・解説を行う。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ○ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ 80％）、レポート・課題（ 10％）、作品・発表（ 0％）、実技（ 0％）、授業態度（ 10％）				
教科書	『これだけはおさえたい！保育者のための子どもの保健Ⅰ』（鈴木美枝子編著、創成社）				
参考文献	『よくわかる子どもの保健Ⅰ』（竹内義博他、ミネルヴァ書房） 『図表で学ぶ子どもの保健Ⅰ』（加藤忠明他、建帛社）				
注意事項	・遅刻者はクラス、番号、氏名、理由を述べて着席して下さい。 ・前回欠席者は前回配布プリントの有無を確認し、授業開始前に申し出て受領して下さい。				

科 目 名	児 童 家 庭 福 祉		単 位 数	2	実務経験	担当教員	あきやま ひろこ 秋 山 展 子	
ナソバ・リンク・コート*	SWS2222		授業形態	講義	有・無			
授 業 の 内 容	現代社会における児童の成長・発達、生活実態や子ども家庭福祉の歴史的変遷、理念や意義について学ぶ。子どもの人権擁護についてや制度や実施体系等について理解する。子ども家庭福祉の動向と展望について理解する。							
到 達 目 標	1．専門職のあり方や児童福祉と環境との関わりの問題を理解している。 2．相談援助活動や家族支援のための施策等について理解している。 3．児童福祉関係法とサービス体系の供給を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科 ①・2・3・④・5）文化表現学科（1・2・3・4）							
授 業 計 画	第 1 回	内 容	現代社会と子ども家庭	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内 容	子どもの育ち、子育てのニーズ	予習	教科書「現代児童福祉」章の前半を読んでおく			
				復習	プリントを中心に内容をまとめる			
	第 3 回	内 容	子ども家庭福祉とは何か	予習	教科書「現代児童福祉」章の後半を読んでおく			
				復習	プリントを中心に内容をまとめる			
	第 4 回	内 容	子どもと家庭の権利保障	予習	教科書「子どもの権利擁護」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に内容をまとめる			
	第 5 回	内 容	子ども家庭福祉にかかわる法制度	予習	教科書「児童福祉法体系」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に内容をまとめる			
	第 6 回	内 容	子ども家庭福祉の実施体制	予習	教科書「実施体系」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に内容をまとめる			
	第 7 回	内 容	子ども家庭福祉の専門職	予習	教科書「専門職」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に内容をまとめる			
	第 8 回	内 容	子ども家庭にかかわる福祉・保健	予習	教科書「母子保健」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に内容をまとめる			
	第 9 回	内 容	児童健全育成	予習	教科書「健全育成」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に内容をまとめる			
	第 10 回	内 容	ひとり親家庭の福祉	予習	教科書「子育て家庭支援」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に内容をまとめる			
	第 11 回	内 容	児童虐待対策	予習	教科書「要保護児童支援」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に内容をまとめる			
	第 12 回	内 容	非行児童・情緒障害児への支援	予習	教科書「少年非行」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に内容をまとめる			
	第 13 回	内 容	子どもと家庭にかかわる女性福祉	予習	教科書「保育サービス」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に内容をまとめる			
	第 14 回	内 容	子ども家庭への援助活動	予習	教科書「連携支援」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に内容をまとめる			
	第 15 回	内 容	これまでのまとめ	予習	教科書・プリントの内容を整理する			
				復習	学習内容をまとめて、学習成果を振り返る			
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	・小テストを行い、試験後に解答を示し、解説をおこなう。 ・提出物等について確認を行う。						
	成績評価	試験期間における定期試験： 実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（50%）、レポート・課題（20%）、授業態度（30%）※講義の中で必要に応じて小テストをおこなう。						
教科書	『保育者養成シリーズ 新版・児童家庭福祉論』（山崎順子・高玉和子・和田上貴昭編著、一芸社） 『子育てとケアの原理』（高橋貴志監修、望月雅和編著、北樹出版）							
参考文献	なし							
注意事項								

科 目 名	総 合 演 習 I		単 位 数	2	実務経験	担当教員	はしもとようこ あさぎなおみ ほしのおさむ 橋 本 洋 子 ・ 浅 木 尚 実 ・ 星 野 治
ナソバ®リンク®コード*	CHS2218		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	少子社会が進む中様々な対策がなされているが、子どもが安心して育つ環境が十分に整えられているとはいえない。そこで、本演習では、3グループに分かれて子どもを取り巻く実状を様々な視点から捉え、理解し、視野を広げるとともに、保育者として適切な対応ができる保育力を養う。また、次年度に開講される総合演習Ⅱ（卒業研究）のテーマや作業方針を決めるためのヒントを習得する。						
到 達 目 標	1. 文献検索や発表を通して、保育者として必要な知識・情報を得るための適切な手段を身につけている。 2. 子どもと読書についての知識を習得し、適切な方法を身につけている。 3. 弱者を守ることの意味を考えながら、防災に対する心構えを習得している。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（①・②・3・④・⑤）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	合同授業 ガイダンス：本演習のねらい、進め方	予習	シラバスに目を通し授業形態を理解する		
				復習	配布資料の内容を確認する		
	第 2 回	内容	橋本01 健康の意義を考える ビデオ「病の起源」	予習	自らの生活を振り返り「健康」について考える		
				復習	ビデオからの学びをレポートにまとめる		
	第 3 回	内容	橋本02 子どもの健康・食生活の現状 論文の検索、研究テーマの選択	予習	子どもの健康に関連する情報を収集する		
				復習	研究テーマを考える		
	第 4 回	内容	橋本03 論文・資料の読み方 文献調査(1)	予習	収集した論文を精読する		
				復習	収集した論文・資料をまとめる		
	第 5 回	内容	橋本04 文献調査(2) 発表準備（PowerPoint 作成）	予習	図書館でテーマに必要な資料を探す		
				復習	発表内容をまとめる		
	第 6 回	内容	橋本05 文献調査(3) 発表レジュメの提出	予習	発表スライドをまとめる		
				復習	発表に必要なスライド作成、資料を確認する		
	第 7 回	内容	橋本06 研究発表(1)	予習	発表の準備をする		
				復習	各発表の内容をまとめる		
	第 8 回	内容	橋本07 研究発表(2)	予習	発表準備・発表予定学生のレジュメ確認		
				復習	各発表の内容をまとめる		
	第 9 回	内容	橋本08 研究発表(3) まとめ	予習	発表準備・発表予定学生のレジュメ確認		
				復習	研究方法・発表を振り返る		
	第 10 回	内容	合同授業 学外授業にむけて	予習	各教員の指示にしたがう		
				復習	学外学習の意義・目的を理解する		
	第 11 回	内容	浅木01 子どもと読書	予習	自分の読書体験を振り返る		
				復習	自分の読書体験をまとめる		
	第 12 回	内容	浅木02 ファレンスとは何か？	予習	レファレンスとは何かを調べる		
				復習	レファレンスとは何かをまとめる		
	第 13 回	内容	浅木03 レファレンスのパワーポイント作成	予習	プリントの質問の答えを調べる		
				復習	レファレンスのパワーポイントをまとめる		
	第 14 回	内容	浅木04 ブックトークとは何か？	予習	ブックトークのテーマを考える		
				復習	テーマに沿った内容をまとめる		
	第 15 回	内容	浅木05 ブックトーク	予習	テーマに沿って本の準備をする		
				復習	ブックトークをまとめる		
	第 16 回	内容	浅木06 発表(1)	予習	発表の準備をする		
				復習	発表全般の振り返りをする		
	第 17 回	内容	浅木07 発表(2)	予習	発表の準備をする		
				復習	発表全般の振り返りをする		
	第 18 回	内容	浅木08 発表(3)	予習	発表の準備をする		
				復習	発表全般の振り返りをする		
	第 19 回	内容	星野01 防災の基礎知識	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	配布資料の内容を理解する		
	第 20 回	内容	星野02 文芸作品と防災(1)	予習	防災関連の文字作品を選択する		
				復習	作品のあらすじをまとめる		

授 業 計 画	第 21 回	内容	星野 O 3 文芸作品と防災 (2)	予習	前回選択した作品を精読する
				復習	作品に対する鑑賞文を作成する
	第 22 回	内容	星野 O 4 保育と防災	予習	必要な参考書を通読しておく
				復習	保育と防災の関連をまとめる
	第 23 回	内容	星野 O 5 文芸作品と防災 (3)	予習	防災関連の映像作品を選択する
				復習	作品の概要を整理する
	第 24 回	内容	星野 O 6 文芸作品と防災 (4)	予習	前回選択した作品を上映する
				復習	作品に対する感想文を作成する
	第 25 回	内容	星野 O 7 防災関連の最新情報	予習	作業内容を予め確認する
				復習	ネットサーフィンを行う
	第 26 回	内容	星野 O 8 演習まとめ	予習	これまでの予習内容を振り返る
				復習	防災に関する見解をまとめる
	第 27 回	内容	学外授業	予習	学外学習の意義を理解する
				復習	学外授業での学びをまとめる
	第 28 回	内容	合同授業 総合演習Ⅱ（卒業研究・ゼミ）への準備	予習	各ラウンドでの学びをまとめる
				復習	卒業研究の意義を考える
	第 29 回	内容	合同授業 女子教育を考える（ビデオ）	予習	学びを振り返る
				復習	女性の職業について考える
第 30 回	内容	合同授業・まとめ 保育者としての心構え（ビデオ）	予習	学びを振り返る	
			復習	保育者となる責任と自覚を考える	
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	発表後（または授業終了時）の振り返りシートで課題を確認し、返却する。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（40％）、発表（40％）、授業態度（20％）				
教科書	必要に応じて随時紹介する				
参考文献	必要に応じて随時紹介する				
注意事項	この演習は、A、B各クラスを3グループに分け、グループ毎に演習8回を1ラウンドとするオムニバス形式が中心となる。詳細は初回の合同授業（オリエンテーション）で説明する。ラウンド毎に研究発表を行うため、各ラウンドの担当教員の指導・指示に従うこと。ラウンド毎に2/3以上の出席が必要となるので注意すること。校外学習を実施するが、詳細については授業内で説明する。				

科 目 名	総合演習Ⅱ（卒業研究）		単位数	2	実務経験	担当教員	加賀谷崇文
ナンバリングコード	CHS2228	授業形態	演習	有・無			
授 業 の 内 容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じ、保育者として必要な専門的知識をさらに深める。 研究テーマとしては、臨床心理学に関連する「母子関係」「保育者のメンタルケア」「子育て支援」などを中心とする。						
到 達 目 標	1. 自分の興味がある研究分野を理解している。 2. 自分に必要な情報を収集することができる。 3. 論理的な思考力を持っている。 4. 自らの思考を言語化できる。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7） 地域保育学科 ①・②・③・④・⑤ 文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第 1 回	内 容	ゼミに関するイントロダクション	予 習	シラバスを読んでおく		
				復 習	一年間のスケジュールを整理する		
	第 2 回	内 容	自分の興味がある研究分野についての発表	予 習	研究テーマを考えておく		
				復 習	指摘された点を整理する		
	第 3 回	内 容	研究論文の読み方	予 習	研究論文に目を通しておく		
				復 習	もう一度研究論文を読んでおく		
	第 4 回	内 容	研究の種類	予 習	さらに多くの研究論文をみておく		
				復 習	指導内容の整理		
	第 5 回	内 容	研究の進め方	予 習	読んだ研究論文の研究方法を確認しておく		
				復 習	指導内容の整理		
	第 6 回	内 容	過去の卒業研究の読み込み	予 習	卒業研究のリストに目を通しておく		
				復 習	気になる卒業研究を読み込む		
	第 7 回	内 容	論文の書き方	予 習	卒業研究の書き方を見ておく		
				復 習	指導内容の整理		
	第 8 回	内 容	研究テーマについての話し合い①	予 習	自分のやりたい研究テーマを具体的にしておく		
				復 習	指導内容の整理		
	第 9 回	内 容	研究テーマについての話し合い②	予 習	自分のやりたい研究テーマを具体的にしておく		
				復 習	指導内容の整理		
	第 10 回	内 容	研究テーマの決定	予 習	自分のやりたい研究テーマを具体的にしておく		
				復 習	指導内容の整理		
	第 11 回	内 容	先行研究の検索方法	予 習	先行研究とは何か確認しておく		
				復 習	検索を行ってみる		
	第 12 回	内 容	先行研究の検索	予 習	自分に関係のある先行研究を明らかにしておく		
				復 習	入手する先行研究を選定する		
	第 13 回	内 容	国会図書館にて先行研究の入手	予 習	国会図書館のシステムを理解しておく		
				復 習	入手した先行研究を確認する		
	第 14 回	内 容	先行研究の読み込み①	予 習	入手した先行研究を読んでおく		
				復 習	指導内容の確認		
	第 15 回	内 容	先行研究の読み込み②	予 習	入手した先行研究を読んでおく		
				復 習	指導内容の確認		
	第 16 回	内 容	先行研究の発表①	予 習	レジュメを作成する		
				復 習	指摘された内容を確認する		
	第 17 回	内 容	先行研究の発表②	予 習	レジュメを作成する		
				復 習	指摘された内容を確認する		
	第 18 回	内 容	研究の準備	予 習	自分の研究テーマを確認する		
				復 習	必要な作業を行う		
	第 19 回	内 容	データ収集	予 習	必要な作業を行う		
				復 習	入手したデータの確認		

	第 20 回	内容	データ収集	予習	必要な作業を行う
				復習	入手したデータの確認
授 業 計 画	第 21 回	内容	データ収集	予習	必要な作業を行う
				復習	入手したデータの確認
	第 22 回	内容	データの集計	予習	必要な作業を行う
				復習	データをエクセルに入力する
	第 23 回	内容	データの集計	予習	必要な作業を行う
				復習	データをエクセルに入力する
	第 24 回	内容	データの分析	予習	統計学について調べておく
				復習	分析の実行
	第 25 回	内容	論文執筆	予習	論文を書いておく
				復習	指導された箇所を修正する
	第 26 回	内容	論文執筆	予習	論文を書いておく
				復習	指導された箇所を修正する
	第 27 回	内容	論文執筆	予習	論文を書いておく
				復習	指導された箇所を修正する
	第 28 回	内容	研究発表準備	予習	自分の論文を読んでおく
				復習	パワーポイントでレジュメを作成する
	第 29 回	内容	研究発表	予習	発表の準備をする
				復習	指摘された内容を確認する
	第 30 回	内容	研究総括	予習	発表の準備をする
				復習	指摘された内容を確認する
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	作業に対しては常にコメントしていく				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（ 90%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ 10%）				
教科書	『書店』（著者名、出版社名）				
参考文献	『書店』（著者名、出版社名）				
注意事項	授業時間以外にも作業を進めていくこと。				

科 目 名	総合演習Ⅱ（卒業研究）		単 位 数	2	実務経験	担当教員	おおわ こういち 大輪 公 壺
ナンバリングコード	CHS2228	授業形態	演習	有・無			
授 業 の 内 容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じ、保育者として必要な専門的知識をさらに深める。						
到 達 目 標	1. 論文口調で文章を書くことができる。 2. 要約・縮約の技術を身につけ、それらができるようになる。 3. 論文の書式（文献表等の書き方）を身につけ、それができるようになる。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第 1 回	内 容	オリエンテーション	予習	概要を予習しレポートにまとめる		
				復習	オリエンテーション内容をレポート化する		
	第 2 回	内 容	音楽領域研究の方法 ①洋楽	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる		
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる		
	第 3 回	内 容	音楽領域研究の方法②日本音楽	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる		
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる		
	第 4 回	内 容	音楽領域研究の方法③その他の音楽	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる		
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる		
	第 5 回	内 容	テーマの設定とグループ分け	予習	テーマを考えプリントにまとめる		
				復習	設定したテーマの概要をプリントにまとめる		
	第 6 回	内 容	テーマの決定	予習	テーマについて熟考しプリントにまとめる		
				復習	副題を含めた詳細をプリントにまとめる		
	第 7 回	内 容	テーマに関する図書研究 ①図書館の機能と検索法	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる		
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる		
	第 8 回	内 容	テーマに関する図書研究②秋草学園図書館	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる		
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる		
	第 9 回	内 容	テーマに関する図書研究③外部図書館	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる		
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる		
	第 10 回	内 容	資料検索と論文書式 ①資料検索法	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる		
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる		
	第 11 回	内 容	資料検索と論文書式②検索資料の確認	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる		
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる		
	第 12 回	内 容	資料検索と論文書式③参考引用資料の書式法	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる		
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる		
	第 13 回	内 容	中間報告 概要	予習	中間報告についてレポートにまとめる		
				復習	中間報告概要を再確認しレポートにまとめる		
	第 14 回	内 容	中間報告 文献について	予習	文献の概要についてレポートにまとめる		
				復習	文献の詳細をレポートにまとめる		
	第 15 回	内 容	中間報告 文献の書式	予習	文献の書式を確認しレポートにまとめる		
				復習	書式の詳細をレポートにまとめる		
	第 16 回	内 容	中間報告 洋書文献・その他の書式	予習	複数の書式についてレポートにまとめる		
				復習	ラテン語略記法をレポートにまとめる		
	第 17 回	内 容	論文の推敲 ①論文口調は整っているか	予習	推敲の方法についてレポートにまとめる		
				復習	論文口調についてレポートにまとめる		
	第 18 回	内 容	論文の推敲 ②各題における全体の配分	予習	各題の配分をレポートにまとめる		
				復習	各題の概要をレポートにまとめる		
	第 19 回	内 容	論文の推敲 ③要旨を的確に記述しているかどうか	予習	要旨の概要をレポートにまとめる		
				復習	要旨の詳細をレポートにまとめる		
	第 20 回	内 容	最終報告 ①注釈・引用文・引用法	予習	注釈・引用の概要をレポートにまとめる		
				復習	注釈・引用の詳細をレポートにまとめる		

授 業 計 画	第 21 回	内容	最終報告②参考文献の本文中の示し方	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 22 回	内容	最終報告③従来型の示し方	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 23 回	内容	最終報告④近年型の示し方	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 24 回	内容	卒業論文指導 ①インターネット資料の表記	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 25 回	内容	卒業論文指導 ②新聞記事の表記	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 26 回	内容	卒業論文指導 ③書名をどのように表記するか	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 27 回	内容	卒業論文指導 ④引用文献一覧の作成	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 28 回	内容	卒業論文指導 ⑤参考文献一覧の作成	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 29 回	内容	卒業論文報告	予習	報告内容の概要をレポートにまとめる
				復習	レポートにまとめた概要を再確認する
	第 30 回	内容	レジュメ発表	予習	レジュメの概要についてレポートにまとめる
				復習	発表したレジュメを再確認しレポート化する
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	随時レポート（要約・縮約）の提出をし、各個人へ解説・アドバイスをを行う。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（ 100 %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ %）				
教科書	毎時プリントを配布。				
参考文献	『日本語練習帳』（大野晋、岩波新書）				
注意事項	自分の研究テーマを明確にし、積極的に取り組むことを期待する。 論文完成までのマクロ的な計画を立てて進めること。				

科 目 名	総合演習Ⅱ（卒業研究）		単 位 数	2	実務経験	担当教員	はしもと ようこ 橋本 洋子
ナンバリングコード	CHS2228		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じ、保育者として必要な専門的知識をさらに深める。研究テーマは食や健康など日常生活全般にわたり、研究方法は①フィールドワーク、②質問紙調査、③文献研究等がある。P（plan、計画）D（do 実行）C（check 評価、振り返る）A（act 改善）サイクルで効果的に学習する方法を学ぶ。						
到 達 目 標	1．子どもを取り巻く生活環境を理解している。 2．研究テーマを見つけ、様々な角度から情報を収集し検証する力を身につけている。 3．調査結果等から疑問を解決し、まとめる力を身につけている。 4．適切な表現を用いて聞き手に分かりやすく説明することができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（①・②・3・④・⑤）文化表現学科（1・2・3・4）						
学外授業	第1回	内容	ガイダンス 授業の進め方と年間計画の立案			予習	シラバスをよく読んでおく
						復習	研究テーマを考える
	第2回	内容	健康について考える（DVD）			予習	健康に関する資料を収集する
						復習	レポートをまとめる
	第3回	内容	研究テーマを考える① 保育制度について			予習	保育制度について調べる
						復習	保育制度についてレポートにまとめる
	第4回	内容	研究テーマを考える② 子ども・保育者を取り巻く環境			予習	保育内容の授業を復習しておく
						復習	保育環境についてレポートをまとめる
	第5回	内容	文献・資料収集、観察① Keywordをもとに先行研究を調べる			予習	研究の keyword を選定する
						復習	調べた論文を整理する
	第6回	内容	文献・資料収集、観察② 専門書・資料の検索			予習	論文を読む
						復習	専門書・資料を読む
	第7回	内容	文献・資料収集、観察③ 先行研究をまとめる			予習	専門書・資料をまとめる
						復習	先行研究の文献をまとめる
	第8回	内容	先行研究の発表・ディスカッション グループ①			予習	発表の準備をする
						復習	ディスカッションの内容をまとめる
	第9回	内容	先行研究の発表・ディスカッション グループ②			予習	発表の準備をする
						復習	助言にもとづき研究テーマを選定しておく
	第10回	内容	テーマの決定・研究内容の方向付け			予習	研究テーマに必要な論文・資料を収集する
						復習	研究テーマを決める
	第11回	内容	論文執筆の説明 研究計画の立案と必要資料の確認			予習	研究の方法を考える
						復習	論文執筆に関する配布資料をよく読む
	第12回	内容	論文の執筆 研究目的			予習	先行文献から導入を考える
						復習	研究目的を書き進める
	第13回	内容	論文の執筆 研究内容			予習	研究目的をまとめる
						復習	研究内容の詳細を立案する
	第14回	内容	論文の執筆 研究方法			予習	研究方法を考える（①～③より選択）
						復習	研究方法の決定
	第15回	内容	学外授業			予習	学外授業の目的を理解する
						復習	学外授業の学びをレポートにまとめる
	第16回	内容	研究計画の見直し			予習	選択した研究方法をまとめ、計画を立案する
						復習	論文執筆に必要な資料を準備する
	第17回	内容	論文執筆	質問紙作成	フィールドワーク	予習	先行研究をベースに研究方法を確認する
						復習	質問紙の作成・フィールドワークを記録する
	第18回	内容	論文執筆	質問紙作成	フィールドワーク	予習	質問紙の修正・フィールドワークをまとめる
						復習	質問紙の準備・フィールドワークを記録する

	第 19 回	内容	論文執筆	質問紙調査実施	フィールドワーク	予習	調査への配慮を確認する・記録を整理する
						復習	研究方法をまとめる
	第 20 回	内容	論文執筆	質問紙調査回収	フィールドワーク	予習	データ入力準備をする・記録を整理する
						復習	回収した質問紙の確認・記録を整理する
授 業 計 画	第 21 回	内容	論文執筆 質問紙およびフィールドワークのデータ整理	予習	研究方法の詳細および対象者を執筆する		
				復習	回収した質問紙データおよび記録の確認		
	第 22 回	内容	論文執筆 質問紙およびフィールドワークのデータ入力	予習	データおよび記録の入力		
				復習	入力したデータの確認		
	第 23 回	内容	論文執筆 質問紙およびフィールドワークのデータ解析	予習	結果を執筆する		
				復習	結果・考察をまとめる		
	第 24 回	内容	論文執筆・修正 質問紙およびフィールドワークのデータをまとめる	予習	文献を確認する		
				復習	研究結果を図表にまとめる		
	第 25 回	内容	論文の修正 データの確認	予習	執筆した部分を読み返す		
				復習	論文の内容確認（データ、図表の数値など）		
	第 26 回	内容	論文の修正 文献の確認	予習	考察をまとめる・ページ設定を確認する		
				復習	論文を修正する		
	第 27 回	内容	研究論文の提出	予習	論文の提出準備をする		
				復習	研究発表の準備をする		
	第 28 回	内容	研究発表・ディスカッション①	予習	研究発表のレジュメを作成する		
				復習	ディスカッションをレポートにまとめる		
	第 29 回	内容	研究発表・ディスカッション②	予習	研究発表のレジュメを作成する		
				復習	ディスカッションをレポートにまとめる		
	第 30 回	内容	まとめ	予習	提出レポートを準備する		
				復習	立案した研究計画を精査する		
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	提出レポートおよびディスカッション内容について都度フィードバックを行う 研究論文の執筆。修正を通してフィードバックを行う						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（70％）、レポート・課題（10％）、発表（10％）、授業態度（10％）						
教科書	※必要に応じて資料を配布する						
参考文献	※必要に応じて随時紹介する						
注意事項	保育者としての視点から、「食」や「健康」をはじめとした自然科学の分野においてテーマを見つけ、文献研究や観察研究をすすめ、論文としてまとめていく。演習生それぞれが自分の研究テーマに向かって積極的に取り組むことを期待する。先行論文や白書などを参考に情報を収集し、綿密な計画を立て、積極的に取り組んで欲しい。						

科 目 名	総合演習Ⅱ（卒業研究）		単 位 数	2	実務経験	担当 教員	あさぎ なおみ 浅木 尚実
ナソパ®リンク®コード*	CHS2228		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行う。論文提出後には発表会を行い、保育者として必要な専門的知識をさらに深める。主な研究テーマとしては、児童文化、児童文学、保育内容、遊び、育児・家族支援等を中心とする。						
到 達 目 標	1. 学生が自らの興味・関心に基づき、研究テーマを見出すことができる。 2. 先行研究を検討し、問題の所在を明確化することができる。 3. テーマに沿った文献収集やインタビュー、文献調査等の方法により、考察することができる。 5. 卒業論文の形式を学び、調査、研究した内容をまとめることができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（①・②・3・4・⑤）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第1回	内容	講義の方針と年間計画	予 習	シラバスを読んでおく。		
				復 習	この科目で習得すべき内容を理解する。		
	第2回	内容	研究テーマについての講義①	予 習	テーマについての文献を読んでおく。		
				復 習	講義で紹介された文献を読む。		
	第3回	内容	研究テーマについての講義②	予 習	テーマについての文献を読んでおく		
				復 習	講義で紹介された文献を読む。		
	第4回	内容	研究テーマについての講義③	予 習	テーマについての文献を読んでおく。		
				復 習	講義で紹介された文献を読む。		
	第5回	内容	学生によるテーマの選定①	予 習	自分の関心あるテーマを探す。		
				復 習	テーマについての文献を読む。		
	第6回	内容	学生によるテーマの選定②	予 習	自分の関心あるテーマを探す。		
				復 習	テーマについての文献を読む。		
	第7回	内容	先行研究の検討①	予 習	自分のテーマの先行研究を探す。		
				復 習	先行研究を読む。		
	第8回	内容	先行研究の検討②	予 習	自分のテーマの先行研究を探す。		
				復 習	先行研究を読む。		
	第9回	内容	先行研究の発表	予 習	発表の準備をする。		
				復 習	発表の振り返りをする。		
	第10回	内容	文献調査①	予 習	自分のテーマの文献探求とアンケート作成。		
				復 習	文献研究やアンケート見直しをする。		
	第11回	内容	文献調査②	予 習	アンケート作成及び実施の準備		
				復 習	文献研究やアンケート見直しをする。		
	第12回	内容	関連施設の見学①	予 習	関連施設の概要を知る。		
				復 習	施設見学後の情報をまとめる。		
	第13回	内容	関連施設の見学②	予 習	関連施設の概要を知る。		
				復 習	施設見学後の情報をまとめる。		
	第14回	内容	中間発表①	予 習	発表の準備をする。		
				復 習	発表の振り返りをする。		
	第15回	内容	中間発表①	予 習	発表の準備をする。		
				復 習	発表の振り返りをする。		
	第16回	内容	論文作成の準備①	予 習	論文作成の資料を準備する。		
				復 習	論文作成の資料をまとめる。		

	第 17 回	内容	論文作成の準備②	予習	論文作成の資料を準備する。
				復習	論文作成の資料をまとめる。
	第 18 回	内容	論文作成の準備③	予習	論文作成の資料を準備する。
				復習	論文作成の資料をまとめる。
	第 19 回	内容	論文作成①	予習	論文の構成を考える。
				復習	論文の動機を書く。
	第 20 回	内容	論文作成②	予習	論文の構成を考える。
				復習	目次を書く。
授 業 計 画	第 21 回	内容	論文作成③	予習	図、資料の準備をする。
				復習	助言に従って論文を作成する。
	第 22 回	内容	論文作成④	予習	図、資料をまとめる。
				復習	論文を執筆する。
	第 23 回	内容	論文作成⑤	予習	全体を読む。
				復習	論文を執筆する。
	第 24 回	内容	相互意見交換	予習	疑問点・質問事項を考える。
				復習	出された意見をまとめる。
	第 25 回	内容	論文修正①	予習	論文を修正する。
				復習	助言に従って、論文を修正する。
	第 26 回	内容	論文修正②	予習	論文を推敲する。
				復習	助言に従って、論文を修正する。
	第 27 回	内容	論文修正③	予習	論文を推敲する。
				復習	助言に従って、論文を修正する。
	第 28 回	内容	論文発表会①	予習	発表の準備をする。
				復習	発表の振り返りをする。
	第 29 回	内容	論文発表会②	予習	発表の準備をする。
				復習	発表の振り返りをする。
	第 30 回	内容	まとめ	予習	全体の反省点をまとめる。
				復習	意見交換の振り返りをする。
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	課題について、教員から受けた指導に従って、研究、修正等を適宜行うこと				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（ 70%）、作品・発表（ 10%）、実技（ 10%）、授業態度（ 10%）				
教科書	特になし。				
参考文献	個別に紹介する。				
注意事項	授業時間を有効に使うことはもとより、授業以外の時間の研究も行う必要がある。 指導教官の指導は、決められた時間内に受けること。 子育て支援事業を企画、運営することがある。昨年は「親子でわくわくボール遊び」を実施。				

科 目 名	総合演習Ⅱ（卒業研究）		単 位 数	2	実務経験	担当教員 まつなが しずこ 松 永 静子
ナシハ°リンク°コート°		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容						
到 達 目 標	1. 2. 3. 4.					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7） 地域保育学科（1・2・3・4・5） 文化表現学科（1・2・3・4）					
授 業 計 画	第 1 回	内容		予習		
				復習		
	第 2 回	内容		予習		
				復習		
	第 3 回	内容		予習		
				復習		
	第 4 回	内容		予習		
				復習		
	第 5 回	内容		予習		
				復習		
	第 6 回	内容		予習		
				復習		
	第 7 回	内容		予習		
				復習		
	第 8 回	内容		予習		
				復習		
	第 9 回	内容		予習		
				復習		
	第 10 回	内容		予習		
				復習		
	第 11 回	内容		予習		
				復習		
	第 12 回	内容		予習		
				復習		
	第 13 回	内容		予習		
				復習		
	第 14 回	内容		予習		
				復習		
	第 15 回	内容		予習		
				復習		
	第 16 回	内容		予習		
				復習		
	第 17 回	内容		予習		
				復習		
	第 18 回	内容		予習		
				復習		
	第 19 回	内容		予習		
				復習		
	第 20 回	内容		予習		
				復習		

授 業 計 画	第 21 回	内 容		予 習	
				復 習	
	第 22 回	内 容		予 習	
				復 習	
	第 23 回	内 容		予 習	
				復 習	
	第 24 回	内 容		予 習	
				復 習	
	第 25 回	内 容		予 習	
				復 習	
	第 26 回	内 容		予 習	
				復 習	
	第 27 回	内 容		予 習	
				復 習	
	第 28 回	内 容		予 習	
				復 習	
	第 29 回	内 容		予 習	
				復 習	
	第 30 回	内 容		予 習	
				復 習	
予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。					
課題へのフィードバック					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（ %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ %）				
教科書	『書店』（著者名、出版社名）				
参考文献	『書店』（著者名、出版社名）				
注意事項					

科 目 名	総合演習Ⅱ（卒業研究）		単 位 数	2	実務経験	担当教員	土屋 由
ナンバリングコード	CHS2228		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じ、保育者として必要な専門的知識をさらに深める。 主な研究テーマとしては、「保育内容」「子どもの生活・遊びや文化に関すること」「育児・家族に関すること」などである。保育所・幼稚園・家庭をフィールドとする質的研究および文献研究を行い、論文としてまとめる。						
到 達 目 標	1. 保育・幼児教育について、興味あるテーマを設定し、その課題について理解している。 2. 自らの選んだテーマに関連する文献を読み、問題の所在を明らかにすることができる。 3. インタビューや質問紙調査、文献調査など、必要な資料収集の方法を理解している。 4. 必要な資料収集及び考察を進め、卒業研究としてまとめることができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（①・②・3・4・⑤）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第1回	内容	講義の方針と年間計画	予習	シラバスに目を通す		
				復習	卒論をまとめるまでの計画をたてる		
	第2回	内容	フィールドワークとは何か	予習	フィールドワーク（配布プリント）に目を通す		
				復習	フィールドワークについてノートにまとめる		
	第3回	内容	フィールドワークの調査方法	予習	調査方法（配布プリント）に目を通す		
				復習	様々な調査方法についてノートにまとめる		
	第4回	内容	フィールドワークのまとめ方	予習	まとめ方（配布プリント）に目を通す		
				復習	まとめ方についてノートにまとめる		
	第5回	内容	研究テーマの選定	予習	研究テーマを考える		
				復習	研究テーマをさらに練る		
	第6回	内容	研究テーマについて必要な文献を集める ①専門書	予習	テーマに関する専門書を調べる		
				復習	調べた専門書を入手し、読む		
	第7回	内容	研究テーマについ必要な文献を集める ②論文	予習	テーマに関する論文を調べる		
				復習	調べた論文を入手し、読む		
	第8回	内容	先行研究の検討①調査方法や対象	予習	先行研究を見つける		
				復習	先行研究の調査方法や対象をまとめる		
	第9回	内容	先行研究の検討②結果や考察	予習	先行研究を引き続き探す		
				復習	先行研究の結果や考察をまとめる		
	第10回	内容	問題の所在や目的を明らかにする	予習	研究の問題の所在や目的を考える		
				復習	研究の問題の所在や目的をまとめる		
	第11回	内容	中間報告の準備	予習	中間報告に向けて、調べた文献などを整理する		
				復習	中間報告の内容を検討する		
	第12回	内容	中間報告①前半グループ	予習	中間報告に向けてレジュメを仕上げる		
				復習	他者の発表を聞き、気づいたことをまとめる		
	第13回	内容	中間報告②後半グループ	予習	中間報告に向けてレジュメを仕上げる		
				復習	他者の発表を聞き、気づいたことをまとめる		
	第14回	内容	子ども関連施設の見学	予習	対象子ども関連施設を調べる		
				復習	対象子ども関連施設の意義をまとめる		
	第15回	内容	子ども関連施設の見学	予習	利用者の様子を観察する		
				復習	体験して気づいたことをまとめる		
	第16回	内容	調査の実施に向けた準備	予習	調査方法の下案を作成する		
				復習	インタビュー項目や質問紙を作成する		
	第17回	内容	調査の実施①質問紙調査	予習	調査に必要な準備をする		
				復習	調査後の整理をする		
	第18回	内容	調査の実施②インタビューや観察調査	予習	調査に必要な準備をする		
				復習	調査後の整理をする		
	第19回	内容	結果の整理①質問紙調査	予習	質問紙調査の結果をおおまかに整理する		
				復習	質問紙調査の結果を検討する		
	第20回	内容		予習	インタビューや観察調査の結果を整理する		

			結果の整理②インタビューや観察調査	復習	インタビューや観察調査の結果を検討する
授 業 計 画	第 21 回	内容	考察を進める①観点 1	予習	結果に基づき、観点 1 の下案をまとめる
				復習	考察 1 としてまとめる
	第 22 回	内容	考察を進める②観点 2	予習	結果に基づき、観点 2 の下案をまとめる
				復習	考察 2 としてまとめる
	第 23 回	内容	考察を進める③観点 3	予習	結果に基づき、観点 3 の下案をまとめる
				復習	考察 3 としてまとめる
	第 24 回	内容	結論を検討する	予習	結論の下案を考える
				復習	検討を踏まえ、結論を仕上げる
	第 25 回	内容	今後の課題を検討する	予習	今後の課題の下案を考える
				復習	検討を踏まえ、今後の課題を仕上げる
	第 26 回	内容	研究のまとめ①前半部分のまとめ	予習	卒業研究の前半部分を整理する
				復習	修正を踏まえて、前半部分を仕上げる
	第 27 回	内容	研究のまとめ②後半部分のまとめ	予習	卒業研究の後半部分を整理する
				復習	修正を踏まえて、後半部分を仕上げる
	第 28 回	内容	論文発表①前半グループ	予習	前半グループレジュメ作成
				復習	発表を聞いて、気づいたことをまとめる
	第 29 回	内容	論文発表②後半グループ	予習	後半グループレジュメ作成
				復習	発表を聞いて、気づいたことをまとめる
	第 30 回	内容	まとめ	予習	振り返りを考える
				復習	他者の発表を聞き、気づいたことをまとめる
予習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	卒業論文の発表会を行い、コメントを伝える。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：論文（70%）、発表（20%）、授業態度（10%）				
教科書	特になし				
参考文献	授業において適宜紹介する				
注意事項	研究テーマを明確にすること、必要な文献をしっかりと読みこなすことを期待したい。				

科 目 名	総合演習Ⅱ（卒業研究）		単 位 数	2	実務経験	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳
ナソバ・リンク・コート*	CHS2228		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から、学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じて保育者として必要な専門的知識をさらに深める。 研究テーマ：１．発達心理学など、子どもや保育・教育に関わる心理学全般、２．「子育て支援」に関する分野、３．「教育・保育相談」、「カウンセリング」などの分野						
到 達 目 標	1. 卒業研究(卒業論文)の作成を通して、研究の方法を修得する。 2. 学生個々が選んだテーマに関する見識を深めること。 3. 保育・教育現場での問題、課題の発見、理解と対応について考える際に、学んだ見識や研究方法を活用できるようになること。						
学位授与方針	幼児教育学科（１・２・３・４・５・６・７）地域保育学科（①・②・３・４・⑤）文化表現学科（１・２・３・４）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	本ゼミの方針と年間計画等	予習	シラバスやゼミ案内書を読む。		
				復習	ゼミ内容と年間計画について理解する。		
	第 2 回	内容	論文作成についての概説①	予習	論文とは何か、その概要を調べる。		
				復習	講義内容を理解する。		
	第 3 回	内容	論文作成についての概説②	予習	前回の講義内容を理解する。		
				復習	講義内容を理解する		
	第 4 回	内容	論文作成についての概説③	予習	前回の講義内容を理解する。		
				復習	講義内容を理解する		
	第 5 回	内容	各学生による研究テーマの選定①	予習	テーマについて考える。		
				復習	テーマの選定方法について理解する。		
	第 6 回	内容	各学生による研究テーマの選定②	予習	自己の卒論テーマを考える。		
				復習	テーマの選定を実際に試みる。		
	第 7 回	内容	各学生による研究テーマの選定③	予習	自己の卒論テーマをしぼる。		
				復習	テーマの選定を実際に試みる。		
	第 8 回	内容	各学生による研究テーマの選定④	予習	自己の卒論テーマをしぼる。		
				復習	テーマの選定をおこなう。		
	第 9 回	内容	研究論文等読み合わせ①	予習	配布された資料を読む。		
				復習	講義内容を理解する		
	第 10 回	内容	研究論文等読み合わせ②	予習	資料の再読み込み。		
				復習	講義内容を理解し資料の再読み込み。		
	第 11 回	内容	文献・資料収集①	予習	テーマに関連する文献を探す。		
				復習	文献を読む。		
	第 12 回	内容	文献・資料収集②	予習	テーマに関する研究論文を探す。		
				復習	研究論文を読む。		
	第 13 回	内容	文献・資料収集③	予習	文献研究の概要を調べる。		
				復習	文献研究の意義と方法について理解する。		
	第 14 回	内容	卒論計画の発表会①	予習	自己の卒論計画について考える。		
				復習	レジュメ作成。		
	第 15 回	内容	卒論計画の発表会②	予習	レジュメ内容確認と配布。		
				復習	レジュメの修正。		
	第 16 回	内容	論文執筆の関する説明	予習	論文に関して、これまでの学びを再復習。		
				復習	講義内容を理解する。		
	第 17 回	内容	論文内容の検討と修正①	予習	決定したテーマと構成の確認。		
				復習	講義内容を理解する。		
	第 18 回	内容	論文内容の検討と修正②	予習	必要な文献の検討と整理。		
				復習	講義内容を理解する。		
	第 19 回	内容	論文執筆①	予習	論文を書く。		
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。		
	第 20 回	内容	論文執筆②	予習	論文を書く。		

				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。
授 業 計 画	第 21 回	内容	論文執筆③	予習	論文を書く。
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 22 回	内容	論文執筆④	予習	論文を書く。
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 23 回	内容	卒論中間発表会	予習	論文を書く。
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 24 回	内容	論文執筆⑤	予習	論文を書く。
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 25 回	内容	論文執筆⑥	予習	論文を書く。
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 26 回	内容	論文執筆⑦	予習	論文を書く。
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 27 回	内容	論文提出	予習	提出の規定を守り、確実に提出する。
				復習	口述試験に備える。
	第 28 回	内容	卒論講評	予習	完成した卒論の熟読。
				復習	講義内容を理解する。
第 29 回	内容	口述試験準備	予習	レジュメの作成。	
			復習	レジュメの修正。	
第 30 回	内容	卒論口述試験	予習	レジュメの完成、配布。	
			復習	論文作成を今後に生かすことを考える。	
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	テーマの選定と卒論制作過程および卒論提出後の口述試験を通して必要なフィードバックをおこなう。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（ 60 %）、作品・発表（ 40 %）				
教科書	『書店』（著者名、出版社名） 特に指定しない				
参考文献	『書店』（著者名、出版社名） 随時書籍等を紹介し、必要な資料等を配布する。				
注意事項	論文提出の締め切りは 12 月中旬（予定）、論文提出後、指導教員から修正を求められた場合は、その作業も発表に含み評価を行う。				

科 目 名	総合演習Ⅱ（卒業研究）		単 位 数	2	実務経験	担当教員	あきやま ひろこ 秋山 展子
ナンバリングコード	CHS2228		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。研究テーマとしては、「地域における健全育成」、「現代における子どもの居場所」等のキーワードを中心とする。						
到 達 目 標	1．論文の作成方法を習得している。 2．少人数のゼミナール形式で協調性を身につけている 3．論文作成を通して、保育者として必要な専門的知識を習得している。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7） 地域保育学科（1・2・3・4・5） 文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第1回	内容	授業の進め方	予習	自分の関心あるテーマを探す		
				復習	自身の生活を考える		
	第2回	内容	文献による基礎研究	予習	文献を探す		
				復習	探した文献をまとめる		
	第3回	内容	視聴覚教材による基礎研究	予習	関連資料を探す		
				復習	教材から学んだことをまとめる		
	第4回	内容	テーマの設定	予習	テーマを考えてくる		
				復習	テーマを細かく分解してくる		
	第5回	内容	テーマの確定	予習	細分化したテーマを書き出してくる		
				復習	テーマについて調べてくる		
	第6回	内容	文献・資料の収集方法	予習	テーマに関して検索してくる		
				復習	学んだことをプリントにまとめる		
	第7回	内容	文献の収集	予習	文献の検索		
				復習	収集した文献の整理		
	第8回	内容	資料の収集	予習	資料の検索		
				復習	収集した資料の整理		
	第9回	内容	研究論文の読み方	予習	資料をまとめてくる		
				復習	集めた資料・文献を読む		
	第10回	内容	調査、研究の方法	予習	読んだ資料をまとめる		
				復習	学んだことをプリントにまとめる		
	第11回	内容	論文の執筆について	予習	課題論文を読んでくる		
				復習	学んだことをプリントにまとめる		
	第12回	内容	中間発表 前半グループ	予習	発表用レジュメづくり		
				復習	発表の振り返り		
	第13回	内容	中間発表 後半グループ	予習	発表用レジュメづくり		
				復習	発表の振り返り		
	第14回	内容	論文の組み立て	予習	配布プリントを読んでくる		
				復習	学んだことをプリントにまとめる		
	第15回	内容	研究方法の検討	予習	研究方法の案を考えてくる		
				復習	研究方法を練り直す		
	第16回	内容	調査票の作り方	予習	先行研究を分析する		
				復習	学んだことをプリントにまとめる		
	第17回	内容	調査票の作成	予習	論文作成上の疑問を整理する		
				復習	論文執筆を進める		
	第18回	内容	研究論文の執筆 ① 研究動機	予習	論文作成上の疑問を整理する		
				復習	論文執筆を進める		
	第19回	内容	研究論文の執筆 ② 用語整理・定義・動向	予習	論文作成上の疑問を整理する		
				復習	論文執筆を進める		
	第20回	内容	研究論文の執筆 ③ 研究調査等	予習	論文作成上の疑問を整理する		
				復習	論文執筆を進める		

授 業 計 画	第 21 回	内容	研究論文の執筆 ④ 情報整理	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第 22 回	内容	研究論文の執筆 ⑤ 研究内容整理	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第 23 回	内容	研究論文の執筆 ⑥ 提出前確認	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第 24 回	内容	中間発表	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第 25 回	内容	論文の修正 ① 形式の整理	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第 26 回	内容	論文の修正 ② 文献の整理	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第 27 回	内容	論文の修正 ③ 内容修正	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文をまとめる
	第 28 回	内容	論文発表 準備	予習	論文全体の振り返りを行う
				復習	発表用資料を作成する
	第 29 回	内容	論文発表	予習	論文内容をまとめ発表準備をする
				復習	他者の研究から学んだことをまとめる
	第 30 回	内容	まとめ	予習	論文から今後の生活に生かせる点をまとめる
				復習	論文作成について振り返りをおこなう
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	作成した論文、及び論文を元にした発表の講評を伝える。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：論文（70%）、発表（20%）、授業態度（10%）				
教科書	なし				
参考文献	なし				
注意事項	なし				

科 目 名	総合演習Ⅱ（卒業研究）		単 位 数	2	実務経験	担当教員	ほしの おさむ 星野 治
カンパリングコード	CHS2228		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業研究（論文もしくは作品の作成）を行う。 講義は少人数によるゼミナール形式で行われる。 卒業研究成果物の提出後には、各ゼミナール単位での発表会が行われる。						
到 達 目 標	1. “保育・幼児教育の専門家”としての将来の自分自身を想定した、「災害サバイバルシミュレーション」の実行を通して、いつ現実化するかわからない災害に遭遇した際の心構えを身に付けている。 2. 上記シミュレーションの結果を、卒業研究の成果物として整理することにより、特に防災の観点からみて保育者に必要とされる知識を身に付けている。						
学位授与方針	幼児教育学科（１・２・３・４・５・６・７） 地域保育学科（①・②・③・④・⑤） 文化表現学科（１・２・３・４）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	前期ガイダンス	予習	シラバス全体に目を通しておく。		
			演習の目的や授業の進めかた等々についての説明	復習	今後一年間の授業の流れを意識し理解する。		
	第 2 回	内容	研究の前準備①	予習	参考書の「第 0 講～第 2 講」の概要を把握する。		
			大学での学びの意味、ノート作成のノウハウ	復習	以後第 6 回までの授業の流れを把握する。		
	第 3 回	内容	研究の前準備②	予習	参考書の「第 3 講～第 4 講」の概要を把握する。		
			テキストの読みかた、要約のノウハウ	復習	授業時に指定された演習を、授業時間内に行う。		
	第 4 回	内容	研究の前準備③	予習	参考書の「第 5 講～第 6 講」の概要を把握する。		
			思考展開と意見表明、図書館の利用	復習	図書館等で選んだ資料に係る各自の見解を整理する。		
	第 5 回	内容	研究の前準備④	予習	参考書の「第 7 講～第 8 講」の概要を把握する。		
			レポート・論文の書きかた	復習	前回(第 4 回)復習時に整理した見解を文章化する。		
	第 6 回	内容	研究の前準備⑤	予習	参考書の「第 9 講～第 10 講」の概要を把握する。		
			レジュメの作成、発表	復習	前回(第 5 回)復習時に記した見解に係る、口頭発表用レジュメを作る。		
	第 7 回	内容	過去の卒業研究例の閲覧	予習	第 1 回授業時の本授業履修者用配布資料を熟読する。		
			本学科卒業生の論文・作品の鑑賞	復習	本学科卒業研究のイメージを各自なりに把握する。		
	第 8 回	内容	研究の前準備⑥	予習	事前に配布された文字資料の概要を把握する。		
			既存資料（教員が準備する）の通解	復習	取り扱った文字資料に係る各自の見解を文章化する。		
	第 9 回	内容	研究の前準備⑦	予習	事前に通告された映像資料の概要を把握する。		
			既存資料（教員が準備する）の通解	復習	取り扱った映像資料に係る各自の見解を文章化する。		
	第 10 回	内容	研究の前準備⑧	予習	事前に指定された過去の大災害の概要を把握する。		
			既存資料（教員が準備する）の通解	復習	取り扱った大災害に係る各自の見解を文章化する。		
	第 11 回	内容	研究の前準備⑨	予習	前回(第 10 回)授業時に指示された準備を行う。		
			既存資料（履修者が準備する）の検索	復習	図書館等で既存資料を検索する。		
	第 12 回	内容	研究の前準備⑩	予習	前回(第 11 回)復習時の検索資料を各自持参する。		
			既存資料（履修者が準備する）の内容理解	復習	各自が選択した資料を精解し各自の見解を整理する。		
	第 13 回	内容	研究の前準備⑪	予習	各自が選択した資料に係る見解を文章化する。		
			既存資料（履修者が準備する）に係る発表準備	復習	各自が選択した資料に係る見解のための、口頭発表用レジュメを作成する。		
	第 14 回	内容	研究の前準備⑫	予習	前回(第 13 回)復習時作成のレジュメを持ち寄る。		
			既存資料（履修者が準備する）に係る見解発表	復習	他履修者の発表に係る各自の見解を文章化する。		
	第 15 回	内容	授業前半（第 1 回～第 14 回）のまとめ	予習	第 14 回授業までの全配布資料を概観しておく。		
			これまでの演習内容の総括および整理	復習	授業前半部の学習内容を整理し文章化する。		
	第 16 回	内容	後期ガイダンス	予習	再度、シラバス全体に目を通しておく。		
			演習目的の確認、シミュレーションの意義	復習	今後半年間の授業の流れを意識し理解する。		
	第 17 回	内容	研究の前準備⑬	予習	事前に配布された文字資料の概要を把握する。		
			到達目標を意識した資料(教員が準備する)の通解	復習	取り扱った文字資料に係る各自の見解を整理する。		
	第 18 回	内容	研究の前準備⑭	予習	事前に通告された映像資料の概要を把握する。		
			到達目標を意識した資料(教員が準備する)の通解	復習	取り扱った映像資料に係る各自の見解を整理する。		
	第 19 回	内容	研究の前準備⑮	予習	事前に指定された過去の防災活動の概要を把握する。		
			到達目標を意識した資料(教員が準備する)の通解	復習	授業で紹介された過去の防災活動に係る、各自の見解を整理する。		
	第 20 回	内容	研究の前準備⑯	予習	事前に配布された資料類に目を通しておく。		
			シミュレーションの概要	復習	シミュレーションの目的や意義を理解する。		

授 業 計 画	第 21 回	内容	研究の前準備⑰	予習	前回(第 20 回)授業時の指示内容について理解する。
			シミュレーションの条件設定	復習	シミュレーションの条件設定を各自で行う。
	第 22 回	内容	研究の前準備⑱	予習	前回(第 21 回)復習時の条件設定を持ち寄る。
			シミュレーションの実施	復習	シミュレーションを各自で行い、結果を整理する。
	第 23 回	内容	卒業研究①	予習	シミュレーションの実施の仕方を再度確認する。
			本番シミュレーションのための準備	復習	シミュレーションの詳細な条件設定を各自で行う。
	第 24 回	内容	卒業研究②	予習	前回(第 23 回)復習時の条件設定を持ち寄る。
			本番シミュレーションの開始	復習	シミュレーションを実施し、条件設定の見直し(条件項目の追加など)を行う。
	第 25 回	内容	卒業研究③	予習	前回(第 24 回)のシミュレーション結果および同・復習時に改訂した条件設定を持ち寄る。
			本番シミュレーションの継続	復習	シミュレーション(条件設定改訂を含む)を再度実施し、全体の内容および結果をより一層充実させる。
	第 26 回	内容	卒業研究④	予習	前回(第 25 回)のシミュレーション結果に関して整理し、発表できるようにしておく。
			各自の本番シミュレーション結果の中間発表	復習	他の履修者のシミュレーション結果を参考にして、各自のシミュレーションの更なる増補改訂を図る。
	第 27 回	内容	卒業研究⑤	予習	前回(第 26 回)のシミュレーション結果およびそれに対する各自の見解を整理する。
			各自の本番シミュレーションの完成	復習	各自のシミュレーションの決定版を完成する。
	第 28 回	内容	卒業研究⑥	予習	各自のシミュレーションの決定版を持ち寄る。
			卒業研究成果物の作成	復習	各自のシミュレーションの決定版を所定の様式で卒業研究成果物に仕上げ、大学あて提出する。
	第 29 回	内容	卒業研究⑦	予習	提出済み成果物に係る口頭発表用レジュメを作成し、持ち寄る。
			各自の研究発表および質疑応答	復習	自他のシミュレーションに係る各自の見解を文章化する。
	第 30 回	内容	全体のまとめ	予習	本授業開始以後のすべての配布物や各自の卒業研究に再度、目を通しておく。
			通年の演習内容の総括および整理	復習	幼児教育・保育に対する本授業の学習意義を文章化して所定期日(最終授業時に指示する)までに提出する。
予習に要する学習時間： 概ね 3 0 分を目安とする。			復習に要する学習時間： 概ね 3 0 分を目安とする。		
課題へのフィードバック	資料類の通解を行う際、必要な確認テストおよび解説を行う。 履修者各自の見解等を文章化したもの(レポート、レジュメ、その他)は随時提出が求められ、必要な添削指導を経て再度返却される。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する／(○)しない 成績評価の方法： レポート・課題(70%)、作品・発表(20%)、授業態度(10%)				
教科書	必要に応じて随時紹介する。				
参考文献	『大学基礎講座 改増版 充実した大学生活を送るために』(藤田哲也ほか、北大路書房) その他、必要に応じて随時紹介する。				
注意事項	1. 他の授業と同じく、無断欠席や無断遅刻、無断早退などの「無断～」な言動は厳禁とする。 2. 上記「授業計画」に示す授業のうち第2回～第6回の授業は、上記「参考文献」に示す教科書(『大学基礎講座～』)に即して開講する。 3. 架空イベントの詳細を頭の中で想起し整理するには、豊かな想像力および強い精神力が求められる。 4. 卒業研究の成果物(シミュレーション結果)は、「作品」として扱われる。 5. 提出締め切り後に成果物の修正を求められた場合、その修正作業に対する評価は「発表」に含まれる。				

科 目 名	総合演習Ⅱ（卒業研究）		単 位 数	2	実務経験	担当教員	しんどのぶゆき 新戸 信之
ナンバリングコード	CHS2228		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じ、保育者として必要な専門的知識をさらに深める。研究テーマとしては、「レクリエーション」「運動」「遊び」「幼児体育」「野外体験活動」「指導方法」「コミュニケーション」がキーワードとなる。						
到 達 目 標	1. 論文を完成させる。 2. 論文作成に必要なスキルを身につける。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第1回	内容	講義の方針と年間計画、研究テーマの選定について	予習	興味・関心のある事項を洗い出す		
				復習	興味・関心のある事項を整理する		
	第2回	内容	研究テーマの選定①	予習	子どもを取り巻く環境、子どもが抱える問題に対する考えをまとめる		
				復習	興味・関心のある事項と、子どもに対する考えとの接点を模索する		
	第3回	内容	研究テーマの決定、発表	予習	関心事と子どもとの関係についてまとめる		
				復習	授業の内容を咀嚼し、まとめる		
	第4回	内容	資料収集、文献調査①	予習	文献検索のキーワードを考える		
				復習	文献の情報をまとめる		
	第5回	内容	資料収集、文献調査②	予習	検索した文献を読む		
				復習	文献の情報をまとめる		
	第6回	内容	資料収集、文献調査③	予習	検索した文献を読む		
				復習	文献の情報をまとめる		
	第7回	内容	資料収集、文献調査④	予習	検索した文献を読む		
				復習	文献の情報をまとめる		
	第8回	内容	資料収集、文献調査⑤	予習	検索した文献を読む		
				復習	文献の情報をまとめる		
	第9回	内容	研究デザインの検討・決定①	予習	収集した文献の研究デザインを概観する		
				復習	自分の研究に近いデザインの研究を探す		
	第10回	内容	保育園見学	予習	試したい遊びを用意		
				復習	気づいた点についてまとめる		
	第11回	内容	研究デザインの検討・決定②	予習	研究全体の“ストーリー”をイメージする		
				復習	アドバイスを元に“ストーリー”をまとめる		
	第12回	内容	文体、表現について	予習	文体・表現を意識して、興味のある研究論文を読む		
				復習	過去のレポート等を添削する		
	第13回	内容	執筆トレーニング	予習	研究の動機、問題の背景、目的など、テーマに関する事柄を整理する		
				復習	文体、表現の確認		
	第14回	内容	先行研究の発表	予習	先行研究の概要をまとめる		
				復習	指導、アドバイスされた点をまとめる		
	第15回	内容	調査方法、データ処理について	予習	収集した文献の「方法」に目を通す		
				復習	自分の研究に適した方法についてまとめる		
	第16回	内容	中間発表①	予習	発表資料の作成		
				復習	方向性の確定とリスケジュール		
	第17回	内容	中間発表②	予習	発表資料の作成		
				復習	方向性の確定とリスケジュール		
	第18回	内容	論文の執筆①	予習	研究の背景と目的を再確認		
				復習	論文の執筆		
	第19回	内容	論文の執筆②	予習	添削箇所の確認、修正		
				復習	論文の執筆		
	第20回	内容	論文の執筆③	予習	添削箇所の確認、修正		
				復習	論文の執筆		

授 業 計 画	第 21 回	内 容	論文の執筆④	予 習	添削箇所の確認、修正
				復 習	論文の執筆
	第 22 回	内 容	論文の執筆⑤	予 習	添削箇所の確認、修正
				復 習	論文の執筆
	第 23 回	内 容	論文の執筆⑥	予 習	添削箇所の確認、修正
				復 習	論文の執筆
	第 24 回	内 容	論文の執筆⑦	予 習	添削箇所の確認、修正
				復 習	論文の執筆
	第 25 回	内 容	論文の完成①	予 習	添削箇所の確認、修正
				復 習	論文の執筆
	第 26 回	内 容	論文の完成②	予 習	体裁の確認
				復 習	細部の確認
	第 27 回	内 容	発表資料の作成①	予 習	論文のポイントとなる箇所の当たりを付ける
				復 習	パワーポイントデータ作成
	第 28 回	内 容	発表資料の作成②	予 習	パワーポイントデータ作成
				復 習	パワーポイントデータ作成
	第 29 回	内 容	論文発表	予 習	リハーサルをする
				復 習	感想、コメントの内容についてまとめる
	第 30 回	内 容	まとめ	予 習	他のゼミ生の論文を読む
				復 習	自己評価
予習に要する学習時間：概ね 1 2 0 分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね 1 2 0 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	随時検証し、解説をする。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：レポート・課題（ 2 0 %）、作品・発表（ 5 0 %）、授業態度（ 3 0 %）				
教科書	なし				
参考文献	なし				
注意事項	好奇心と遊び心を持ちつつも、真面目でストイックな取り組みを求めます。 授業時間だけで論文を完成させることは不可能です。				

科 目 名	総合演習Ⅱ（卒業研究）		単 位 数	2	実務経験	担当教員	こしかわ　ようこ 越川　葉子
ナシバ [®] リンク [®] コード [*]	CHS2228		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から、学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じ、保育者として必要な専門的知識をさらに深める。						
到 達 目 標	1．文献講読により各自のテーマに応じた基礎的知識を主体的に学ぶことができる。 2．資料収集やフィールドワークを取り入れながら論文執筆に取り組むことができる。 3．「子どもをめぐる教育問題」「子どもの問題行動」「子ども観の変容」を中心としたテーマについて、自分なりの見解を説得的に論じることができるようになる。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（①・②・3・4・⑤）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第1回	内容	卒業論文のテーマ設定の仕方について	予習	テーマを考える		
				復習	テーマに関連する文献を調べる		
	第2回	内容	参考文献の探し方・資料収集の方法	予習	テーマを考える		
				復習	テーマに関連する文献を調べる		
	第3回	内容	引用・注記の仕方・ネット情報の扱い方	予習	テーマを考える		
				復習	テーマに関連する文献を調べる		
	第4回	内容	文献による基礎研究①	予習	指定された文献を読む		
				復習	自分のテーマとの関連性を考える		
	第5回	内容	文献による基礎研究②	予習	指定された文献を読む		
				復習	自分のテーマとの関連性を考える		
	第6回	内容	文献による基礎研究③	予習	指定された文献を読む		
				復習	自分のテーマとの関連性を考える		
	第7回	内容	研究テーマの選定および問題関心の検討①	予習	問題関心をレポートにまとめる		
				復習	問題関心に関連する文献を調べる		
	第8回	内容	研究テーマの選定および問題関心の検討②	予習	問題関心をレポートにまとめる		
				復習	問題関心に関連する文献を調べる		
	第9回	内容	研究テーマの選定および問題関心の検討③	予習	問題関心をレポートにまとめる		
				復習	問題関心に関連する文献を調べる		
	第10回	内容	先行研究の検討①	予習	先行研究を調べる		
				復習	先行研究を読んで内容を確認する		
	第11回	内容	先行研究の検討②	予習	先行研究を調べる		
				復習	先行研究を読んで内容を確認する		
	第12回	内容	先行研究の検討③	予習	先行研究を調べる		
				復習	先行研究を読んで内容を確認する		
	第13回	内容	中間発表	予習	発表資料を作成する		
				復習	発表内容を検討する		
	第14回	内容	中間発表	予習	発表資料を作成する		
				復習	発表内容を検討する		
	第15回	内容	中間発表	予習	発表資料を作成する		
				復習	発表内容を検討する		
	第16回	内容	論文の執筆	予習	構成を考える		
				復習	調べた内容を整理する		
	第17回	内容	論文の執筆	予習	構成を考える		
				復習	調べた内容を整理する		
	第18回	内容	論文の執筆	予習	構成を考える		
				復習	調べた内容を整理する		
	第19回	内容	論文の執筆	予習	調査を進める		
				復習	調査内容を整理する		
	第20回	内容	論文の執筆	予習	調査を進める		
				復習	調査内容を整理する		

授 業 計 画	第 21 回	内 容	論文の執筆	予習	調査を進める
				復習	調査内容を整理する
	第 22 回	内 容	論文の執筆	予習	調査を進める
				復習	調査内容を考察する
	第 23 回	内 容	論文の執筆	予習	調査を進める
				復習	調査内容を考察する
	第 24 回	内 容	論文の修正	予習	構成を見直す
				復習	内容の加筆修正を行う
	第 25 回	内 容	論文の修正	予習	構成を見直す
				復習	内容の加筆修正を行う
	第 26 回	内 容	論文の修正	予習	構成を見直す
				復習	内容の加筆修正を行う
	第 27 回	内 容	論文発表①	予習	発表資料の作成
				復習	論文の見直し
	第 28 回	内 容	論文発表②	予習	発表資料の作成
				復習	論文の見直し
	第 29 回	内 容	論文発表③	予習	発表資料の作成
				復習	論文の見直し
第 30 回	内 容	まとめ	予習	年間計画のふりかえり	
			復習	今後の課題の整理	
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。				復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。	
課題へのフィードバック	・執筆過程で提出された論文にコメントを付して返却する。論文提出までこの作業を繰り返し行う。 ・論文発表にて提出された卒業論文の評価すべき点と改善点を伝える。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（70%）、発表（20%）、授業態度（10%）				
教科書	なし				
参考文献	必要に応じて適宜、紹介する。				
注意事項	・研究テーマに関する資料は、学生が築いたネットワークの中にも存在する。学生がこれまでに得てきた他者との繋がりから研究テーマを見つけることを重視する。 ・日常生活で疑問に思ったことや悩んだ経験について、日ごろから記録をとっておくことを期待する。受講生が経験から得た感覚は、卒業研究の問題関心を見つけるうえで、貴重なヒントになるはずである。				

科 目 名	地 域 活 動 Ⅱ		単 位 数	2	実務経験	担当教員	きたの　　か　が　や　　いとう　　ほしの 北野・加賀谷・伊藤・星野
ナンバリングコード	SWS22214		授業形態	実習	有・無		
授 業 の 内 容	「地域活動Ⅱ」は「地域活動Ⅰ」での学びと実践を基礎にして第２年次に行う。具体的には、受講生自らが居住地域に活動場所を選定し、活動の依頼を行い、定まった場所(一か所)にて継続して活動を行うことを中心とする。そして、活動で得た記録、反省、気づき等をレポートに丁寧にまとめ、さらに、報告とディスカッションを通じて受講生同士で共有を図り、活動で得たものをより豊かにして全員の糧となるようにする。						
到 達 目 標	1. 「地域のニーズにあった支援をする」保育者を目指し、地域の子育ての実態を理解する。 2. 地域の子育てのニーズを学ぶ。 3. 活動を通して、課題を発見し考察を行える力の養成。						
学位授与方針	幼児教育学科（１・２・３・４・５・６・７） 地域保育学科（１・②・３・④・⑤） 文化表現学科（１・２・３・４）						
授 業 計 画	第１回	7	イントロダクション(導入)	予習	シラバスを読み、授業計画等を把握する。		
				復習	授業内容と評価方法について十分に理解する。		
	第２回	内容	事前指導①(活動場所の選定等)	予習	活動先の地域と活動内容について調べる。		
				復習	地域活動の参加計画を立てる。		
	第３回	内容	事前指導②(活動場所の選定等)	予習	活動先の地域と活動内容について調べる。		
				復習	地域活動の参加計画を立てる。		
	第４回	内容	事前指導③(マナーや課題の設定等)	予習	活動にあたっての必要なマナーや課題について考える。		
				復習	学んだ必要なマナーや課題について理解し整理する。		
	第５回	内容	事前指導④(マナーや課題の設定等)	予習	活動にあたっての必要なマナーや課題について考える。		
				復習	学んだ必要なマナーや課題について理解し整理する。		
	第６回	内容	地域活動①(受講生の居住地域にて)	予習	実際の活動。		
				復習	必要な書類、レポートの作成。		
	第７回	内容	地域活動②(受講生の居住地域にて)	予習	実際の活動。		
				復習	必要な書類、レポートの作成。		
	第８回	内容	地域活動③(受講生の居住地域にて)	予習	実際の活動。		
				復習	必要な書類、レポートの作成。		
	第９回	内容	地域活動④(受講生の居住地域にて)	予習	実際の活動。		
				復習	必要な書類、レポートの作成。		
	第10回	内容	地域活動⑤(受講生の居住地域にて)	予習	実際の活動。		
				復習	必要な書類、レポートの作成。		
	第11回	内容	事後指導①(注意事項等)	予習	活動後の注意事項等について考える。		
				復習	学んだ注意事項について理解し整理する。		
	第12回	内容	事後指導②(振り返りとディスカッション等)	予習	活動の振り返りと課題を考える。		
				復習	新たに学んだ事項を理解し整理する。		
	第13回	内容	事後指導③(振り返りとディスカッション等)	予習	活動の振り返りと課題を考える。		
				復習	新たに学んだ事項を理解し整理する。		
	第14回	内容	事後指導④(振り返りとディスカッション等)	予習	活動の振り返りと課題を考える。		
				復習	新たに学んだ事項を理解し整理する。		
	第15回	内容	前期のまとめと後期の学びへの助言	予習	前期の活動で学んだことを整理する。		
				復習	今後の活動への改善点を考える。		
	第16回	内容	事前指導⑤(基本マナーや課題の見直し等)	予習	活動にあたっての必要なマナーや課題の見直しについて考える。		
				復習	学んだ必要なマナーや課題について理解し整理する。		
	第17回	内容	事前指導⑥(基本マナーや課題の見直し等)	予習	活動にあたっての必要なマナーや課題の見直しについて考える。		
				復習	学んだ必要なマナーや課題について理解し整理する。		

	第 18 回	内容	地域活動⑥(受講生の居住地域にて)	予習	実際の活動。
				復習	必要な書類、レポートの作成。
	第 19 回	内容	地域活動⑦(受講生の居住地域にて)	予習	実際の活動。
				復習	必要な書類、レポートの作成。
	第 20 回	内容	地域活動⑧(受講生の居住地域にて)	予習	実際の活動。
				復習	必要な書類、レポートの作成。
授 業 計 画	第 21 回	内容	地域活動⑨(受講生の居住地域にて)	予習	実際の活動。
				復習	必要な書類、レポートの作成。
	第 22 回	内容	地域活動⑩(受講生の居住地域にて)	予習	実際の活動。
				復習	必要な書類、レポートの作成。
	第 23 回	内容	事後指導⑤(注意事項等)	予習	活動後の注意事項等について考える。
				復習	学んだ注意事項について理解し整理する。
	第 24 回	内容	事後指導⑥(注意事項等)	予習	活動後の注意事項等について考える。
				復習	学んだ注意事項について理解し整理する。
	第 25 回	内容	事後指導⑦(振り返りとディスカッション等)	予習	活動の振り返りと課題を考える。
				復習	新たに学んだ事項を理解し整理する。
	第 26 回	内容	事後指導⑧(振り返りとディスカッション等)	予習	活動の振り返りと課題を考える。
				復習	新たに学んだ事項を理解し整理する。
	第 27 回	内容	事後指導⑨(振り返りとディスカッション等)	予習	活動の振り返りと課題を考える。
				復習	新たに学んだ事項を理解し整理する。
	第 28 回	内容	事後指導⑩(一年生との合同検討会等)	予習	一年生へ伝える内容を整理する。
				復習	新たな学びを整理する。
	第 29 回	内容	事後指導⑪(一年生との合同検討会等)	予習	新たに学んだ事項を理解し整理する。
				復習	新たな学びを整理する。
	第 30 回	内容	一年間の総合的まとめと今後の学びへの助言	予習	地域活動で学んだこと、疑問点を整理する。
				復習	活動の振り返りを中心にレポートにまとめる。
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	・活動中、およびその前後を通して必要な助言指導をおこなう。 ・発表、作成課題についてコメントする。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（80%）、作品・発表（10%）、授業態度（10%）				
教科書	なし				
参考文献	講義の際に随時紹介する。				
注意事項	・本科目(実習)は卒業要件である。 ・活動場所は主に受講生それぞれの居住地域の施設、学校、行政等が実施する活動を受講生自ら選定し、依頼を行い、活動に参加する。 ・活動は、土日祝日と長期休暇中に行う。できるだけ一か所の場所で継続して複数回の活動を行う。				

科 目 名	保育原理Ⅱ		単 位 数	2	実務経験	担当教員	松永 静子	
ナショナルコード	EDU2215		授業形態	講義	有・無			
授 業 の 内 容	保育原理Ⅰでの学びを踏まえ、以下の内容を中心に学ぶ。 1. 保育の思想と歴史 2. 多様な保育の実践（国内外の実践や子ども主体の保育実践から学ぶ） 3. 保育所や幼稚園、認定こども園、地域保育型施設、認可外保育施設の現状や課題 4. 現在の子どもや保護者を取り巻く課題							
到 達 目 標	1. 保育の思想と歴史について基礎的な知識を理解している。 2. 国内外での保育の実践・内容や方法から子どもを主体に保育をする「意味」を理解する。 3. 保育所や幼稚園、認定こども園、地域保育型施設、認可外保育施設の現状や課題を理解している。 4. 保育の様々な課題について主体的に学ぶ姿勢を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）							
授 業 計 画	第1回	内容	授業オリエンテーション DVDを鑑賞し、「子ども」について考える	予習				
				復習				
	第2回	内容	保育所保育指針の改定のポイントと 10 の姿とは	予習				
				復習				
	第3回	内容	実習日誌から 10 の姿を検討する	予習				
				復習				
	第4回	内容	保育の思想と歴史（日本における流れを中心に） 倉橋 惣三の著作を読んでもみる	予習				
				復習				
	第5回	内容	保育の思想と歴史（日本における流れを中心に） 佐伯 胖の著作を読んでもみる	予習				
				復習				
	第6回	内容	レッジョ・エミリアアプローチから子ども主体の保育を学ぶ	予習				
				復習				
	第7回	内容	日本の中での子ども主体の保育実践の事例から学ぶ（保育園現場の保育者の報告予定）	予習				
				復習				
	第8回	内容	日本の中での子ども主体の保育実践の事例から学ぶ（幼稚園現場の保育者の報告予定）	予習				
				復習				
	第9回	内容	夜間保育（延長保育など）について学ぶ（DVD）	予習				
				復習				
	第10回	内容	認定こども園の保育について学ぶ（DVD）	予習				
				復習				
	第11回	内容	認証保育所について学ぶ（現場の園長の報告予定）	予習				
				復習				
	第12回	内容	子ども哲学から子どもについて考え、子ども観を深める（外部講師）	予習				
				復習				
	第13回	内容	子どもを取り巻く現状と課題③熊本慈恵病院「こうのとりのゆりかご」、緊急的な状況にある女性への支援と子どもの権利	予習				
				復習				
	第14回	内容	子どもを取り巻く現状と課題④1人親家庭や外国籍の保護者など多様な家庭への支援	予習				
				復習				
	第15回	内容	まとめ	予習				
				復習				
	予習に要する学習時間：概ね 9 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 9 0 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	レポートを返却し、解説する。						
	成績評価	試験期間における定期試験： 実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（80％）、授業態度（20％）						
教科書	『書名』（著者名、出版社名							
参考文献	授業において紹介する。							
注意事項								

科 目 名	保 育 の 心 理 学		単 位 数	1	実務経験	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明芳
ナンバリングコード	EDP2221		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	本講義では、発達心理学と教育心理学等の基礎的知識の獲得と現場で生きる実践的能力の応用を図ることを目的とする。保育方法の工夫への手立て、家庭や保護者との関わり、保育者自身の心の安定と成長等にもアプローチしたいと考えている。						
到 達 目 標	1. 発達心理学、教育心理学等の基本的および発展的知識を正確に習得している。 2. 学んだ知識を活用して、実際の保育現場の子どもの心の発達等について考えられる力を身につけている。 3. 学んだ知識を子育て支援に活かすことができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（１・２・３・４・５・６・７）地域保育学科（①・②・３・④・５）文化表現学科（１・２・３・４）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読み、授業計画を把握する。		
				復習	授業内容と評価方法について理解する。		
	第 2 回	内容	保育の心理学の基礎①〔発達理論〕	予習	発達理論について調べる。		
				復習	発達理論について理解し整理する。		
	第 3 回	内容	保育の心理学の基礎②〔発達理論〕	予習	その他の発達理論について調べる。		
				復習	発達理論について理解し整理する。		
	第 4 回	内容	保育の心理学の基礎③〔教育心理学の理論等〕	予習	教育心理学の理論等について調べる。		
				復習	教育心理学の理論等について理解し整理する。		
	第 5 回	内容	保育の心理学の基礎④〔教育心理学の理論等〕	予習	その他の教育心理学の理論等について調べる。		
				復習	教育心理学の理論等について理解し整理する。		
	第 6 回	内容	知的機能	予習	知的機能について調べる。		
				復習	知的機能について理解し整理する。		
	第 7 回	内容	情緒	予習	情緒について調べる。		
				復習	情緒について理解し整理する。		
	第 8 回	内容	社会性	予習	社会性について調べる。		
				復習	社会性について理解し整理する。		
	第 9 回	内容	発達障害〔発達障害とは何か〕①	予習	発達障害について調べる。		
				復習	発達障害について理解し整理する。		
	第 10 回	内容	発達障害〔発達障害の種類〕②	予習	発達障害の種類について調べる。		
				復習	発達障害の種類について理解し整理する。		
	第 11 回	内容	発達障害〔発達障害への対応〕③	予習	発達障害への対応について調べる。		
				復習	発達障害への対応について理解し整理する。		
	第 12 回	内容	子どもの発達への関わりと保育方法の工夫	予習	子どもの発達について調べる。		
				復習	発達への関わりと工夫について理解し整理する。		
	第 13 回	内容	家庭、保護者、他機関等との連携	予習	連携について調べる。		
				復習	他者・他機関との連携について理解し整理する。		
	第 14 回	内容	保育者自身の心の健康	予習	心の健康について調べる。		
				復習	保育者の心の健康について理解し整理する。		
	第 15 回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	本講義全体の学びと疑問点を整理する。		
				復習	学んだ知見の活用について考察をする。		
予習に要する学習時間：概ね 9 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 9 0 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	受講学生に対して、主に個別に試験やレポートの成績のフィードバックをおこなう。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（6 0％）、レポート・課題（2 0％）、授業態度（1 0％）						
教科書	特に指定しない。						
参考文献	講義の際に随時紹介する。						
注意事項	講義を中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他、事例やビデオ視聴等で理解を深め、さまざまな知見等を保育の実践に活かすことを考える。受講者には自ら学び考える意欲をもって授業に参加する態度が求められる。						

科 目 名	子どもの保健Ⅱ	単 位 数	1	実務経験	担当教員	み た のりこ 味田 徳子
ナソバ・リンク・コート*	AHS2221	授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	子どもの心と身体の健康を保持・増進するための保健活動について「子どもの保健Ⅰ」で得た知識を実践できるように演習を重ね、習得することを目的とする。 保育のための養護技術、体調不良時の対応やケガの応急手当等の保健的な内容及び保健管理の方法について演習を通して理解を深める。					
到 達 目 標	1. 子どもの健康状態の評価ができる。 2. 演習を通して、保育の現場で活かせる技術を身につけている。 3. 病気や事故発生時など、緊急時の対応ができる。 4. 集団保育における環境と安全対策を理解している。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1）（2）（3）（4）（5）文化表現学科（1・2・3・4）					
授 業 計 画	第1回	内容	子どもの保健に関する演習について オリエンテーション 演習に臨む姿勢、課題説明	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	子どもの発育・発達を観察と評価① 発育・発達	予習	子どもの発育発達について確認しておく	
				復習	発育の標準値についてまとめる	
	第3回	内容	子どもの発育・発達を観察と評価② 計測・評価	予習	計測方法について確認しておく	
				復習	分析評価の方法を理解する	
	第4回	内容	子どもの健康観察と健康管理①	予習	なぜ健康観察が必要なのか考える	
				復習	健康状態を把握するポイントについてまとめる	
	第5回	内容	子どもの健康観察と健康管理② バイタルサイン測定	予習	バイタルサイン測定方法について確認しておく	
				復習	測定方法の注意点についてまとめる	
	第6回	内容	子どもの養護と教育① 抱っこ、おんぶ、オムツ交換	予習	布オムツ・紙オムツの利点と欠点について調べる	
				復習	オムツ交換時のポイントについてまとめる	
	第7回	内容	子どもの養護と教育② 沐浴、衣類の着脱、鼻・耳のケア	予習	子どもの清潔を保つ方法について考える	
				復習	沐浴の手順についてまとめる	
	第8回	内容	＝ 実技試験 ＝ 清潔（手洗い、歯磨き）ポスター作成	予習	寝衣、オムツ交換の手順について確認しておく	
				復習	寝衣、オムツ交換の手順についてまとめる	
	第9回	内容	子どもの生活習慣（睡眠、排泄、栄養）	予習	自分自身の生活習慣について考える	
				復習	子どもの生活習慣づけの重要性について考える	
	第10回	内容	子どもの体調不良などへの対応 ① 主な症状への対応（嘔法、汚物処理、体位）	予習	子どもの体調不良とはどのような状態か考える	
				復習	対応の方法ポイントについてまとめる	
	第11回	内容	子どもの体調不良などへの対応 ② ・感染症の予防と対策 ・子どもと薬（管理、与薬方法）	予習	主な感染症にはどのようなものがあるか調べる	
				復習	園や家庭での対応についてまとめる	
	第12回	内容	子どもの体調不良などへの対応 ③ ・個別の配慮を必要とする子どもへの対応	予習	個別対応が必要な疾患について調べる	
				復習	発達障害の支援方法についてまとめる	
	第13回	内容	保育における応急手当 三角巾、包帯法、創処置、エビベン練習、心肺蘇生	予習	ケガの内容にはどのようなものがあるか考える	
				復習	園や家庭での対応についてまとめる	
	第14回	内容	子どもの心とからだの健康づくりのために ＝ 保健だより作成 ＝	予習	月に応じた保健計画のテーマについて考える	
				復習	作成ポイントについてまとめる	
	第15回	内容	望ましい保育環境と安全対策 事故報告書、災害への対策と危機管理	予習	園内での事故（内容・状況）について考える	
				復習	危機管理体制についてまとめる	
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	レポート・課題は採点后、返却する。 実技試験前に試験チェックポイントについて確認し、実施後振り返る。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ 0%）、レポート・課題（ 40%）、作品・発表（ 0%）、実技（ 40%）、授業態度（ 20%）					
教科書	『これだけはおさえたい！保育者のための子どもの保健Ⅱ』（鈴木美枝子編著、創成社）					
参考文献	『これならわかる！子どもの保健演習ノート』（小林美由紀編著、診断と治療社）					
注意事項	1、演習時は、動きやすい服装、エプロンを着用し、爪・髪などの身だしなみを整えて下さい。 2、演習、準備、後片付けなど主体的に取り組むことで、授業態度における積極性と評価します。					

科 目 名	子どものための食育実習		単 位 数	1	実務経験	担当教員	はしもと ようこ 橋本 洋子
ナンバリングコード	EAH2222		授業形態	実習	有・無		
授 業 の 内 容	子どもは、乳・幼児期の短期間にめざましい摂食機能の発達を遂げる。この食育実習では、1年次の「子どもの食と栄養」で学んだ知識をもとに、子どもの発達過程に応じた食事を実際に調理し試食することにより咀嚼機能の発達を理解し、乳幼児に関わる専門職としての適切な食指導・食支援の方法を学ぶ。基本的な調理の知識・技術を習得する。						
到 達 目 標	1. 準備（計る・洗うなど）から片付けにいたる調理に必要な知識、技術を身につけている。 2. たんに「空腹を満たす食事」ではない、子どもの年齢（月齢）と咀嚼機能に応じた食品の選択、調理方法（適切な量・調理形態）を理解し実践できる。 3. 「美味しく」「楽しい」かつ「安全な」食事を提供するための環境整備ができる。 4. 乳幼児に正しい食具の持ち方を指導できる。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（①・②・3・④・⑤）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション 調理室の使い方・授業の進め方について	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	授業内容を理解する		
	第2回	内容	基本調理 調理の基本、包丁の使い方	予習	調理室、調理器具等の使い方を理解する		
				復習	調理に必要な知識、技術を整理する		
	第3回	内容	調乳・赤ちゃん人形のお世話	予習	前年度のテキスト「人工栄養」を復習する		
				復習	調乳の意義と配慮すべき内容をまとめる		
	第4回	内容	離乳食① 準備食～5，6か月	予習	準備食、離乳の意義について考える		
				復習	離乳食を作る際の留意点をまとめる		
	第5回	内容	離乳食② 7～8か月、間食	予習	前週の離乳食の形態を確認する		
				復習	調理のポイントをまとめる		
	第6回	内容	離乳食③ 9～11か月	予習	前週の離乳食の形態を確認する		
				復習	調理のポイントをまとめる		
	第7回	内容	離乳食④ 12～18か月	予習	前週の離乳食の形態・量を確認する		
				復習	移行期の食事を考える		
	第8回	内容	幼児食① 1～2才、3～5才	予習	離乳食との違いを調べる		
				復習	幼児期の前・後期の食事の違いを理解する		
	第9回	内容	幼児食② お弁当	予習	お弁当の目的について調べる		
				復習	お弁当の留意点をまとめる		
	第10回	内容	妊産婦の食事	予習	妊産婦の食事を調べる		
				復習	妊産婦に必要な栄養を理解する		
	第11回	内容	幼児食③ 間食・食物アレルギーを考える	予習	アレルギーについて調べる		
				復習	アレルギー対応の調理を理解する		
	第12回	内容	幼児食④ 行事食	予習	日本の行事・伝統食を調べる		
				復習	子どもにとっての行事食の重要性を理解する		
	第13回	内容	まとめ レポート提出 【第13週で終了】	予習	レポートを整理し内容を確認する		
				復習	子どもの食事内容と食教育についてまとめる		
	第14回	内容		予習			
				復習			
	第15回	内容		予習			
				復習			
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	提出レポートで実習内容の確認、講評を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート（60％）、実技（20％）、授業態度（20％）						
教科書	毎実習ごとに資料を配布する						
参考文献	随時授業内で紹介する						

注意事項	この調理実習は毎回２時限連続で行う。デモンストレーション・説明の後、４～５人のグループに分かれて実習を行う。必要に応じてビデオ等の教材も使用する。毎回、調理、試食、片付け後に各自でレポートを作成、子どもの発達をふまえて考察すること。レポートは最後にまとめて提出する。グループ毎の実習であり欠席は同グループの学生に迷惑をかけることになり、遅刻もデモンストレーションの妨げとなる。授業中の私語は円滑な実習のために禁止する。エプロン、三角巾を必ず着用すること。
------	--

科 目 名	社会的養護	単 位 数	2	実務経験	担当教員	まんどう あきお 萬 燈 章雄
ナンバリングコード	SWS2211	授業形態	講義	有・無		
授 業 の 内 容	社会的養護を必要としている子どもたちへの理解を深める。また、社会的養護の支援フレームについて学習するとともに、特有の課題及び特性についても理解する。課題を抱えながら生活する子どもたちに、本来もつ権利を守りながら保育士としてどのように関わり、支援していくのかを学習する。					
到 達 目 標	1. 社会的養護を必要としている子どもたちの現状を理解している。 2. 「子どもの最善の利益」とは何かを知り、支援者がどのようなスタンスで望めばよいのかを習得している。 3. 社会的養護に携わる保育士の倫理と責務を身につけている。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科 ①・2・3・④・5）文化表現学科（1・2・3・4）					
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション～事例提供 社会的養護に携わる支援者のあり方	予習	シラバスに目を通すこと	
				復習	支援者の基本的スタンスについて理解する	
	第 2 回	内容	子ども観の変遷と社会的養護の歴史について	予習	こども観とは何かについて調べる	
				復習	社会的養護の歴史についてまとめる	
	第 3 回	内容	社会的養護 問題の本質 家庭養護のあり方と社会の受け止め方	予習	少子高齢社会について調べる	
				復習	家庭環境と養育意識の変化についてまとめる	
	第 4 回	内容	社会的養護の仕組み 児童相談所と「措置」制度について	予習	措置制度について調べる	
				復習	児童相談所の機能と役割についてまとめる	
	第 5 回	内容	児童福祉施設について 児童福祉法で定める施設について	予習	児童福祉施設の根拠規定について調べる	
				復習	児童福祉施設の施設基準についてまとめる	
	第 6 回	内容	里親制度・親権と養子縁組について	予習	里親制度について調べる	
				復習	里親や養子縁組制度についてまとめる	
	第 7 回	内容	社会的養護実践のための専門的技術について （概要）	予習	施設の生活について調べておく	
				復習	専門的な技術について概要をまとめる	
	第 8 回	内容	社会的養護の概念及び仕組みについて 中間まとめ 理解度チェックとレポート	予習	これまでの内容について復習する	
				復習	具体的な課題について整理する	
	第 9 回	内容	アタッチメントについて 「子どもの安全基地」について	予習	ジョン・ボウルビイについて調べる	
				復習	安全基地についてまとめる	
	第 10 回	内容	児童虐待と社会的養護 虐待の現状と子どもの気持ち	予習	虐待死事件について調べてみる	
				復習	被虐待児の気持ちについて考えてみる	
	第 11 回	内容	「施設の小規模化」について なぜ今里親委託推進なのか？	予習	施設の小規模化について調べる	
				復習	小規模化の特徴についてまとめる	
	第 12 回	内容	演 習 アセスメント（ジェノグラム・エコマップ） の基本と記録の書き方について	予習	ジェノグラムについて調べる	
				復習	アセスメントについてまとめてみる	
	第 13 回	内容	演 習 「情報の共有」について 事例のアセスメント 情報を整理し共有する	予習	アセスメントについて復習しておく	
				復習	事例整理の方法についてまとめる	
	第 14 回	内容	「子どもの最善の利益」と権利擁護	予習	児童の権利に関する条約を調べる	
				復習	子どもの権利擁護についてまとめる	
	第 15 回	内容	今後の社会的養護の方向性について 最終まとめ 理解度チェックとレポート	予習	これまでの内容について今一度復習する	
				復習	具体的な課題について整理する	
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。						
課題へのフィードバック	作成したレポート、事例整理、中間まとめチェックについてはコメントをつけて原則各自に返却します。 最終まとめチェックについては課題整理に関する具体的資料を配付します。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（50％）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度（50％）					
教科書	なし					
参考文献	授業中に適宜お知らせします。					
注意事項	授業をとおして子どもの命・生活・権利を守る支援者の基本的スタンスを学んで欲しい。 受講マナーは守り、積極的な参加を期待します。基本、プリント資料配布で授業をすすめます。					

科 目 名	相 談 援 助		単 位 数	1	実務経験	担当教員	こむろ たいじ 小室 泰治
ナンバリングコード	SWS2221		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	相談援助において必要な方法や知識・及び技術を学び、相談者として自己理解を深め、保育現場において相談援助の理論や方法を活用できる技術を身につけることをねらいとし、具体的な相談事例をグループワーク等で討議し、それらの考え方について解説する。						
到 達 目 標	1. 相談援助の意義、機能、対象を説明することができる。 2. 相談援助の方法、技術を説明することができる。 3. 地域にある社会資源の活用方法を説明することができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（①・②・3・④・5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	相談援助とは何か 保育実践の中で相談援助が必要になった理由を理解する	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で修得すべき内容を理解する		
	第 2 回	内容	相談援助の歴史的変遷 定義と理論を理解する	予習	保護者を取り巻く社会環境を調べる		
				復習	診断主義、機能主義を基礎理論をまとめる		
	第 3 回	内容	相談援助における直接援助技術、間接援助 相談援助には2種類の援助技術があることを理解する	予習	直接援助、間接援助について調べる		
				復習	2種類ある援助技術の活用場面をまとめる		
	第 4 回	内容	援助技術の理念と価値 バイステックの援助技術を成立させるための7つの原則を習得する	予習	傾聴について考える		
				復習	傾聴と受容のポイントをまとめる		
	第 5 回	内容	相談援助の展開過程 面接の開始から問題解決の終結まで過程を理解する	予習	相談援助の展開過程を調べる		
				復習	開始から終結までのポイントをまとめる		
	第 6 回	内容	相談援助を行う上での倫理 専門家としての価値観と倫理を理解する	予習	倫理とは何か考える		
				復習	自分と他人の価値観の違いをまとめる		
	第 7 回	内容	保育現場における直接援助技術 保護者との面接やグループワークの活用方法を習得する	予習	グループワークについて調べる		
				復習	グループワークの効果についてまとめる		
	第 8 回	内容	相談援助における記録 読み手に伝わる記録の書き方を習得する	予習	記録について調べる		
				復習	記録作成時のポイントをまとめる		
	第 9 回	内容	地域にある社会資源の活用 関係機関や地域の社会資源を探索する	予習	地域にはどんな社会資源があるか調べる		
				復習	社会資源の活用方法をまとめる		
	第 10 回	内容	事例研究 育児不安とストレスに関する相談事例を通して傾聴や受容の仕方を習得する	予習	育児不安、育児ストレスについて調べる		
				復習	傾聴と受容の効果をまとめる		
	第 11 回	内容	事例研究 母子関係と母親の自立に関する相談事例を通して傾聴や受容の仕方を習得する	予習	母親の自立について考える		
				復習	傾聴と受容の効果をまとめる		
	第 12 回	内容	事例研究 母子分離不安に関する相談事例を通して傾聴や受容の仕方を習得する	予習	母子分離について考える		
				復習	傾聴と受容の効果をまとめる		
	第 13 回	内容	自己覚知とスーパービジョン 援助者の自己覚知を育てるための方法としてスーパービジョンの技法を習得する	予習	自己覚知について調べる		
				復習	スーパービジョンの技法をまとめる		
	第 14 回	内容	保育場面でのソーシャルワークの活用 保育士だけでは解決できない問題は関係機関につなげる	予習	ソーシャルワークについて調べる		
				復習	関係機関との連携についてまとめる		
	第 15 回	内容	相談援助における課題 まとめ	予習	保護者が相談しやすい環境を考える		
				復習	傾聴や受容の意義をまとめる		
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	定期試験後に解答を示し解説する						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（50%）、発表（40%）、授業態度（10%）						
教科書	『子どもたちの生活を支える相談援助』（小野澤昇・田中利則・大塚良一編著） ミネルヴァ書房 2015						
参考文献	『ケースワークの原則』（F・P バイステック著） 誠信書房						
注意事項	1. 授業中スマートフォンなどはカバンの中に入れておくこと。 2. グループワーク、ロールプレイなども行うので、積極的に参加すること。						

科 目 名	家 庭 支 援 論		単 位 数	2	実務経験	担当教員	きたざわ あきこ 北澤 明子
ナンバリングコード	SWS2213		授業形態	講義	有・無		
授 業 の 内 容	家族、家庭のあり方が変化し、多様化した現在、保育者は家庭や地域と連携しながら、子育てを支援していくことが求められている。本講では、子育てにおける「家庭支援」の背景や目的を学ぶとともに家庭のニーズに応じた多様な支援の展開について知り、保育者として必要な支援の基本について学んでいく。						
到 達 目 標	1. 家庭の意義とその機能について理解し、説明することができる。 2. 現在の子育て家庭を取り巻く環境について理解し、どのような支援が必要かを考えることができる。 3. 子育て支援の法的根拠や支援政策について説明することができる。 4. 子育て支援の実際について理解し、今後どのような支援をしていきたいか考えることができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（①・2・3・④・5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーションー授業の進め方等ー	予習	教科書を読んでくる		
				復習	ビデオの内容・感想を自分なりにまとめる		
	第2回	内容	家庭の意義と機能	予習	自分が思う「家族」について考えてくる		
				復習	「家族」と「家庭」の違いについて復習する		
	第3回	内容	家族・家庭・子育ての歴史①ー江戸・明治ー	予習	教科書の第1章を読んでくる		
				復習	歴史について復習しまとめる		
	第4回	内容	家族・家庭・子育ての歴史②ー昭和から現在までー	予習	江戸から明治までの歴史の振り返りをする		
				復習	家族・家庭の歴史について自分なりにまとめる		
	第5回	内容	現在の家庭を取り巻く状況①ー図からの読み取りー	予習	現在の家族について知っている内容を箇条書きにする		
				復習	読み取った内容をまとめてくる		
	第6回	内容	現在の家庭を取り巻く状況②ー読み取ったことから必要な支援について考えるー	予習	読み取った内容のまとめを読んでくる		
				復習	自分の考える必要な支援についてまとめる		
	第7回	内容	子育て家庭への支援の必要性	予習	教科書第2章を読んでくる		
				復習	子育て家庭への支援がなぜ必要か自分なりにまとめる		
	第8回	内容	現在の子どもを取り巻く状況	予習	レポート課題をまとめる		
				復習	レポート課題をまとめる		
	第9回	内容	子育て支援の法的根拠	予習	教科書第9章・第13章を読んでくる		
				復習	法的根拠について復習する		
	第10回	内容	我が国の子育て支援・政策	予習	前回の内容と教科書第9章・第13章の復習をする		
				復習	子育て支援の政策について復習する		
	第11回	内容	子育て支援の実際①ー保育所・幼稚園における子育て支援の取組ー	予習	実習で経験した内容を箇条書きにしてくる		
				復習	次の実習にむけて支援の実際を復習する		
	第12回	内容	子育て支援の実際②ー地域における子育て支援の取組ー	予習	教科書第5章を読んでくる		
				復習	地域の支援についての概要を復習する		
	第13回	内容	子育て支援の実際③ーその他ー	予習	自分の地域の子育て支援について調べる		
				復習	第13回までの内容を振り返りレポート作成		
	第14回	内容	保育の場における具体的な事例紹介と事例検討	予習	子育て支援に関する実習課題を立ててみる		
				復習	具体的な事例についての復習		
	第15回	内容	まとめー子どもを産むこと、育てることー	予習	これまでの内容の復習		
				復習	ビデオを見ての感想をまとめる		
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	レポート返却を行い、復習と指導を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：レポート・課題（ 80 %）授業態度（ 20 %）						
教科書	『家庭支援論の基本と課題』（井村圭壯他、学文社）						
参考文献	授業内で必要な参考文献を適宜紹介する。						
注意事項	・ 必要な資料を授業内で配布するので配布された資料はファイリングして毎回授業に持参すること。						

科 目 名	保育内容（人間関係）		単 位 数	1	実務経験	担当教員	つちや ゆう 土屋 由
ナソパ・リンク・コート	CHS2212		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	保育内容の領域の一つに、人とかかわりに関する領域「人間関係」が設けられている。本講義では、領域「人間関係」に関連する社会学や発達心理学などの理論をベースとした基礎知識を押さえるとともに、乳児期、幼児期のそれぞれの発達過程において、どのように人とかかわりが育つのかを学ぶ。また、保育者の保護者への対応や保育者同士の連携も含めた保育者の果たす役割を学ぶ。						
到 達 目 標	1. 領域「人間関係」を理解するのに必要な基礎知識を身につけている。 2. 一人一人が十分に生かされる集団であることの大切さといった「人間関係」を捉える視点を身につけている。 3. 保育者の保護者への対応や保育者同士の連携といった保育者の役割を理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（１・２・３・４・５・６・７） 地域保育学科（①・②・３・④・５） 文化表現学科（１・２・３・４）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション	予習	教科書の全体に目を通す		
				復習	幼稚園教育要領や保育所保育指針に目を通す		
	第 2 回	内容	人と人との関係	予習	人と人との関係、事例を考察する		
				復習	人と人との関係、自分の意見をまとめる		
	第 3 回	内容	保育・幼児教育の基本と領域「人間関係」	予習	領域「人間関係」、プリントの穴埋めをする		
				復習	領域「人間関係」、自分の意見をまとめる		
	第 4 回	内容	子どもを取り巻く人々と人間関係	予習	子どもを取り巻く人々、事例を考察する		
				復習	子どもを取り巻く人々、自分の意見をまとめる		
	第 5 回	内容	乳児保育における人間関係	予習	乳児保育における人間関係、事例を考察する		
				復習	乳児保育における人間関係、意見をまとめる		
	第 6 回	内容	子どもの遊びと人間関係	予習	子どもの遊びと人間関係、事例を考察する		
				復習	遊びと人間関係、自分の意見をまとめる		
	第 7 回	内容	子どものいざこざと人間関係	予習	子どものいざこざ、事例を考察する		
				復習	子どものいざこざ、自分の意見をまとめる		
	第 8 回	内容	子どもの様々な感情と人間関係	予習	子どもの様々な感情、事例を考察する		
				復習	子どもの様々な感情、自分の意見をまとめる		
	第 9 回	内容	他者への賞賛と人間関係	予習	他者への賞賛と人間関係、事例を考察する		
				復習	他者への賞賛、自分の意見をまとめる		
	第 10 回	内容	子どもの自我と人間関係	予習	子どもの自我と人間関係、事例を考察する		
				復習	子どもの自我、自分の意見をまとめる		
	第 11 回	内容	個性的な子どもと人間関係	予習	個性的な子ども、事例を考察する		
				復習	個性的な子ども、自分の意見をまとめる		
	第 12 回	内容	領域「人間関係」からみた小学校との連携	予習	小学校との連携、事例を考察する		
				復習	小学校との連携、自分の意見をまとめる		
	第 13 回	内容	園で育む子どもの人間関係	予習	園で育む子どもの人間関係、事例を考察する		
				復習	園で育む人間関係、自分の意見をまとめる		
	第 14 回	内容	身近な大人との関係を振り返る	予習	身近な大人との関係を振り返る		
				復習	他の人の意見を聞き、気づいたことをまとめる		
	第 15 回	内容	授業のまとめ	予習	これまでの内容を整理する		
				復習	学んだ内容を整理する		
予習に要する学習時間：概ね４５分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね４５分を目安とする。							
課題へのフィードバック	レポート及び小テストを返却し、コメントを伝える。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（７０％）、レポート・課題（２０％）、授業態度（１０％）						
教科書	『コンパス 保育内容 人間関係』（岸井慶子・酒井真由子編著、建帛社）						
参考文献	授業において紹介する。						
注意事項	他の受講生の意見や考えを聞くこと、また自分自身の体験とつなげて考えることで、学びを深めてほしい。						

科 目 名	保育内容（環境）		単 位 数	1	実務経験	担当教員	まつなが しずこ 松永 静子	
ナパリンクコート	CHS2213	授業形態	演習	有・無				
授 業 の 内 容	・幼稚園教育要領及び保育所保育指針 及び幼保連携型認定こども園教育保育要領に基づく保育内容「環境」の基本的な知識として理解を深める。 ・子どもを取り巻く「環境」について、広い視野で関心を持ち知識を得、理解を深める。 ・「環境を通して行う保育とは」では乳幼児の発達を踏まえ、生活や遊びの環境がどうあれば良いか、子どもが自ら主体的に関わる環境について、実践的に学んでいく。							
到 達 目 標	1. 保育内容「環境」のねらいと内容について、基本的な理解を深める。 2. 子どもを取り巻く様々な環境について関心をもち、環境とは何かを深く考える。 3. 子どもの発達を理解し、保育の中で自ら主体的に環境と関わること、また生活に取り入れていこうとする力を育てる。							
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	環境とは「子どもを取り巻く環境の変化」	予習	環境問題について調べる			
				復習	授業とむすびつけて復習する（まとめ）			
	第 2 回	内容	「環境」について考えるワーク（発表） 【パソコン室で】	予習	ネットで環境問題を調べてみる			
				復習	環境問題の対策についてまとめる			
	第 3 回	内容	保育と環境「環境を通して行う保育」とは	予習	幼稚園教育要領・保育所保育指針総則を読む			
				復習	環境を通して行う保育についてまとめる			
	第 4 回	内容	領域「環境」のねらいと内容「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育保育要領」から	予習	保育内容「環境」を読んでおく。			
				復習	「環境」のねらい、内容を復習しておく。			
	第 5 回	内容	領域「環境」と他領域とのつながり	予習	幼稚園教育要領・保育所保育指針保育内容 5 領域を読む			
				復習	領域とは何か、復習する。			
	第 6 回	内容	子どもの育ちと領域〔環境〕	予習	子どもの発達を予習しておく			
				復習	子どもの発達に応じた環境についてまとめる			
	第 7 回	内容	前半授業のまとめ	予習	前半授業の振り返りをする			
				復習	ミニレポートに取り組む			
	第 8 回	内容	子どもの生活と自然環境（自然体験など）	予習	自然をとりいれた遊びを考えてくる			
				復習	子どもの自然へのかかわりをまとめる			
	第 9 回	内容	子どもの生活と自然環境（生き物など）	予習	戸外で自然素材を探す			
				復習	生命の大切さをまとめる			
	第 10 回	内容	子どもの生活と遊び（空間構成など）	予習	幼稚園実習の保育室の環境を振り返る。			
				復習	室内。室外の環境をそれぞれまとめてみる			
	第 11 回	内容	子どもの学びと環境構成（モノや道具）	予習	実習でかかっていたものや道具をかきだす			
				復習	保育室の環境構成をまとめる			
	第 12 回	内容	保育内容「環境」指導計画の作成	予習	環境を通した保育の指導案を作成するために図書館などで参考書を探す。			
				復習	指導案の原案を書いてみる。			
	第 13 回	内容	保育内容「環境」指導案作成（提出）	予習	考えた活動で指導案の流れを考える			
				復習	指導案作成に取り組む			
	第 14 回	内容	後半授業のまとめ（授業内レポート）	予習	後半授業の振り返りをする			
				復習	全体を通して振り返る			
	第 15 回	内容	保育内容「環境」実践事例（外部講師）	予習	報告していただく実践演の予習			
				復習	講話から学んだことを振り返る			
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 時 30 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	環境問題への関心を深めたり、主体的な学びの環境づくり、保育を目指す授業内容とする。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない ただし授業内レポート実施、指導案提出により評価する。 成績評価の方法： 筆記試験（（レポート）50%）、ミニレポート・課題・指導案（40%）、授業態度・リアクションペーパー（10%）						
教科書								
参考文献	『センス オブ ワンダー 』（レイチェル・L.カーソン、新潮社）							
注意事項								

科 目 名	保 育 内 容(言 葉)		単 位 数	1	実務経験	担当教員	あさぎ なおみ 浅木 尚実	
ナソパ・リンク・コート*	CHS2214		授業形態	演習	有・無			
授 業 の 内 容	乳幼児の言語発達が、周囲の大人とのコミュニケーションから多大な影響を受けることを理解する。乳幼児の言語発達の過程を生活や遊びの事例を通して学び、発達を促す方法を学ぶ。乳幼児が楽しく言葉を習得するための児童文化財についての知識や技術を学ぶ。							
到 達 目 標	1. 乳幼児の言葉の発達過程を理解することができる。 2. 各月齢での発達と保育士の役割についての知識を習得する。 3. 言葉の発達を促す児童文化財について理解することができる。 4. 児童文化財の制作及び発表することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（①・②・3・④・⑤）文化表現学科（1・2・3・4）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく。			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する。			
	第 2 回	内容	言葉の発達と環境①：赤ちゃんとのコミュニケーション能力	予習	コミュニケーションの大切さを調べる。			
				復習	赤ちゃんのコミュニケーション力をまとめる。			
	第 3 回	内容	言葉の発達と環境②：いないいないばあ論	予習	わらべ歌を習得する。			
				復習	取得したわらべ歌、手遊びを身に付ける。			
	第 4 回	内容	言葉の発達と環境③：わらべうたとマザリーズ	予習	言葉の発達をわらべ歌の関係を調べる。			
				復習	赤ちゃんと言葉の発達をまとめる。			
	第 5 回	内容	言葉の発達と環境④：1、2 歳児の言葉の発達と保育士の役割	予習	1、2 歳児の言葉の発達の特徴を調べる。			
				復習	1、2 歳児の言葉の発達の特徴をまとめる。			
	第 6 回	内容	言葉の発達と環境⑤：3、4 歳児の言葉の発達と保育士の役割	予習	3、4 歳児の言葉の発達の特徴を調べる。			
				復習	3、4 歳児の言葉の発達の特徴をまとめる。			
	第 7 回	内容	言葉の発達と環境⑥：5、6 歳児の言葉の発達と保育士の役割	予習	5、6 歳児の言葉の発達の特徴を調べる。			
				復習	5、6 歳児の言葉の発達の特徴をまとめる。			
	第 8 回	内容	言葉の発達と障がい	予習	言葉の発達と障がいについて調べる。			
				復習	言葉の発達と障がいについてまとめる。			
	第 9 回	内容	児童文化財と言葉 手袋人形制作①：デザインを考える。	予習	手袋人形のデザインを考え、材料を準備する。			
				復習	製作手順を理解する。			
	第 10 回	内容	手袋人形制作②：制作する。	予習	製作手順を整理しておく。			
				復習	製作した人形を演じられるように練習する。			
	第 11 回	内容	ストーリーテリングとは 演習①：おはなしを選ぶ	予習	ストーリーテリングとは何かを調べる。			
				復習	おはなしをテキストから選び、練習する。			
	第 12 回	内容	おはなしを語る。 演習②：おはなしを語る。 （アクティブ・ラーニング）	予習	発表するおはなしを練習する。			
				復習	発表全般をまとめ、振り返る。			
	第 13 回	内容	おはなしを語る。 演習③：おはなしの振り返りをする。 （アクティブ・ラーニング）	予習	発表するおはなしを練習する。			
				復習	発表全般をまとめ、振り返る。			
	第 14 回	内容	おはなしを語る。 演習④：おはなしの振り返りをする。 （アクティブ・ラーニング）	予習	発表するおはなしを練習する。			
				復習	発表全般をまとめ、振り返る。			
	第 15 回	内容	まとめ	予習	子どもと言葉の発達の重要課題を考える。			
				復習	子どもと言葉の発達の重要課題をまとめる。			
	予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業中に小テストを行い、試験後、解答の解説と振り返りを行う。 発表後に、各自振り返りシートに記入する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（30 %）、レポート・課題（30 %）、作品・発表（ 30 %）、実技（ %）、授業態度（ 10 %）							
教科書	『絵本から学ぶ子どもの文化』（浅木尚実編著、同文書院）							
参考文献	その都度紹介する							
注意事項	手袋人形の材料を準備すること。（はさみ、針、糸、軍手、フェルト等）							

科 目 名	音楽Ⅱ（ピアノ）		単 位 数	2	実務経験	担当教員	おおわ こういち 大輪 公彦 他
ナンバリングコード	EDS2221		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	音楽（１）ピアノで学んだ内容をもとに、子どもの音楽活動を支える基礎技能として、さらに高度なピアノ演奏技術を修得し、教育実習や保育所実習、採用試験で重要視されるこどもの歌の弾き歌いを中心に学ぶ。クラスを担当する複数の教員より指導を受ける。						
到 達 目 標	1. 音楽（１）ピアノで身につけた知識、演奏技術を深め、教育実習や保育現場での実践に対応できるよう、より多くのこどものうたの弾き歌いができる。 2. コードネームを用いた楽譜から、簡単な伴奏付けをすることができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（１・２・３・４・５・６・７） 地域保育学科（①・②・３・４・５） 文化表現学科（１・２・３・４）						
授 業 計 画	第１回	内容	オリエンテーション	予習	課題曲の予習。		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する。		
	第２回	内容	園生活のうた 弾き歌い① 「おはよう」「おはようのうた」他	予習	課題曲の予習。		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する。		
	第３回	内容	園生活のうた 弾き歌い② 「おべんとう」「おかえりのうた」他	予習	課題曲の予習。		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する。		
	第４回	内容	園生活のうた 弾き歌い③ 「さよならのうた」他	予習	課題曲の予習。		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する。		
	第５回	内容	季節のうた ４月① 他 「あくしゅでこんにちは」「せんせいとおともだち」	予習	課題曲の予習。		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する。		
	第６回	内容	季節のうた ４月② 「チューリップ」「ちょうちょう」「めだかの学校」他	予習	課題曲の予習。		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する。		
	第７回	内容	季節のうた ５月① 「手をたたきましょう」「こいのぼり」他	予習	課題曲の予習。		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する。		
	第８回	内容	季節のうた ５月② 「ぶんぶんぶん」「むすんでひらいて」他	予習	課題曲の予習。		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する。		
	第９回	内容	季節のうた ６月① 「あめふりくまのこ」「あまだれぼったん」他	予習	課題曲の予習。		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する。		
	第10回	内容	季節のうた ６月② 「とけいのうた」「すてきなパパ」他	予習	課題曲の予習。		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する。		
	第11回	内容	季節のうた ７・８月① 「たなばたさま」「うみ」他	予習	課題曲の予習。		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する。		
	第12回	内容	季節のうた ７・８月② 「おばけなんてないさ」「シャボン玉」他	予習	課題曲の予習。		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する。		
	第13回	内容	あそびのうた① 「グーチョキパーでなにつくろう」他	予習	課題曲の予習。		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する。		
	第14回	内容	あそびのうた② 「とんとんとんとんひげじいさん」他	予習	課題曲の予習。		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する。		
	第15回	内容	あそびのうた③ 「むすんでひらいて」「こぶたぬきつねこ」	予習	課題曲の予習。		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する。		
	第16回	内容	季節のうた ９月① 「とんぼのめがね」「つき」他	予習	課題曲の予習。		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する。		
	第17回	内容	季節のうた ９月② 「きらきら星」「どんぐりころころ」他	予習	課題曲の予習。		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する。		
	第18回	内容	季節のうた 10月① 「やきいもグーチョキパー」「きのこ」他	予習	課題曲の予習。		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する。		
	第19回	内容	季節のうた 10月② 「小さい秋みつけた」「まつぼっくり」他	予習	課題曲の予習。		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する。		
	第20回	内容	季節のうた 11月① 「大きなくりの木の下で」「まっかな秋」他	予習	課題曲の予習。		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する。		

授 業 計 画	第 21 回	内 容	季節のうた 11 月② 「夕やけこやけ」「たきび」他	予習	課題曲の予習。
			復習	指導を受けた事項を中心に練習する。	
	第 22 回	内 容	季節のうた 12 月① 「あわてんぼうのサンタクロース」他	予習	課題曲の予習。
			復習	指導を受けた事項を中心に練習する。	
	第 23 回	内 容	季節のうた 12 月② 「ジングルベル」他	予 習	課題曲の予習。
			復習	指導を受けた事項を中心に練習する。	
	第 24 回	内 容	季節のうた 1 月① 「お正月」「雪」他	予 習	課題曲の予習。
			復習	指導を受けた事項を中心に練習する。	
	第 25 回	内 容	季節のうた 1 月② 「雪のこぼろず」「雪のぺんきやさん」他	予 習	課題曲の予習。
			復習	指導を受けた事項を中心に練習する。	
	第 26 回	内 容	季節のうた 2 月① 「まめまき」「」他	予 習	課題曲の予習。
			復習	指導を受けた事項を中心に練習する。	
	第 27 回	内 容	季節のうた 2 月② 「春がきた」「どこかで春が」他	予 習	課題曲の予習。
			復習	指導を受けた事項を中心に練習する。	
	第 28 回	内 容	季節のうた 3 月① 「うれしいひなまつり」「思い出のアルバム」他	予 習	課題曲の予習。
			復習	指導を受けた事項を中心に練習する。	
	第 29 回	内 容	季節のうた 3 月② 「さよならぼくたちのほいくえん」「一年生になったら」他	予 習	課題曲の予習。
			復習	指導を受けた事項を中心に練習する。	
	第 30 回	内 容	コードネームを用いた伴奏づけ	予 習	課題曲の予習。
			復習	指導を受けた事項を中心に練習する。	
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	授業内での発表や実技試験での演奏に対して、個別に講評を行う。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ○ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 作品・発表（ 30 %）、実技（ 50 %）、授業態度（ 20 %）				
教科書	『簡易伴奏による 実用 こどものうた』（田口雅夫・高崎和子共編、カワイ出版）				
参考文献	必要に応じてプリントを配布する。				
注意事項					

科 目 名	体育（幼児体育を含む）		単 位 数	2	実務経験	担当教員 しん どのぶゆき 新 戸 信 之
ナショナルコート*	EDS2213		授業形態	演習	有・無	
授 業 の 内 容	幼児期にたくさん身体を動かし運動好きになることは、その後の運動習慣に繋がる。子ども達に運動の楽しさを伝えるためには、保育者が様々な遊びを理解し、楽しむ必要がある。 本講義では、幼児教育の現場で、①実際に子ども達が親しんでいる運動遊びを体験すること、②運動経験が少ない学生も、親しみやすい種目を通して遊びやスポーツを楽しむこと、③様々な状況に即した運動遊びを選択し提供することを目的とする。					
到 達 目 標	1. 保育者として、運動やスポーツの楽しさを伝えることができる。 2. 年齢・人数・場所など、様々な状況に即した運動遊びを選択し提供することができる。 3. 遊びやスポーツに内在するリスクを理解し、事故を未然に防ぐ知識を持っている。 4. 自身の体力や運動能力に適した身体活動を楽しむことができる。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科 ①・②・3・4 ⑤ 文化表現学科（1・2・3・4）					
授 業 計 画	第 1 回	内容	授業計画、幼児体育の意義	予習	シラバスの確認。	
				復習	体育の意義についてまとめる	
	第 2 回	内容	準備運動・柔軟体操	予習	準備運動の意義・効果について考える。	
				復習	指導上の留意点、活動の効果についてふりかえる。	
	第 3 回	内容	コミュニケーションゲーム	予習	幼少期に行った様々な人数、隊形の遊びを想起する。	
				復習	指導上の留意点、活動の効果についてふりかえる。	
	第 4 回	内容	運動量の多いグループゲーム	予習	幼少期に行ったグループ対抗による運動あそびを想起する。	
				復習	指導上の留意点、活動の効果についてふりかえる。	
	第 5 回	内容	ネイチャーゲーム	予習	幼少期に行った自然体験活動を想起する。	
				復習	指導上の留意点、活動の効果についてふりかえる。	
	第 6 回	内容	鬼ごっこ（グループワーク、発表）	予習	幼少期に行った様々な鬼ごっこを想起する。	
				復習	指導上の留意点、活動の効果についてふりかえる。	
	第 7 回	内容	縄を使った遊び（グループワーク、発表）	予習	幼少期に行った縄を使った遊びを想起する。	
				復習	指導上の留意点、活動の効果についてふりかえる。	
	第 8 回	内容	ボールを使った遊び（グループワーク、発表）	予習	幼少期に行ったボール遊びを想起する。	
				復習	指導上の留意点、活動の効果についてふりかえる。	
	第 9 回	内容	マット、跳び箱、平均台を使った遊び（グループワーク、発表）	予習	それぞれの種目の面白さを考える。	
				復習	指導上の留意点、活動の効果についてふりかえる。	
	第 10 回	内容	伝承遊び	予習	伝承遊びの種類やコツについて調べる。	
				復習	指導上の留意点、活動の効果についてふりかえる。	
	第 11 回	内容	チーム宝探し（グループワーク）	予習	自分なりの宝探しの展開方法を考える。	
				復習	指導上の留意点、活動の効果についてふりかえる。	
	第 12 回	内容	ラリー系の遊び（グループワーク）	予習	「ラリー 子ども」を検索する。	
				復習	指導上の留意点、活動の効果についてふりかえる。	
	第 13 回	内容	リズム体操・レクダンスの創り方 リズム体操・レクダンスの創作・発表（発表、グループワーク）	予習	繰り返しが多い曲を探す	
				復習	カウント方法等のポイントをまとめる。	
	第 14 回	内容	リズム体操・レクダンスの発表（発表、グループワーク）	予習	グループ練習	
				復習	指導上の留意点、活動の効果についてふりかえる。	
	第 15 回	内容	まとめ	予習	前期の授業内容を振り返る	
				復習	指導上の留意点、活動の効果についてふりかえる。	
	第 16 回	内容	指導案の作成方法 指導案の作成（グループワーク）	予習	関心がある指導内容や状況設定について整理しておく。	
				復習	指導案の作成	
	第 17 回	内容	模擬指導のリハーサル（グループワーク）	予習	指導案の作成	
				復習	時間を有効に使えるよう準備しておく。	

	第 18 回	内容	模擬指導のリハーサル (グループワーク)	予習	評価の視点を考慮してリハーサルをする
				復習	LMSで相互評価を確認する。
	第 19 回	内容	ロールプレイングによる模擬指導：A グループ (発表、相互評価)	予習	指導案に相互評価を反映させる。
				復習	LMSで相互評価を確認する。
	第 20 回	内容	ロールプレイングによる模擬指導：B グループ 評価 (発表、相互評価)	予習	指導案に相互評価を反映させる。
				復習	LMSで相互評価を確認する。
授 業 計 画	第 21 回	内容	ロールプレイングによる模擬指導：C グループ 評価 (発表、相互評価)	予習	指導案に相互評価を反映させる。
				復習	LMSで相互評価を確認する。
	第 22 回	内容	ロールプレイングによる模擬指導：D グループ 評価 (発表、相互評価)	予習	指導案に相互評価を反映させる。
				復習	LMSで相互評価を確認する。
	第 23 回	内容	ロールプレイングによる模擬指導：E グループ 評価 (発表、相互評価)	予習	指導案に相互評価を反映させる。
				復習	LMSで相互評価を確認する。
	第 24 回	内容	ロールプレイングによる模擬指導：F グループ 評価 (発表、相互評価)	予習	指導案に相互評価を反映させる。
				復習	LMSで相互評価を確認する。
	第 25 回	内容	ロールプレイングによる模擬指導：G グループ 評価 (発表、相互評価)	予習	指導案に相互評価を反映させる。
				復習	LMSで相互評価を確認する。
	第 26 回	内容	ロールプレイングによる模擬指導：H グループ 評価 (発表、相互評価)	予習	指導案に相互評価を反映させる。
				復習	LMSで相互評価を確認する。
	第 27 回	内容	ロールプレイングによる模擬指導：I グループ 評価 (発表、相互評価)	予習	指導案に相互評価を反映させる。
				復習	LMSで相互評価を確認する。
	第 28 回	内容	ミニ運動会 種目考案 (グループワーク)	予習	運動会の事例を検索
				復習	試行、精査
	第 29 回	内容	ミニ運動会 タイムスケジュール作成	予習	運動会のタイムスケジュールを検索
				復習	担当部分の進行をイメージする。
	第 30 回	内容	ミニ運動会 (グループワーク、発表)	予習	担当部分の進行をイメージする。
				復習	自己評価
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	第 15 回「まとめ」の授業でふりかえりのあと解説。 ロールプレイングによる発表後に解説。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する／(○) しない 成績評価の方法： 筆記試験 (%)、レポート・課題 (20 %)、作品・発表 (40 %)、実技 (%)、授業態度 (40 %)				
教科書	特になし				
参考文献	『たのしい運動あそび』（黒井信隆・山本秀人、いかだ社）				
注意事項	・後期の他者評価についてはスマートフォンと MOODLE (LMS) を利用します。 ・体操着、体育館シューズを着用すること。事故やケガにつながるので、裸足、スリッパ、フード付上着、ジーンズパンツは避ける。 肩にかかる髪は結ぶ。アクセサリ等、固い物は外すこと。 ・意欲、関心、遊び心を持って取り組む姿勢はプラス評価します。				

科 目 名	乳 児 保 育		単 位 数	2	実務経験	担当教員	いのう けいこ 伊能 恵子
ナンバリングコード	CHS2221		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	乳幼児期の重要性と支援の重要性を理解する。特に保育現場におけるトラブルやその解決を含め、理論と実践力を結びつけることを目標とし、乳児保育の理解と実践力の習得を目的とする						
到 達 目 標	1. 乳幼児期の重要性を理解する 2. 発達にあった保育援助力の習得の土台を育む 3. 理論と実践をつなぎ自己を向上させる力を獲得する 4.						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（①・②・③・④・5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	発達の姿	予習	シラバスを読んでくる		
				復習	発達を支援することをまとめる		
	第 2 回	内容	睡眠の発達と保育援助	予習	0才、1才児の理想的生活リズムを調べる		
				復習	睡眠の重要性をまとめる		
	第 3 回	内容	視覚の発達と保育援助	予習	目の機能を調べる		
				復習	視覚の発達を促す保育援助をまとめる		
	第 4 回	内容	聴覚の発達と保育援助	予習	耳の機能を調べる		
				復習	聴覚の重要性と支援をまとめる		
	第 5 回	内容	知覚の発達と保育援助	予習	感覚とは何かを調べる		
				復習	固有感覚のプロセスをまとめる		
	第 6 回	内容	情緒の発達と保育援助	予習	感情・情緒とは何かを調べる		
				復習	情緒発達の支援をまとめる		
	第 7 回	内容	言葉の発達と保育援助：言葉、語彙の発達	予習	言葉とは何かを調べる		
				復習	言葉の重要性をまとめる		
	第 8 回	内容	言葉の発達と保育援助：絵本の力	予習	自分の好きな絵本を推薦する		
				復習	絵本の重要性をまとめる		
	第 9 回	内容	発達を支援する窓口	予習	発達とは何かを考える		
				復習	スクリーニングの窓口をまとめる		
	第 10 回	内容	運動の発達①：0才児期の支援 （グループワーク、発表、討議）	予習	0才児期の運動の姿を調べる		
				復習	0才児期の支援をまとめる		
	第 11 回	内容	運動の発達②：1才児期の支援 （グループワーク、発表、討議）	予習	1才児期の運動の姿を調べる		
				復習	1才児期の支援をまとめる		
	第 12 回	内容	運動の発達③：2才児期の支援 （グループワーク、発表、討議）	予習	2才児期の運動の姿を調べる		
				復習	2才児期の支援をまとめる		
	第 13 回	内容	社会性の発達①：0才児期の支援 （グループワーク、発表、討議）	予習	0才児期の社会性の姿を調べる		
				復習	0才児期の支援をまとめる		
	第 14 回	内容	社会性の発達②：1才児期の支援 （グループワーク、発表、討議）	予習	1才児期の社会性の姿を調べる		
				復習	1才児期の支援をまとめる		
	第 15 回	内容	社会性の発達③：2才児期の支援 （グループワーク、発表、討議）	予習	2才児期の社会性の姿を調べる		
				復習	2才児期の支援をまとめる		
	第 16 回	内容	基本的生活習慣①：0才児期の支援 （グループワーク、発表、討議）	予習	0才児期の生活習慣形成を調べる		
				復習	0才児期の支援をまとめる		
	第 17 回	内容	基本的生活習慣②：1才児期の支援 （グループワーク、発表、討議）	予習	1才児期の生活習慣形成を調べる		
				復習	1才児期の支援をまとめる		
	第 18 回	内容	基本的生活習慣③：2才児期の支援 （グループワーク、発表、討議）	予習	2才児期の生活習慣形成を調べる		
				復習	2才児期の支援をまとめる		
	第 19 回	内容	認知の発達①：0才児期の支援 （グループワーク、発表、討議）	予習	0才児期の認知のあり方を調べる		
				復習	0才児期の支援をまとめる		
	第 20 回	内容	認知の発達②：1才児期の支援 （グループワーク、発表、討議）	予習	1才児期の認知のあり方を調べる		
				復習	1才児期の支援をまとめる		

授 業 計 画	第 21 回	内容	認知の発達③：2才児期の支援 (グループワーク、発表、討議)	予習	2才児期の認知のあり方を調べる
				復習	2才児期の支援をまとめる
	第 22 回	内容	乳児期の重要性①：乳幼児期の脳	予習	臨界期とは何かを調べる
				復習	乳児期の育ちに必要環境をまとめる
	第 23 回	内容	乳児期の重要性②：知能の成り立ち	予習	脳を育む必要性について調べる
				復習	乳児期の重要性をまとめる
	第 24 回	内容	人間的発達の契機	予習	人間とは何かを考える
				復習	人への保育援助をまとめる
	第 25 回	内容	遊びの重要性	予習	昔あそびについて調べる
				復習	遊びの重要性をまとめる
	第 26 回	内容	発達支援の意義と意味	予習	子育てに関する社会問題を調べる
				復習	発達支援の必要性をまとめる
	第 27 回	内容	乳児期の保護者支援①：支援の基本	予習	なぜ保護者支援が必要か考える
				復習	保護者への支援の考え方をまとめる
	第 28 回	内容	乳児期の保護者支援②：他機関との連携	予習	自分の自治体の支援情報を調べる
				復習	他機関との連携の必要性をまとめる
	第 29 回	内容	乳児保育～文献からの学び～	予習	参考文献を探してくる
				復習	文献からの学びをまとめる
	第 30 回	内容	乳児保育～まとめ	予習	乳児保育の学びをまとめる
				復習	乳児保育の大切さをまとめる
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	毎授業ごとの課題レポートにコメントし返却する				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（100%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度（ ）				
教科書	なし				
参考文献	『保育士養成講座：発達心理学』（全国社会福祉協議会）『実習育児学』（吉岡毅著、日本小児医事出版） 『幼児教育と脳』（澤口俊之著、文芸春秋）『子どもの脳の発達臨界期敏感期』（神原洋一著、講談社）				
注意事項					

科 目 名	障 害 児 保 育		単 位 数	2	実務経験	担当教員	さいとう かずよし 齊 藤 和 良
ナンバリングコード	SNE2221		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	この講義では、障害児保育の基本理念と意義を紹介し、視覚障害、聴覚障害、知的障害や発達障害などの各障害の原因や特性及び保育上の留意点について講義する。さらに障害児の援助方法や家庭支援、医療や福祉などの関係機関との連携のあり方について述べる。						
到 達 目 標	1. 障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害児及びその保育について理解している。 2. 様々な障害について理解し、子どもの理解や援助の方法、環境構成等について説明できる。 3. 障害のある子どもの保護者への支援や関係機関との連携について理解している。 4. 障害のある子どもの保育にかかわる保健・医療・福祉・教育等の現状と課題について理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第 1 回	内 容	ガイダンス 障害児保育とは	予習	シラバスを読んでおくこと		
				復習	障害児保育の目的と概要について復習する		
	第 2 回	内 容	障害とは 障害の概念、各障害の定義と分類	予習	障害のとらえ方について教科書を調べる		
				復習	障害について理解する		
	第 3 回	内 容	障害者処遇の歴史的変遷 障害児・者の歴史的変遷と障害児の保育・教育	予習	教科書「障害児保育のあゆみ」を読んでおく		
				復習	授業の要点をまとめる		
	第 4 回	内 容	障害児保育を支える理念 統合保育、ノーマライゼーション、インクルージョン	予習	教科書「障害児保育の制度」を読んでおく		
				復習	インクルージョンについて理解する		
	第 5 回	内 容	障害児保育の意義と基本 障害児と健常児共に育つことの意味	予習	「障害児保育に関する専門性」を読んでおく		
				復習	障害児保育の意義について理解する		
	第 6 回	内 容	特別支援教育・障害児保育の対象 特別支援教育の対象と目的、教育の場	予習	「乳幼児期における障害特性」を読んでおく		
				復習	授業の要点をまとめる		
	第 7 回	内 容	視覚障害児の理解と援助 視覚障害の定義と分類、視覚障害児の心理的特徴	予習	教科書 p. 110-p. 113（視覚障害）を読んでおく		
				復習	視覚障害児の特性を理解する		
	第 8 回	内 容	聴覚障害児の理解と援助 聴覚障害の定義と分類、聴覚障害児の心理的援助	予習	教科書 p. 114-（聴覚障害）を読んでおく		
				復習	聴覚障害児の特性を理解する		
	第 9 回	内 容	肢体不自由児の理解と援助 肢体不自由児の分類と原因、脳性まひ児の分類	予習	教科書 p118-（肢体不自由）を読んでおく		
				復習	肢体不自由の特性を理解する		
	第 10 回	内 容	知的障害児の理解と援助 ① 知能指数とは、知的障害の定義・分類・原因	予習	教科書 p. 40-（知的障害）を読んでおく		
				復習	知的障害の特性を理解する		
	第 11 回	内 容	知的障害児の理解と援助 ② 知的障害児に対する支援	予習	教科書 p. 44-（知的障害）を読んでおく		
				復習	知的障害の支援法を理解する		
	第 12 回	内 容	言語障害児の理解と援助 言語障害の定義と分類、言語指導	予習	教科書 p. 124-（言語障害）を読んでおく		
				復習	言語障害を理解する		
	第 13 回	内 容	情緒障害児の理解と援助 ① 情緒障害の分類、選択性緘黙症やチックの心理的特徴	予習	情緒障害について調べる		
				復習	緘黙症とチックを理解する		
	第 14 回	内 容	情緒障害児の理解と援助 ② 外傷性ストレス障害(PTSD)の心理的特徴	予習	PTSD について調べる		
				復習	虐待と PTSD を理解する		
	第 15 回	内 容	前期の総括 及び小テスト	予習	小テストに向けての予習		
				復習	小テストの解説		
	第 16 回	内 容	発達障害児の理解と援助 ① 広汎性発達障害の分類・定義・心理的特徴	予習	発達障害について調べる		
				復習	広汎性発達障害を理解する		
	第 17 回	内 容	発達障害児の理解と援助 ② 自閉症スペクトラム障害について	予習	自閉症について調べておく		
				復習	自閉症スペクトラム障害を理解する		
	第 18 回	内 容	発達障害児の理解と援助 ③ 学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)の定義と特徴	予習	LD と ADHD について調べておく		
				復習	LD と ADHD を理解する		
	第 19 回	内 容	病弱、身体虚弱児の理解と援助 病弱・身体虚弱の定義、病弱児の心理的特徴と支援	予習	病弱児について調べておく		
				復習	病弱児を理解する		
	第 20 回	内 容	障害児をもつ親の理解と家庭支援 ① 障害児の親の受容と受容過程、養育態度	予習	障害の受容について調べておく		
				復習	障害の受容過程を理解する		

授 業 計 画	第 21 回	内容	障害児をもつ親の理解と家庭支援 ② 家庭保育と家族に対する支援	予習	教科書 p.166（親への支援）を読んでおく
				復習	家庭保育の状況を理解する
	第 22 回	内容	障害児をもつ親の理解と家庭支援 ③ 地域の専門機関等との連携	予習	地域の専門機関について調べておく
				復習	地域の専門機関等を理解する
	第 23 回	内容	障害児保育の実際 ① 障害児保育の目標とその形態	予習	教科書 p.130（発達保障）を読んでおく
				復習	インクルーシブ保育を理解する
	第 24 回	内容	障害児保育の実際 ② 保育所・幼稚園での支援体制とは	予習	教科書 p.144-（支援体制）を読んでおく
				復習	支援体制のあり方について理解する
	第 25 回	内容	障害児保育の実際 ③ ケースカンファレンスと保育の評価	予習	教科書 p.156-（ケースカンファレンス）
				復習	ケースカンファレンスの内容を理解する
	第 26 回	内容	障害児保育の実際 ④ 行動観察による子どもの理解	予習	教科書 p.180-（アセスメント）を読んでおく
				復習	行動観察の方法を理解する
	第 27 回	内容	障害児保育の実際 ⑤ 客観的評価による子どもの理解（スクリーニング検査）	予習	教科書 p.184-（行動観察）を読んでおく
				復習	客観的評価を理解する
	第 28 回	内容	障害児保育の実際 ⑥ 心理検査による子どもの理解（発達検査・言語検査など）	予習	教科書 p.190-（心理検査）を読んでおく
				復習	心理検査の種類と適用を理解する
	第 29 回	内容	障害児保育にかかわる現状と課題 保健・医療・福祉・教育における現状と課題	予習	障害児保育の課題について調べておく
				復習	障害児保育の現状と課題を理解する
	第 30 回	内容	障害児保育の今後のあり方 総括と小テスト	予習	小テストに向けての予習
				復習	小テストの解説
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	後期の初回の授業に、前期に行った小テストを返却し、前期の授業内容を復習し、後期の授業につなげる。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 50 %）、レポート・課題（ 20 %）、授業態度（ 30 %）				
教科書	『よくわかる障害児保育』（尾崎康子・小林真・水内豊和・阿部美穂子編、ミネルヴァ書房）				
参考文献	『インクルーシブ保育論』（名須川知子・大方美香監修 伊丹昌一編著、ミネルヴァ書房）				
注意事項	授業中の私語・携帯電話等の使用・飲食は厳禁。 授業への積極的な参加を期待する。				

科 目 名	社会的養護内容		単 位 数	1	実務経験	担当教員	まんどう あき お 萬 燈 章 雄	
ナソバ・リンク・コート*	SWS2223		授業形態	演習	有・無			
授 業 の 内 容	社会的養護を必要としている子どもたちの現状と支援について学ぶ。実践力を学習できるよう事例研究を通して支援の方法を考えていきたい。また、支援するスタッフとしてどのような姿勢で望むことが必要なのか、倫理や責務についても学ぶ。処遇の結論よりもそれを導き出していくプロセスに重点を置いて学習する。							
到 達 目 標	1. アセスメントから支援方法まで事例を通してそのプロセスを理解している。 2. 様々なケースに応じてどのように対応していくのかを理解している。 3. より困難な場面においても、社会的養護に携わる保育士の職務と倫理に従い行動できることを身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（1・②・3・4・⑤・6・7）地域保育学科 ①・2・3・④・5）文化表現学科（1・2・3・4）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション～ 演習Ⅰ ある施設に就職した友人の愚痴	予習	シラバスに目を通しておくこと			
				復習	事例検討の方法についてまとめる			
	第 2 回	内容	演習Ⅱ 障害児入所施設の事例 「障害受容」と母親の気持ちを理解する	予習	障害児者施設体系について調べる			
				復習	障害受容についてまとめる			
	第 3 回	内容	演習Ⅲ 発達障害児への対応事例（学童保育所・保育所） 失敗をずる権利について	予習	発達障害について調べる			
				復習	障害児者の権利についてまとめる			
	第 4 回	内容	演習Ⅳ 養育不安のある家庭への支援について（保育所・幼稚園） マルトリートメントについて	予習	不適切養育について調べる			
				復習	地域での連携した支援についてまとめる			
	第 5 回	内容	演習Ⅴ 被虐待児への支援について（保育所・幼稚園） 愛着に問題がある子への処遇について	予習	虐待のサインについて調べる			
				復習	愛着障害についてまとめる			
	第 6 回	内容	演習Ⅵ 乳児院から養護施設へ 「愛着の移行」について	予習	社会的養護に必要な施設について調べる			
				復習	「措置変更」についてまとめる			
	第 7 回	内容	演習Ⅶ 日常生活支援（児童養護施設） 入所支援。アドミッションケアについて	予習	「親子分離」について調べる			
				復習	施設入所時の子ども支援についてまとめる			
	第 8 回	内容	演習Ⅷ 日常生活支援（児童養護施設） インケアについて	予習	児童養護施設での生活について調べる			
				復習	日々の生活支援について留意点をまとめる			
	第 9 回	内容	演習Ⅸ 乳児院から里親へ 委託のプロセスや、施設のスタッフとしての支援のあり方など	予習	里親制度について調べる			
				復習	里親委託の留意点についてまとめる			
	第 10 回	内容	演習Ⅹ① 自分の出生を知る権利（児童養護施設・里親） ルーツを知る権利について	予習	ライフストーリーワークについて調べる			
				復習	事例についてアセスメントしてみる			
	第 11 回	内容	演習Ⅹ② 自分の出生を知る権利（児童養護施設・里親） グループ作業	予習	真実告知について調べる			
				復習	ルーツを知る権利についてまとめる			
	第 12 回	内容	DVD学習（児童養護施設） 被虐待児のリービングケアについて	予習	リービングケアについて調べる			
				復習	施設退所支援についてまとめる			
	第 13 回	内容	演習Ⅺ 児童の権利擁護 被措置児童虐待援助者としての倫理と責務について	予習	施設内虐待について調べる			
				復習	援助者としての倫理と責務についてまとめる			
	第 14 回	内容	演習Ⅺ① 子どもの自立支援について（児童養護施設） 事例に基づくアセスメント	予習	自立支援計画について調べる			
				復習	事例についてアセスメントしてみる			
	第 15 回	内容	演習Ⅺ② 子どもの自立支援について 自立支援計画を作成する	予習	指導方針を立ててみる			
				復習	施設処遇についてまとめてみる			
	予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	原則、事例ごとに全員課題についての意見など記載してレポートとして提出。簡単ですがコメントと評価をつけてできるだけ返却していくつもりでいます。事例Ⅹはグループごとに評価しコメントします。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（50%）、作品・発表（20%）、実技（ %）、授業態度（30%）						
教科書	なし							
参考文献	授業中に必要に応じて紹介します。							
注意事項	基本事例も含めプリント資料配布で授業を進めます。この授業は考える課程に授業の目的がありますので、授業マナーを守り意見発表や質問など積極的な参加を評価します。回答の正誤について問いません。							

科 目 名	保育所実習Ⅰ	単 位 数	2	実務経験	担当教員	つちや ゆう 土屋 由
ナンバリングコード	CHS2222	授業形態	実習	有・無		
授 業 の 内 容	保育所実習Ⅰは、保育所実習のうち前期実習にあたり、実習の段階としては「見学・観察実習」となる。前期実習では、保育所の役割と機能を理解する、子どもの発達や援助への理解を深める、保育内容や環境への理解を深める、保育の計画や記録・省察による保育の実際への理解を深めるといった内容を中心に学ぶ。					
到 達 目 標	1. 子どもの生活や遊び、発達過程を理解している。 2. 保育内容や保育環境を理解している。 3. 記録に基づく省察や自己評価ができている。 4. 実習を通して、保育の意義や保育者の役割を理解している。					
学位授与方針	幼児教育学科（１・２・３・４・５・６・７）地域保育学科（１・②・３・④・⑤）文化表現学科（１・２・３・４）					
授 業 計 画	前期保育所実習は、原則として第２学年の２月に実施する（２週間）。 見学・観察実習の主な内容 １．保育所の役割と機能 （１） 保育所の生活と一日の流れ （２） 保育所保育指針の理解と保育の展開 ２．子ども理解 （１） 子どもの観察とその記録による理解 （２） 子どもの発達過程の理解 （３） 子どもへの援助やかかわり ３．保育内容・保育環境 （１） 保育の計画に基づく保育内容 （２） 子どもの発達過程に応じた保育内容 （３） 子どもの生活や遊びと保育環境 （４） 子どもの健康と安全 ４．保育の計画、観察、記録 （１） 保育課程と指導計画の理解と活用 （２） 記録に基づく省察・自己評価 ５．専門職としての保育士の役割と職業倫理 （１） 保育士の業務内容 （２） 職員間の役割分担や連携 （３） 保育士の役割と職業倫理					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 実習園による評価（50％）、実習日誌評価（30％）、課題（20％）					
教科書	『保育実習（基本保育シリーズ）』（児童育成協会、中央法規出版）					
参考文献	授業において紹介する。					
注意事項	実習に参加する学生は、心身ともに健康であり、学内における教科の履修状況・出席・学習態度が良好であること。常に自分自身を見つめ直し、保育者になるための努力を続けることが求められる。					

科 目 名	施設実習	単 位 数	2	実務経験	担当教員	あきやま ひろこ 秋 山 展子
ナンバリングコード	SWS2224	授業形態	実習	⑦・無		
授 業 の 内 容	施設実習は、保育所以外の児童福祉施設と知的障がい者施設で行われる実習である。本学の主な実習施設として、乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設、知的障がい者支援施設などがある。原則として、11日間施設に宿泊又は通勤し、利用者と生活をともにしながら実習を行う。					
到 達 目 標	1. 事前準備をしっかりと行い、実習施設について理解している。 2. 利用者一人一人への適切な支援のあり方を習得している。 3. 施設の機能を理解している。					
	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・⑤）文化表現学科（1・2・3・4）					
授 業 計 画	・実習施設の一日の生活の流れを知る。 ・保育者の一日の職務を知る。 ・利用者の一日の過ごし方や活動内容を学ぶ。 ・自由時間の過ごし方やレクリエーションについて学ぶ。 ・衣食住に関する支援の実際や配慮事項について学ぶ。 ・日中活動における支援のあり方について学ぶ。 ・福祉施設における保育者の役割について学ぶ。 ・福祉施設内のチームワークのあり方について学ぶ。 ・施設の機能について多様な視点から学ぶ。 ・福祉事務所、児童相談所など他機関との連携について学ぶ。 ・利用者や施設について総合的に学び、実習を振り返る。 以上11日間の学外実習をする。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 実習園評価（50%）、実習記録（30%）、実習課題（20%）					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項						

科 目 名	保育所実習Ⅱ	単 位 数	2	実務経験	担当教員	つちや ゆう 土屋 由
ナソパ°リンク°コート°	CHS2223	授業形態	実習	⑦・無		
授 業 の 内 容	保育所実習Ⅱは、保育所実習Ⅰでの学びを踏まえ、保育者として必要な資質・能力・技術を習得すること、さらには子どもの保育及び保護者・家庭への支援について総合的に学ぶ。実習の段階としては「参加・責任実習」であり、子どもの生活や発達へのかかわりを更に深め、保育者として職務内容や職業倫理についても理解を深めることが必要である。					
到 達 目 標	1. 子どもの生活や発達、保育者の役割を理解している。 2. 子どもの生活や発達に即した指導計画の作成方法を身につけている。 3. 子どもの生活や発達に即し、指導計画に基づいて保育実践を行うことができる。 4. 実習の省察・評価から保育の過程を理解することができる。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・②・3・④・⑤）文化表現学科（1・2・3・4）					
授 業 計 画	後期保育所実習は、原則として第3学年の9月（2週間）に実施する。 参加・責任実習の主な内容 1. 保育所の役割や機能の具体的展開 （1）養護と教育が一体となって行われる保育 （2）保育所の社会的役割と責任 2. 観察に基づく保育理解 （1）子どもの心身の状態や活動の観察 （2）保育者の動きや実践の観察 （3）保育所の生活の流れや展開の把握 3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会などとの連携 （1）環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育の理解 （2）入所している子どもの保護者支援と地域の子育て家庭への支援 （3）地域社会との連携 4. 指導計画の作成、実践、観察、記録、評価 （1）保育課程に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解 （2）作成した指導計画に基づく保育実践と評価 5. 保育士の業務と職業倫理 （1）多様な保育の展開と保育士の業務 （2）多様な保育の展開と保育士の職業倫理 6. 自己の課題の明確化					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 実習園による評価（50%）、実習日誌評価（30%）、課題（20%）					
教科書	『保育実習（基本保育シリーズ）』（児童育成協会、中央法規出版）					
参考文献	授業にて紹介する。					
注意事項	保育に関連する教科書・参考文献を読む、また遊びの具体例などについて情報を集めて習熟しておくなど、実習に向けて積極的に自己学習のプランを立て実行すること。					

科 目 名	保育所実習研究Ⅰ	単 位 数	1	実務経験	担当教員	つちや ゆう 土屋 由
ナソバ・リンク・コート*	CHS2224	授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	保育所実習研究は、前期保育所実習（２年次２月）の事前事後指導である。事前指導では、保育所実習の意義や目的を理解する、実習課題を明確にする、実習記録の意義や記録方法・指導計画を学ぶなど、実習に関する必要な知識と心構えを身につけることを目的とする。事後指導では、実習に対する自己評価・反省を求め、後期保育所実習に向けての課題を明らかにし、前期実習から後期実習へと保育についての学びを深めていけるよう必要な準備を行う。					
到 達 目 標	１．保育所実習の意義や目標を理解している。 ２．子どもの観察や実習記録の意義や方法を理解している。 ３．実習に関する必要な知識と心構えを身につけ、心身ともに実習に向けての準備ができています。 ４．実習を通じて、自己課題を理解している。					
学位授与方針	幼児教育学科（１・２・３・４・５・６・７） 地域保育学科（１・②・３・④・⑤） 文化表現学科（１・２・３・４）					
授 業 計 画	第 1 回	内 容	オリエンテーション	予習	教科書の全体に目を通す	
				復習	実習の手引きに目を通す	
	第 2 回	内 容	保育所実習の意義・目的の理解	予習	教科書の実習の意義・目的に目を通す	
				復習	実習の意義・目的の大切な箇所をまとめる	
	第 3 回	内 容	前期実習の内容の理解	予習	教科書の実習内容に目を通す	
				復習	実習の内容の大切な箇所をまとめる	
	第 4 回	内 容	保育所についての理解	予習	教科書の保育所についての理解に目を通す	
				復習	保育所の制度や現状の大切な箇所をまとめる	
	第 5 回	内 容	実習の心構え	予習	教科書の実習の心構えに目を通す	
				復習	実習の心構えの大切な箇所をまとめる	
	第 6 回	内 容	実習に必要な書類の作成	予習	調査書の実習の心構えを考えてくる	
				復習	調査書を仕上げる	
	第 7 回	内 容	実習に必要な書類の修正	予習	調査書の修正をする	
				復習	修正を加えて調査書を仕上げる	
	第 8 回	内 容	実習課題を明らかにする	予習	実習課題を考える	
				復習	実習課題を修正する	
	第 9 回	内 容	実習記録の意義の理解	予習	教科書の実習記録に目を通す	
				復習	実習記録の大切な箇所をまとめる	
	第 10 回	内 容	実習記録の実際と方法①生活場面	予習	教科書の実習記録例に目を通す	
				復習	生活場面の記録の練習をする	
	第 11 回	内 容	実習記録の実際と方法② 遊び場面	予習	教科書の実習記録に目を通す	
				復習	遊びの記録の練習をする	
	第 12 回	内 容	実習に必要な実技の確認	予習	教科書の実技の箇所に目を通す	
				復習	実技の練習をする	
	第 13 回	内 容	オリエンテーションと実習中の心得	予習	教科書のオリエンテーションに目を通す	
				復習	オリエンテーションの大切な箇所をまとめる	
	第 14 回	内 容	実習内容の振り返りとまとめ	予習	実習の振り返りを考える	
				復習	他者の発表を聞き、大切な箇所をまとめる	
	第 15 回	内 容	後期保育所実習への課題を明確にする	予習	後期実習に向け、課題を考える	
				復習	後期実習に向け、必要な準備を行う	
予習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	実習園からの評価票に基づき、面談を行う					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 課題・レポート（６０％）、授業態度（３０％）、手続き（１０％）					
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）、『保育所保育指針』『保育実習（基本保育シリーズ）』（児童育成協会、中央法規出版）					
参考文献	授業において紹介する。					
注意事項	授業では、保育園での子どもの生活や実際の実習内容のイメージがもてるように、視聴覚教材やワーク・シートを活用する。実習に関する知識を身につけ、必要な準備を進めるために、原則として欠席はしないこと。					

科 目 名	施設実習研究		単 位 数	1	実務経験	担当教員	あきやま ひろこ 秋山 展子
ナシバ [®] リンカ [®] コード [®]	SWS2226		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	保育所を除く児童福祉施設を中心とした実習準備のための授業である。実習の目的や意義、実習内容等福祉 施設実習に必要な知識や技能を学ぶ。また、福祉施設利用者の権利擁護、施設職員としての倫理観、実習生と としての勤務のあり方についても学ぶ。実習に必要な書類の提出のほか実習施設から届けられる様々な情報も授 業時に伝える。						
到 達 目 標	１．施設の種別、それぞれの機能について理解している。 ２．施設の種別ごとの利用者について理解している。 ３．施設実習に必要な知識や技能を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科（１・２・３・４・５・６・７） 地域保育学科（１・２・３・４・⑤） 文化表現学科（１・２・３・４）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	施設実習の位置づけ、意義について 実習申込書（誓約書）について	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第 2 回	内容	実習の要件、実習の形態、実習中に必要とされる事項 実習申込書の提出	予習	実習のしおりを読み要件を理解しておく		
				復習	実習の形態についてまとめる		
	第 3 回	内容	養育を必要とする福祉施設における実習	予習	教科書「福祉施設」の章を読んでおく		
				復習	プリントを中心に内容をまとめる		
	第 4 回	内容	障がいをもつ人たちのための福祉施設での実習	予習	教科書「障害児・者施設」の章を読んでおく		
				復習	プリントを中心に内容をまとめる		
	第 5 回	内容	実習希望調査 配当資料の提出	予習	福祉施設の特性を理解しておく		
				復習	各福祉施設における実習内容をまとめる		
	第 6 回	内容	養護系福祉施設における実習内容	予習	教科書「養護系施設実習」の章を読んでおく		
				復習	プリントを中心に内容をまとめる		
	第 7 回	内容	障がいをもつ方が利用する福祉施設における実習内容	予習	教科書「障がい施設実習」の章を読んでおく		
				復習	プリントを中心に内容をまとめる		
	第 8 回	内容	実習課題について	予習	教科書「実習課題」の章を読んでおく		
				復習	プリントを中心に内容をまとめる		
	第 9 回	内容	実習書類の記入と提出	予習	実習の抱負を考えてくる		
				復習	書類の添削を受けて、訂正をしてくる		
	第 10 回	内容	実習施設におけるオリエンテーションについて	予習	教科書「オリエンテーション」の章を読む		
				復習	プリントを中心に内容をまとめる		
	第 11 回	内容	実習施設に関する事前学習	予習	実習施設の種類について調べてくる		
				復習	プリントを中心に施設の特性をまとめる		
	第 12 回	内容	実習日誌の書き方	予習	教科書「実習日誌」の章を読んでおく		
				復習	プリントを中心に内容をまとめる		
	第 13 回	内容	実習書類の確認 細菌検査、実習施設に提出するレポートや誓約書等確認	予習	提出書類の記入及び準備をする		
				復習	書類の確認・実習課題の整理をする		
	第 14 回	内容	実習直前指導、各種報告書の準備	予習	実習前の質問事項を確認してくる		
				復習	実習前課題にとりくむ		
	第 15 回	内容	実習評価、個別面談	予習	実習の反省を整理してくる		
				復習	学習内容をまとめて、学習成果を振り返る		
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	提出物等の評価を実習後の面談により伝える。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：レポート（５０％）、課題（２０％）、授業態度（２０％）、実習書類提出（１０％）						
教科書	『保育士養成課程 五訂 福祉施設実習ハンドブック』（喜多一憲、児玉俊郎／監修 吉村美由紀、吉村譲 編、株式会社みらい）						
参考文献	なし						
注意事項							

科 目 名	保育所実習研究Ⅱ		単 位 数	1	実務経験	担当教員 つちや ゆう 土屋 由
ナシパ°リンク°コート°	CHS2225		授業形態	演習	有・無	
授 業 の 内 容	保育所実習研究Ⅱは、後期保育所実習（３年次９月）の事前事後指導である。事前指導では、後期保育所実習の目的や内容を理解すること、実習課題を明確にすること、指導計画の作成や実習に必要な実技を確認することを行っていく。事後指導では、実習の総括と自己評価を求め、実習報告会などの振り返りの場を通して、保育についての課題を明確にしていく。					
到 達 目 標	1. 実習に関する必要な知識と心構えを身につけ、心身ともに実習に向けての準備を行うことができる。 2. 子どもの生活や遊びに即した指導案の立案ができる。 3. 実習記録を通じて、省察や評価ができていく。 4. 実習を通じて、自己課題を明確にしている。					
学位授与方針	幼児教育学科（１・２・３・４・５・６・７） 地域保育学科（１・②・③・④・⑤） 文化表現学科（１・２・３・４）					
授 業 計 画	第１回	内容	後期実習の目的・内容の理解	予習	実習の手引きを読む	
				復習	目的・内容をノートに整理する	
	第２回	内容	実習に必要な書類の作成①	予習	実習への心構えを考える	
				復習	添削された書類を修正する	
	第３回	内容	実習に必要な書類の作成②	予習	実習の目的を考える	
				復習	添削された書類を修正する	
	第４回	内容	実習課題を明らかにする	予習	実習課題を考える	
				復習	実習課題を修正する	
	第５回	内容	指導案作成上の基本の確認	予習	指導案作成のプリントを読む	
				復習	学んだことをノートに整理する	
	第６回	内容	指導案の立案①幼児クラス主活動	予習	主活動の内容・教材を考える	
				復習	指導案を作成する	
	第７回	内容	指導案の立案②幼児クラス生活場面	予習	生活場面の配慮を考える	
				復習	指導案を作成する	
	第８回	内容	指導案の立案③未満児クラス主活動	予習	主活動の内容・教材を考える	
				復習	指導案を作成する	
	第９回	内容	指導案の立案④未満児クラス生活場面	予習	生活場面の配慮を考える	
				復習	指導案を作成する	
	第10回	内容	実習に必要な実技の確認	予習	手遊びや紙芝居などの実技を考える	
				復習	実技の練習をする	
	第11回	内容	実習記録の実際と方法	予習	実習記録の書き方のプリントを読む	
				復習	実習記録を書く練習をする	
	第12回	内容	実習内容の振り返りとまとめ	予習	実習の内容を振り返る	
				復習	他の人の意見を聞き、気づいたことをまとめる	
	第13回	内容	実習報告会の準備	予習	報告する内容を整理する	
				復習	発表原稿やパワーポイントを作成する	
	第14回	内容	実習報告会	予習	発表の準備をする	
				復習	他の人の発表を聞き、気づいたことをまとめる	
	第15回	内容	実習の総括	予習	実習の総括を考える	
				復習	他の人の意見を聞き、気づいたことをまとめる	
予習に要する学習時間：概ね４５分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね４５分を目安とする。						
課題へのフィードバック	評価票にもとづき、面談を行う。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（６０％）、授業態度（３０％）、手続き（１０％）					
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）、『保育所保育指針』『保育実習（基本保育シリーズ）』（児童育成協会、中央法規出版）					
参考文献	授業において紹介する。					
注意事項	指導案の作成にあたり、様々な授業を通して学んできた遊びや造形表現のアイデアが必要になる。子どもとの活動に際して、役に立ちそうなものをノートにまとめておくなど、学びに対する主体的な態度をもつよう心掛けてほしい。実習について必要な準備を進めるため、原則として欠席はしないこと。					

科 目 名	国 語 教 育		単 位 数	2	実務経験	担当教員	あさぎ なおみ 浅木 尚実
ナソバ・リソグ・コソト	EDS2215		授業形態	講義	有・無		
授 業 の 内 容	幼児における国語教育は、「幼稚園教育要領」にある通り、「読む・書く」教育よりも、「聞く・話す」である。幼児が文学を楽しめるような児童文化財を理解し、知識及び技術を習得する。学生自身の日本語力向上の為に、作文、熟語、漢字等を学ぶ。						
到 達 目 標	1. 幼児の成長を促す文学的なわらべうた、絵本、幼年文学を理解し、知識を習得することができる。 2. ことば遊びを通して、ことばの楽しさを身につけることができる。 3. 伝統的な言語文化である昔話の特色を学び、小学校への国語への連携を理解することができる。 4. 昔話のパロディを創作し、国語の楽しさを身につけることができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（①・②・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション 作文を書く。	予習	シラバスを読んでおく。		
				復習	作文を推敲する。		
	第 2 回	内容	絵本① 絵本の基本を学ぶ。	予習	絵本のいろはを調べる。		
				復習	絵本の基本をまとめる。		
	第 3 回	内容	絵本② 文章の読み方・絵の読み方を知る。	予習	絵本の読み方を調べる。		
				復習	絵本の読み方をまとめる。		
	第 4 回	内容	絵本③ 名作絵本を鑑賞する。『ぐりとぐら』の魅力を考える。	予習	『ぐりとぐら』を読んでくる。		
				復習	絵本の魅力をまとめる。		
	第 5 回	内容	絵本④ ロングセラー絵本を鑑賞する。	予習	ロングセラー絵本を調べる。		
				復習	ロングセラー絵本を多読する。		
	第 6 回	内容	詩、幼年文学：鑑賞する。	予習	詩、幼年文学を読んでおく。		
				復習	詩、幼年文学を多読する。		
	第 7 回	内容	早口ことば、なぞなぞ、ことば遊び：鑑賞し、各自創作する。	予習	早口ことば、なぞなぞ、ことば遊びを調べる。		
				復習	早口ことば、なぞなぞ、ことば遊びを覚える。		
	第 8 回	内容	伝統的な言語文化①：昔話の特色を学ぶ。	予習	伝統的な言語文化とは何かを調べる。		
				復習	昔話の特色をまとめる。		
	第 9 回	内容	伝統的な言語文化②：昔話の分析をする。	予習	自分の好きな昔話を準備する。		
				復習	昔話の分析のまとめをする。		
	第 10 回	内容	伝統的な言語文化③：昔話のパロディの構想を練る。	予習	パロディとは何かを調べる。		
				復習	昔話のパロディをまとめる。		
	第 11 回	内容	グループ演習：アクティブラーニング 昔話の紙芝居を発表しあう。	予習	紙芝居の構想をする。		
				復習	批評を踏まえ、再構築する。		
	第 12 回	内容	伝統的な言語文化④：昔話のパロディを創作する。	予習	パロディ昔話創作の準備をする。		
				復習	パロディ昔話創作をまとめる。		
	第 13 回	内容	伝統的な言語文化⑤：昔話のパロディを脚本家する。	予習	パロディ昔話創作の脚本を考える。		
				復習	パロディ昔話創作の脚本をまとめる。		
	第 14 回	内容	伝統的な言語文化④：昔話のパロディの紙芝居を発表する。	予習	発表の準備をする。		
				復習	発表の振り返りをする。		
	第 15 回	内容	まとめ	予習	レポートの準備をする。		
				復習	全体の振り返りをする。		
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業内にて小テストを行い、各自解答を確認する。 発表後、振り返りシートに記入し、課題を確認する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 20%）、レポート・課題（ 50%）、作品・発表（ 20%）、実技（ %）、授業態度（ 10%）						
教科書	『絵本から学ぶ子どもの文化』（浅木尚実編著、同文書院）						
参考文献	その都度紹介する。						
注意事項	グループによる学習に積極的に参加する。						

科 目 名		数 量 教 育		単 位 数	2	実務経験	担当教員	ほしの おさむ 星野 治	
ナンバリングコード		EDS2216		授業形態	講義	有・無			
授 業 の 内 容		この授業では、数理に関する科目であり、いわゆる算数・数学の授業（与えられた問題に対する解答の作成）だけではなく、算数・数学の教育方法のありかたや数理的思考を育成する。身の回りのあらゆる事象を「数」・「量」・「形」の観点から見つめ直すことを通して、「数」・「量」・「形」の意味するものや、「数」・「量」・「形」の取り扱われかたを考察する。							
到 達 目 標		1. 私たちの社会が「数」・「量」・「形」を抜きにしては成り立たないことを確認している。 2. 幼少時から慣れ親しんできた「数」・「量」・「形」が、私たち自身の社会感覚の形成過程に際して重要な鍵の一つであることを理解している。 3. 幼稚園児の将来の学校活動（例：算数授業への参加など）や社会活動（例：買い物など）に無理なく結び付けられるような、数量教育指導のありかたを考えることができる。							
学位授与方針		幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（①・②・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）							
授 業 計 画	第 1 回	内 容	ガイダンス 数の面白さ・不思議さ 「数」のもつ魅力を概観する。	予 習	シラバスを読んでおく。				
				復 習	この科目で習得すべき内容を理解する。				
	第 2 回	内 容	言葉としての数 「数」が言葉の一種であることを確認する。	予 習	配布（または紹介）された資料類に目を通しておく。				
				復 習	「数」が言葉の一種であることの意味を理解する。				
	第 3 回	内 容	数の種類 実際に使われている、いろいろな「数」を概観する。	予 習	いろいろな「数」の使われかたを確認する。				
				復 習	いろいろな「数」についてレポートにまとめる。				
	第 4 回	内 容	数量と図形との関係 「かず」と「かたち」との対応を概観する。	予 習	「数」と「図形」との対応関係を確認する。				
				復 習	「かず」と「かたち」との対応についてレポートにまとめる。				
	第 5 回	内 容	生活の中の数・量・形 日常の諸活動の中に登場する「数」を概観する。	予 習	日常生活の中の「数」のありかたを再確認する。				
				復 習	日常の諸活動の中の「数」についてレポートにまとめる。				
	第 6 回	内 容	遊びの中の数・量・形① いろいろな遊びの中に垣間見られる「数」を概観する。	予 習	「数」の立場からいろいろな遊びの仕組みを確認する。				
				復 習	遊びの中の「数」についてレポートにまとめる。				
	第 7 回	内 容	数・量に関する先人の知恵① 実用されている様々な「単位」の意味を概観する。	予 習	「単位」のもつ意味を確認する。				
				復 習	様々な「単位」についてレポートにまとめる。				
	第 8 回	内 容	数・量に関する先人の知恵② これまでに考案されてきた、実用的な数値処理手法について概観する。	予 習	資料類を通して、数値処理方法の意味を理解する。				
				復 習	実用的な数値処理手法についてレポートにまとめる。				
	第 9 回	内 容	文芸作品の中の数・量・形① 「数」の観点から、往年の名作（主に文章作品）を鑑賞し直す。	予 習	授業開始前に作品全編を読了していることが望ましい。				
				復 習	取り扱い作品に対する鑑賞文を作成する。				
	第 10 回	内 容	文芸作品の中の数・量・形② 「数」の観点から、往年の名作（主に映像作品）を鑑賞し直す。	予 習	作品全体の概要を前もって確認しておくことが望ましい。				
				復 習	取り扱い作品に対する鑑賞文を作成する。				
	第 11 回	内 容	小・中学校の算数・数学① 文部科学省の学習指導要領のうち、小学校の算数に関する内容を概観する。	予 習	小学校学習指導要領（解説を含む）を概観しておく。				
				復 習	授業中に出题された練習問題（小学校卒業程度）を解く。				
	第 12 回	内 容	小・中学校の算数・数学② 文部科学省の学習指導要領のうち、中学校の数学に関する内容を概観する。	予 習	中学校学習指導要領（解説を含む）を概観しておく。				
				復 習	授業中に出题された練習問題（中学校卒業程度）を解く。				
	第 13 回	内 容	遊びの中の数・量・形② 数遊びそのものを通して、「数」の面白さを概観する。	予 習	数遊びの原理について理解する。				
				復 習	数遊びの意義についてレポートにまとめる。				
	第 14 回	内 容	幼児教育における数・量・形 未就学児にとって必要な「数」とは何かを見直す。	予 習	配布（または紹介）された資料類に目を通しておく。				
				復 習	未就学児にとっての「数」についてレポートにまとめる。				
	第 15 回	内 容	全体のまとめ 「数」・「量」・「形」に対する教育のありかたを、各自なりに整理する。	予 習	これまでに配布済みの全資料類に目を通しておく。				
				復 習	授業当日に指示された内容の確認レポートを作成する。				
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。									
課題へのフィードバック		授業期間中に随時、簡単な確認テスト（レポート作成）を実施し、必要な解説を行う。							
成績評価		試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（70％）、授業態度（30％）							
教科書		必要に応じて随時紹介するほか、プリントを随時配布する。							
参考文献		必要に応じて随時紹介するほか、プリントを随時配布する。							
注意事項		1. 幼稚園教諭二種免許を必要とする人は、この科目および『国語教育』のうち、少なくともどちらか一方の単位を修得すること。 2. 他の科目の授業時に使われる教科書や参考文献を、この授業でも利用することがある。 3. 保育者としての自覚と問題意識を持って授業に臨むこと。							

科 目 名	保 育 者 論		単 位 数	2	実務経験	担当教員	いしかわ のぶまさ 石河 信雅	
ナソバ・リンク・コート*	EDU2222		授業形態	講義	有・無			
授 業 の 内 容	少子化、高齢化、情報化社会、知識基盤社会などと現代は表現されている。この様な、社会の変化に伴い保育や保育者の役割が変化しつつある。しかし、保育者はいつでも子どもと共に「過去」「現在」「未来」を生きていかなければならない。子どもと共に、保護者と共に、同僚や地域社会と共に生きることが重要である。そのためにも専門家としての職務、資質、専門性、現代社会における保育者の在り方等について、理解を深める。							
到 達 目 標	1. 保育の「質」について自分自身の考えが持てる 2. 保育者を目指し身として「今」自分は何をするべきか見据え、分析し学びに取り組む姿勢をつくる 3. 保育者とは常に学び続けなければならない存在である、そのためにも学びの手法を身につける							
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7） 地域保育学科（1・②・3・④・⑤） 文化表現学科（1・2・3・4）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション、これからの学びの心構えをつくる	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	自分の学びについてまとめる			
	第 2 回	内容	幼稚園教育要領について	予習	幼稚園教育要領を読んでおく			
				復習	幼稚園教育要領について考えをまとめる			
	第 3 回	内容	保育所退く指針について	予習	保育所保育指針を読んでおく			
				復習	保育所保育指針について考えをまとめる			
	第 4 回	内容	幼保連携型認定こども園教育・保育要領について	予習	教育・保育要領を読んでおく			
				復習	教育・保育要領について考えをまとめる			
	第 5 回	内容	保育の質について様々な視点から概観する	予習	保育の質について調べておく			
				復習	保育の質について考えをまとめる			
	第 6 回	内容	保育者の質について倉橋惣三より学ぶ 1	予習	保育者の質について調べておく			
				復習	保育者の質についてまとめる			
	第 7 回	内容	保育者の質について倉橋惣三より学ぶ 2	予習	保育者の質を意識して自信を振り返る			
				復習	保育者の質についてレポートにまとめる			
	第 8 回	内容	保育者として身に付けたい資質について	予習	保育者としての資質について調べる			
				復習	保育者としての資質について考えをまとめる			
	第 9 回	内容	理想とすべき保育について	予習	理想とする保育について調べておく			
				復習	理想とする保育についてさらに学びを深める			
	第 10 回	内容	理想とすべき保育を実践するために今何を学ぶことが必要か	予習	理想とする保育実践について調べる			
				復習	理想とする保育実践についてまとめる			
	第 11 回	内容	子どもの発達と保育内容について	予習	子どもの発達について調べておく			
				復習	子どもの発達と保育について考えをまとめる			
	第 12 回	内容	子育て支援、地域との連携について	予習	子育て支援地域との連携について調べておく			
				復習	子育て支援地域と連携について考えを深める			
	第 13 回	内容	多様性に対応した保育について	予習	発達障害等多様性について調べておく			
				復習	多様性に対応した保育についてまとめる			
	第 14 回	内容	保幼小の連携について	予習	保幼小の連携について調べておく			
				復習	保幼小の連携について重要事項をまとめる			
	第 15 回	内容	保育者の成長と同僚性について	予習	同僚性について調べておく			
				復習	保育現場での同僚性についてまとめる			
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	日々の講義の中で、レポート等を作成しそのレポートに朱書きを入れたり、内容について講義中に説明を加えるなどする。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（50％）、レポート・課題（30％）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度（20％）						
教科書	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領							
参考文献	講義の中で適宜提示する。							
注意事項	授業を通して、保育者となる自分自身の望ましい在り方を模索して欲しい。							

科 目 名	教 育 社 会 学		単 位 数	2	実務経験	担当教員	はやさか 早坂 めぐみ
ナンバリングコード	SOE2221		授業形態	講義	有・無		
授 業 の 内 容	公教育制度の成立・展開を理解したうえで、教育に関わる現代的課題や子どもをめぐる諸問題について、社会的視点から多角的に捉える。自身の教育に関する体験や子ども観、理想の保育者像について捉え直し、自己と社会との関わりに対する理解を深める。						
到 達 目 標	1. 現代の学校と社会の関わりを理解するために、教育制度に関する基礎的知識を習得する。 2. 現代日本における教育上の諸問題について構造的に理解する。 3. 学校安全および地域連携に関する基礎的知識を習得する。 4. 保育者や教員の果たす役割について様々な視点から捉えることができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第1回	内容	イントロダクションー教育とは何か、教育社会学とはどのような学問か	予習	教育という言葉の意味を調べてまとめる		
				復習	教育社会学の特徴をノートにまとめる		
	第2回	内容	教育制度① 公教育制度の成立と理念	予習	公教育という言葉の意味を調べてまとめる		
				復習	配布資料の内容をノートにまとめる		
	第3回	内容	教育制度② 社会の変化と教育政策	予習	教育社会学の書籍を図書館で調べ、読む①		
				復習	配布資料の内容をノートにまとめる		
	第4回	内容	子どもの社会化① 家族と子ども	予習	教育社会学の書籍を図書館で調べ、読む②		
				復習	配布資料の内容をノートにまとめる		
	第5回	内容	子どもの社会化② 学校、地域、子ども	予習	教育社会学の書籍を図書館で調べ、読む③		
				復習	社会化概念の要点と重要性をまとめる		
	第6回	内容	職業的社会化ー実習生について考える ＜グループワーク＞	予習	教育実習での出来事を思い出し、記述する		
				復習	職業的社会化の観点から予習をまとめ直す		
	第7回	内容	子どもの「見えない」貧困と貧困対策の制度 ＜グループワーク＞	予習	貧困の意味を調べ、イメージを記述する		
				復習	子どもの「見えない」貧困の要点をまとめる		
	第8回	内容	子どもの安心・安全と「教育」	予習	レポートのテーマについて考え、書きだす		
				復習	教育に対するイメージの変化を記述する		
	第9回	内容	学校における友人関係の諸問題ーいじめ、 スクールカースト、「優しい関係」	予習	友人関係の悩みについてノートに書きだす		
				復習	授業内容をもとに予習内容を再考する		
	第10回	内容	レポートの書き方の説明、少年犯罪について の認識とメディア＜グループワーク＞	予習	少年犯罪のイメージをノートに書きだす		
				復習	レポートに使用する論文を読み、まとめる①		
	第11回	内容	関係性と暴力	予習	レポートに使用する論文を読み、まとめる②		
				復習	暴力とはどのような力かをノートにまとめる		
	第12回	内容	依存症から社会のあり方を考える	予習	レポートに使用する論文を読み、まとめる③		
				復習	授業資料の要点をノートにまとめる		
	第13回	内容	「恋愛結婚」は当たり前か	予習	レポートを執筆する①		
				復習	戦後家族モデルの特徴をノートにまとめる		
	第14回	内容	ジェンダーー本学の建学の精神について 再考する＜グループワーク＞	予習	レポートを執筆する②		
				復習	建学の精神に対する考えの変化をまとめる		
	第15回	内容	まとめ＜グループワーク＞	予習	ノートを読み返し、これまでの学びをまとめる		
				復習	グループワークの成果をノートにまとめる		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	提出されたレポートについて、コメントする。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート（50％）、課題（30％）、授業態度（20％）						
教科書	なし						
参考文献	『社会学ドリル』（中村英代、新曜社）、『半径5メートルからの教育社会学』（片山悠樹・内田良・古田和久・牧野智和編、大月書店）						
注意事項	授業内で出された課題は、授業時間内に作成・提出すること。授業で配布されたプリントは、各自ファイルにまとめて保管すること。グループワークやディスカッションには積極的に参加すること。						

科 目 名	保 育 課 程 論		単 位 数	2	実務経験	担当教員	おおしま おりえ 大 嶋 織江
ナパ・リンク・コート*	EDU2223		授業形態	講義	有・無		
授 業 の 内 容	関係法令や幼稚園教育要領に基づき、教育課程や長期・短期の指導計画の作成・立案について理解する。教育課程からどのように指導計画（長期指導計画）が具体化されていくのかについて、実際の教育課程や指導計画をいくつか事例として取り上げながら、子どもの実態に即した計画の立て方や環境構成のあり方について考え、指導計画を作成できる力を養う。						
到 達 目 標	1. 教育課程編成の考え方・手順を知り、PDCA サイクルの考え方を理解している。 2. 指導計画の基本や考え方を理解している。 3. ねらいや子どもの姿から、経験させたい具体的な活動をすぐに思い浮かべることができる。 4. 教育課程・保育課程（全体的な計画）から長期・短期の指導計画を立案することができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（①・②・3・④・5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション ～授業内容の説明と予定について～ ～教育課程・全体的な計画とは何か？～	予習	教育課程と全体的な計画の違いの確認		
				復習	教育課程と全体的な計画とは何かを整理		
	第 2 回	内容	保育における計画と評価の意義について	予習	保育に計画が必要な理由を考える		
				復習	保育における計画と評価の意義について整理		
	第 3 回	内容	カリキュラムの基礎理論について	予習	カリキュラムとは何かを確認		
				復習	3つのカリキュラムを説明できるように整理		
	第 4 回	内容	教育課程・保育課程の変遷について	予習	教育課程・保育課程の変遷を教科書で確認		
				復習	教育課程・保育課程の歴史的変遷を整理		
	第 5 回	内容	改訂幼稚園教育要領と「育みたい資質・能力」について	予習	「育みたい資質・能力」を確認		
				復習	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を確認		
	第 6 回	内容	幼稚園・保育所・認定こども園における関係法令について	予習	幼稚園・保育所・認定こども園の違いを確認		
				復習	幼稚園・保育所の関係法令についての整理		
	第 7 回	内容	教育課程および全体的な計画等の編成の方法と手順について	予習	特になし		
				復習	教育課程の編成の方法と手順についての理解		
	第 8 回	内容	指導計画の作成① ～長期の指導計画の編成について～	予習	長期の指導計画の種類を確認		
				復習	長期の指導計画編成についての理解		
	第 9 回	内容	指導計画の作成② ～短期の指導計画の編成について～ ごっこ遊びの体験①（お寿司屋さんごっこ）～グループワークと指導案の作成～	予習	制作に必要な準備物の用意		
				復習	特になし		
	第 10 回	内容	ごっこ遊びの体験②（パン屋さんごっこ） ～もくねんさんの粘土を使っのパン作り（形づくり）	予習	制作に必要な準備物の用意		
				復習	特になし		
	第 11 回	内容	ごっこ遊びの体験②（続き）（パン屋さんごっこ）～もくねんさんの粘土を使っのパン作り（色塗り）とグループワーク	予習	制作に必要な準備物の用意		
				復習	特になし		
	第 12 回	内容	食育と食育カリキュラムについて	予習	幼稚園などで食育を行う意義を考える		
				復習	食育の意義についての整理		
	第 13 回	内容	子育て支援としての延長保育 ～長時間保育の実践について～	予習	特になし		
				復習	延長保育のメリットとデメリットの整理		
	第 14 回	内容	保育の記録および省察について	予習	特になし		
				復習	保育の記録および省察の意義を整理		
	第 15 回	内容	保育の評価と改善～PDCA サイクルの考え方について～	予習	保育の PDCA サイクルとは何かを確認		
				復習	保育の PDCA サイクルの意義を整理		
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	保育課程論のまとめとしての試験の後にその解説として、保育課程論のまとめを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（40%）、レポート・課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（0%）、授業態度（10%）						
教科書	『保育の計画と評価』（宮川萬寿美 編著 啓文書林 2018） —豊富な例で1からわかる—						
参考文献	『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』						
注意事項	私語を慎み、質問があるときには、遠慮せずに聞くようにしてください。						

科 目 名	保育内容（音楽表現Ⅱ）	単 位 数	1	実務経験	担当教員	にとう ひろみ 二藤 宏美
ナソバ・リンク・コート	CHS2226	授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	身体を使った音楽表現ゲームを学習します。実際にリーダー役となってクラスのメンバーにゲームを伝える実践を通し、展開手法を学びます。遊びに関連した簡単な歌やピアノの即興演奏を体験します。適宜、サウンドスケープの理念に基づく身近な音探索課題も紹介し、その意義をます。					
到 達 目 標	1. 授業で扱った音楽ゲームの内容と意図を理解している。 2. 指導者として、状況に応じ柔軟にプログラム展開ができる。 3. 身近な音環境について、問題意識をもって考察できる。 4. 聴覚的な想像や音づくり活動の重要性について説明できる。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科 ①② 3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）					
授 業 計 画	第 1 回	内容	身近な環境にある音を聴く	予習	過去 24 時間に聞いた音を列挙しておく	
				復習	サウンドスケープの理念を理解する	
	第 2 回	内容	私の音楽履歴 静止した音、動く音	予習	乳幼児の頃の自分の履歴をインタビューする	
				復習	聴く行為の多様性を理解する	
	第 3 回	内容	からだの中の音、見えない音をみつける	予習	教科書の課題を読み内容を理解しておく	
				復習	展開内容をまとめ、コメントを加える	
	第 4 回	内容	ビートにのろう リズムのオスティナート	予習	教科書の課題を読み内容を理解しておく	
				復習	展開内容をまとめ、コメントを加える	
	第 5 回	内容	ビートにのろう ともだちとかわる	予習	教科書の課題を読み内容を理解しておく	
				復習	展開内容をまとめ、コメントを加える	
	第 6 回	内容	拍子を感じよう 2 拍子、3 拍子、4 拍子	予習	教科書の課題を読み内容を理解しておく	
				復習	展開内容をまとめ、コメントを加える	
	第 7 回	内容	拍子を感じよう 8 分の 6 拍子	予習	教科書の課題を読み内容を理解しておく	
				復習	展開内容をまとめ、コメントを加える	
	第 8 回	内容	ピアノ即興の考え方	予習	基本的なコードとフレーズ奏を練習しておく	
				復習	即興パターンをまとめる	
	第 9 回	内容	フレーズ・呼吸・空間 ともだちとかわる	予習	教科書の課題を読み内容を理解しておく	
				復習	展開内容をまとめ、コメントを加える	
	第 10 回	内容	フレーズ・呼吸・空間 アクセントを予感して	予習	教科書の課題を読み内容を理解しておく	
				復習	展開内容をまとめ、コメントを加える	
	第 11 回	内容	即興演奏 ドとソ	予習	教科書の課題を読み内容を理解しておく	
				復習	展開内容をまとめ、コメントを加える	
	第 12 回	内容	即興演奏 ソファミ 音の階	予習	教科書の課題を読み内容を理解しておく	
				復習	展開内容をまとめ、コメントを加える	
	第 13 回	内容	即興演奏 音の高低	予習	教科書の課題を読み内容を理解しておく	
				復習	展開内容をまとめ、コメントを加える	
	第 14 回	内容	声だけを使った表現（グループワークによる創作）	予習	課題ごとにイメージ素案を考えておく	
				復習	発表プランをまとめておく	
	第 15 回	内容	声だけを使った表現（グループワークによる発表）	予習	発表へ向けて練習しておく	
				復習	発表内容と課題をまとめておく	
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	実施後に成績をつける観点を説明する。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（40%）、作品・発表（40%）、授業態度（20%）					
教科書	『リズム＆ゲームにどっぷり！リトミック 77 選』（神原雅之著、明治図書）					
参考文献	『サウンド・エデュケーション』（R.マリー・シェーファー、春秋社）					
注意事項	しっかり声や音を出すべき場面もあれば、沈黙必須の場面もあります。心して臨んで下さい。持ち回りでリーダーになり、教科書で紹介されているゲームを伝えます。担当者は万全に準備をしましょう。					

科 目 名	保育内容（造形表現Ⅱ）	単 位 数	1	実務経験	担当教員	たけだ まりえ 武田 真理恵
ナソバ・リンク・コート	CHS2227	授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	子どもの発達段階を踏まえた造形表現について理解を深めながら、子どもの表現意欲を引き出す言葉がけや関わり方を学びます。素材の持ち味をいかした造形表現を考え、子どもたちが心を開放し、いきいきと表現できる行動計画の構成を学びます。					
到 達 目 標	1. 保育者としての豊かな感性および創造性と表現力を身につけ、子どもの表現活動を多様な方面から受け止め支援できる保育者になる。 2. 乳幼児期に適したコミュニケーションの手段を豊富に持ち、子どもが表現したくなる手立てを状況に応じて提供できる専門性を身につけている。 3. 子どもの発達に応じた表現活動の行動計画を考え、構成できる力を身につけている。					
学位授与方針	幼児教育学科（１・２・３・４・５・６・７）地域保育学科（１・２・３・４・５）文化表現学科（１・２・３・４）					
授 業 計 画	第 1 回	内容	感性・イメージを豊かにするー１ スタンピング（手形スタンプ他）	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	スタンピングについて調べる／折り紙	
	第 2 回	内容	感性・イメージを豊かにするー２ スタンピング（生活素材でスタンプ遊び）	予習	作品イメージを考えておく	
				復習	スタンピングについて理解を深める	
	第 3 回	内容	感性・イメージを豊かにするー３ 素材を生かした楽器製作	予習	楽器作りの準備をする	
				復習	楽器作りについて調べる／折り紙	
	第 4 回	内容	感性・イメージを豊かにするー４ 粘土について	予習	粘土について調べる	
				復習	粘土についての理解を深める／折り紙	
	第 5 回	内容	遊びを豊かにするー 1 人形遊びについて（ペープサート 1）	予習	作品イメージを決めておく	
				復習	進行具合を調整する／折り紙	
	第 6 回	内容	遊びを豊かにするー 2 人形遊びについて（ペープサート 2）	予習	作品が仕上がるために準備をする	
				復習	ペープサートについて考える／折り紙	
	第 7 回	内容	遊びを豊かにするー 3 人形遊びについて（人形製作 1）	予習	作品イメージを決めておく	
				復習	進行具合を調整する／折り紙	
	第 8 回	内容	遊びを豊かにするー 4 人形遊びについて（人形製作 2）	予習	作品が仕上がるために準備をする	
				復習	人形について理解を深める／折り紙	
	第 9 回	内容	遊びを豊かにするー 5 子どもの生活とあそび（ままごと遊び）	予習	作品イメージを決めておく	
				復習	ままごとについて理解を深める／折り紙	
	第 10 回	内容	編む・織るー 2 機織り 1	予習	機織りについて調べる	
				復習	進行具合を調整する／折り紙	
	第 11 回	内容	編む・織るー 3 機織り 2	予習	作品が仕上がるために準備をする	
				復習	機織りについて理解を深める	
	第 12 回	内容	環境・行事を豊かにするー 1 四季を彩る壁面構成（グループワーク 1）	予習	作品イメージを話し合っておく	
				復習	次回必要な材料の準備／折り紙	
	第 13 回	内容	環境・行事を豊かにするー 2 四季を彩る壁面構成（グループワーク 2）	予習	作品が仕上がるために準備をする	
				復習	壁面構成について理解を深める／折り紙	
	第 14 回	内容	遊びを豊かにする造形表現活動の 指導計画について	予習	計画の案を準備する	
				復習	指導計画について理解を深める	
	第 15 回	内容	造形表現活動のまとめとフィードバック	予習	授業を振り返っておく	
				復習	造形表現について理解を深める	
予習に要する学習時間：概ね 1 5 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 3 0 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	作成したレポートや作品にコメントを行う。提出課題のフィードバック（１０回目あたり）					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート（ ２０％）課題（２０％）、作品・発表（４０％）、授業態度（２０％）					
教科書	『楽しい造形表現』（子どもの造形表現研究会 編著、主文社）					
参考文献	『表現活動の行動計画表づくり』（芸術教育研究所監修、平井由美子編著、黎明書房）ほか					
注意事項	① 作品の提出期限を守ること ② 授業に必要な道具や材料は各自責任をもって準備すること ③ 製作に要する材料費は本人負担 ④グループワークは人任せにせず、積極的に関わること					

科 目 名	保 育 指 導 法		単 位 数	2	実務経験	担当教員	とうま ゆうこ 當麻 祐子
ナンバリングコード	EDU2224		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	保育・教育指導に必要な知識を学び、具体的な事例や保育教材研究等を通して実践的に学ぶ。 様々な保育・教育場面を想定し、ビデオやグループワークなど交えながら学んでいく。						
到 達 目 標	1. 子どもの姿を映したビデオを見て、子ども理解の課題に答えることが出来る 2. 提示されたエピソードに対し、学生同士で話し合い、色々な視点に気付くことが出来る 3. 指導要領を実際の保育教育とつなげて理解することが出来る 4. 幼児教育に携わることへの責任とやりがいを感じ取ることが出来る						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（①・②・3・④・5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション・保育指導法とは何か	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	授業の進め方や習得すべきことを理解する		
	第2回	内容	子どもをとりまく現状と子ども理解	予習	子どもをとりまく現状を調べる		
				復習	子どもを理解する為に必要なことをまとめる		
	第3回	内容	子ども理解～ビデオを通して （グループワーク）	予習	自分なりの子ども観をまとめておく		
				復習	ビデオからの読み取りを整理する		
	第4回	内容	環境を通しての保育	予習	色々な環境を考えておく		
				復習	環境を通して行う保育の意義をまとめる		
	第5回	内容	ふさわしい生活の展開	予習	幼児期にふさわしい生活とは何か考える		
				復習	ふさわしい生活の展開をまとめる		
	第6回	内容	遊びを通しての保育	予習	自分なりの遊びのイメージを考える		
				復習	幼児期の遊びとは何かまとめる		
	第7回	内容	子どもの遊び～ビデオを通して （グループワーク）	予習	子どもが遊んでいるのを観察する		
				復習	子どもの遊びの読み取りを整理する		
	第8回	内容	発達の特性に応じた保育 0歳から2歳までの発達と保育	予習	発達の特性とは何か調べる		
				復習	発達の課題についてまとめる		
	第9回	内容	3歳児 1期～5期の保育	予習	3歳児の発達をおさえておく		
				復習	3歳児の育ちと保育を整理する		
	第10回	内容	4歳児 1期～5期の保育	予習	4歳児の発達をおさえておく		
				復習	4歳児の育ちと保育を整理する		
	第11回	内容	5歳児 1期～5期の保育	予習	5歳児の発達をおさえておく		
				復習	5歳児の育ちと保育を整理する		
	第12回	内容	様々な保育形態	予習	保育形態の種類を調べる		
				復習	それぞれの特徴をまとめる		
	第13回	内容	保育研究～自然	予習	身近な生き物や植物を観察する		
				復習	自然と保育のかかわりをまとめる		
	第14回	内容	保育研究～音楽	予習	様々なジャンルの子どもの音楽を調べる		
				復習	音楽の指導についてまとめる		
	第15回	内容	保育研究～運動	予習	運動の大切さについて考える		
				復習	運動の指導についてまとめる		
	第16回	内容	様々な安全指導	予習	園内での危険について考える		
				復習	安全対策についてまとめる		
	第17回	内容	教育課程と指導計画	予習	指導計画について調べる		
				復習	指導計画と実践についてまとめる		
	第18回	内容	保育研究～絵本・紙芝居	予習	読み聞かせ用の絵本を選んでくる		
				復習	指導計画の練り直しをする		
	第19回	内容	絵本読み聞かせ（発表）	予習	読み聞かせの練習をする		
				復習	他学生から学んだことを整理する		
	第20回	内容	実践から学ぶ（グループワーク）	予習	実習での課題をまとめる		
				復習	他学生から学んだことを整理する		

授 業 計 画	第 21 回	内容	エピソードから学ぶ（発表）	予習	実習でのエピソードをまとめる
				復習	エピソードを新たな視点で整理する
	第 22 回	内容	基本的生活習慣と規範意識	予習	生活習慣の現状を調べる
				復習	生活習慣の重要性をまとめる
	第 23 回	内容	園行事について	予習	様々な園行事を調べる
				復習	園行事の捉え方をまとめる
	第 24 回	内容	保育研究～造形	予習	色々な造形活動を調べる
				復習	発達と表現について整理する
	第 25 回	内容	記録について	予習	記録の種類を調べる
				復習	実践と記録について整理する
	第 26 回	内容	特別支援教育について	予習	発達障害について調べる
				復習	支援についてまとめる
	第 27 回	内容	幼小連携について	予習	幼小連携の必要性を考える
				復習	必要性や注意点などをまとめる
	第 28 回	内容	地域との連携・保護者とのかかわり	予習	地域との連携について考える
				復習	必要性や注意点などをまとめる
	第 29 回	内容	3 つの柱と 1 0 の姿	予習	生きる力の基礎について調べる
				復習	幼児期の教育の重要性をまとめる
	第 30 回	内容	保育者の専門性・まとめ	予習	保育者の心構えを考える
				復習	幼児期の教育・保育者の役割についてまとめる
予習に要する学習時間：概ね 2 0 分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね 2 5 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	レポートや発表に対し、コメントを行う				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（5 0 %）、レポート・課題（2 0 %）、作品・発表（1 0 %）、実技（ %）、授業態度（2 0 %）				
教科書	オリジナルのパワポスライドを使用（適宜配布）				
参考文献	「幼稚園教育要領 / 保育所保育指針 / 幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（チャイルド本社）				
注意事項	人格の基礎を培う幼児期の保育教育に携わる為の勉強であることを自覚し臨むこと 授業へ取り組む姿勢を重視していく				

科 目 名	教 育 相 談		単位数	2	実務経験	担当教員	か が や たかふみ 加賀谷 崇文	
ナソバ・リンク・コート*	EDU2225		授業形態	講義	有・無			
授 業 の 内 容	幼児教育において、幼稚園教諭が行う教育相談は子どもの健全な成長に欠かせないものである。一方で、子どもを正しく理解し、その保護者からの相談を的確に受けることは、幼稚園教諭にとってかなり高度な知識が必要となる。本授業では、特に保護者からの相談をどのように受けるのか、様々な観点から学んでいく。							
到 達 目 標	1. 保護者からの相談を受けることができる。 2. 相談の技法を習得している。 3. 他職種との連携をとれる。 4. 子どもの発達を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科 ①・2・③④・5）文化表現学科（1・2・3・4）							
授 業 計 画	第 1 回	内 容	教育相談とは	予 習	シラバスを読んでおく。			
				復 習	授業内容を確認する。			
	第 2 回	内 容	保育者と相談	予 習	自分が相談を受ける場面を想定しておく。			
				復 習	自分自身の相談スキルを確認する。			
	第 3 回	内 容	クライアント中心療法	予 習	教科書の該当部分を読んでおく。			
				復 習	理論と実践の確認。			
	第 4 回	内 容	精神分析法	予 習	教科書の該当部分を読んでおく。			
				復 習	理論と実践の確認。			
	第 5 回	内 容	認知行動療法	予 習	教科書の該当部分を読んでおく。			
				復 習	理論と実践の確認。			
	第 6 回	内 容	保育者としての相談：専門性を活かす	予 習	教科書の該当部分を読んでおく。			
				復 習	実践できるようまとめる。			
	第 7 回	内 容	保育者としての相談：他機関との連携	予 習	教科書の該当部分を読んでおく。			
				復 習	実践できるようまとめる。			
	第 8 回	内 容	保育者としての相談：寄り添う援助	予 習	教科書の該当部分を読んでおく。			
				復 習	実践できるようまとめる。			
	第 9 回	内 容	教育相談の枠組み	予 習	幼稚園における相談環境を考える。			
				復 習	実習先を想定して相談業務をイメージする。			
	第 10 回	内 容	子どもの心理的不適応に関する相談	予 習	子どもの心理的不適応について調べておく。			
				復 習	心理的不適応に関する相談技法を確認する。			
	第 11 回	内 容	子どもの発達に関する相談	予 習	子どもの発達理論を確認しておく。			
				復 習	発達に関する相談技法を確認する。			
	第 12 回	内 容	発達障害に関する相談①（知的障害、自閉症スペクトラム）	予 習	知的障害、自閉症について確認しておく。			
				復 習	障害児や保護者へのアプローチを確認する。			
	第 13 回	内 容	発達障害に関する相談②（ADHD、LD）	予 習	ADHD、LD について確認しておく。			
				復 習	子どもの受け止め方を確認する。			
	第 14 回	内 容	保護者自身の相談	予 習	保護者の悩みを考えてみる。			
				復 習	保護者の悩みの受けとめ方を確認する。			
	第 15 回	内 容	現代の子育てと相談	予 習	現代の子育てを考えてみる。			
				復 習	現代の保護者に対する相談を整理する。			
	予習に要する学習時間：概ね 1 5 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 3 0 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	筆記試験の結果から、理解の不十分な点を後日伝える。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（90%）、レポート・課題（ %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（10%）						
教科書	『事例で学ぶ保育のための相談援助・支援』（須永進、同文書院）							
参考文献								
注意事項	私語は慎むこと。							

科 目 名	幼児教育実習	単 位 数	4	実務経験	担当教員	とねがわ あきひろ 利根川 彰博																								
ナソパ®リンク®コード*	EDU2226	授業形態	実習	㊦・無																										
授 業 の 内 容	授業を通して学んだ知識や技能が、幼児教育の場でいかに活かされ応用することができるかということを実 践を通して学ぶ。また、保育の様子を観察する、子どもの活動に参加する、 保育者の助手的立場をとるなどの経験を通し、保育者の職務理解に務める。前期実習を 2 年次 11 月に、後期実習を 3 年次 10 月に実施する。																													
到 達 目 標	1. 子どもの発達を体験的に学び、子どもの実態に合った保育の営みについて理解している。 2. 保育者の職務理解に努め、責任実習を通し指導方法、指導技術などを体得している。 3. 幼稚園の地域における役割や社会的な機能について理解している。																													
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）																													
授 業 計 画	<table><tr><td>前期実習（観察・参加実習）</td><td>後期実習（参加・責任実習）</td></tr><tr><td>実習園の概要を知る</td><td>幼稚園の特徴、機能や役割を学ぶ</td></tr><tr><td>実習園の日課を理解する</td><td>配属クラスの特徴をつかみ子どもとのかかわる</td></tr><tr><td>配属クラスの子どもの名前を覚える</td><td>個々の子どもの特性を把握し、一人ひとりに合った かかわりをする</td></tr><tr><td>子どもの遊びに参加する</td><td>保育者の保育の進め方や指導方法を学ぶ</td></tr><tr><td>保育の進め方を観察する</td><td>保育の多様な活動の部分を担当する</td></tr><tr><td>環境構成のあり方を学ぶ</td><td>教材研究をする</td></tr><tr><td>絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び等、保育の営 みの一部分を担当する</td><td>部分実習、責任実習などの指導案を作成し実践する</td></tr><tr><td>子どもの興味・関心、思考傾向など子どもの実態 を知る</td><td>登園時、降園時の保育者と保護者のかかわり方を観 察する</td></tr><tr><td>保育者の職務について学ぶ</td><td>幼稚園と他機関との連携、子育て支援などについて学ぶ</td></tr><tr><td>前期実習を振り返り自己評価をする</td><td>実習全般の振り返りを行う</td></tr><tr><td>自己課題を明確にし、後期実習にむけた準備をす る</td><td>保育者としての自己課題を明確にする</td></tr></table>						前期実習（観察・参加実習）	後期実習（参加・責任実習）	実習園の概要を知る	幼稚園の特徴、機能や役割を学ぶ	実習園の日課を理解する	配属クラスの特徴をつかみ子どもとのかかわる	配属クラスの子どもの名前を覚える	個々の子どもの特性を把握し、一人ひとりに合った かかわりをする	子どもの遊びに参加する	保育者の保育の進め方や指導方法を学ぶ	保育の進め方を観察する	保育の多様な活動の部分を担当する	環境構成のあり方を学ぶ	教材研究をする	絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び等、保育の営 みの一部分を担当する	部分実習、責任実習などの指導案を作成し実践する	子どもの興味・関心、思考傾向など子どもの実態 を知る	登園時、降園時の保育者と保護者のかかわり方を観 察する	保育者の職務について学ぶ	幼稚園と他機関との連携、子育て支援などについて学ぶ	前期実習を振り返り自己評価をする	実習全般の振り返りを行う	自己課題を明確にし、後期実習にむけた準備をす る	保育者としての自己課題を明確にする
前期実習（観察・参加実習）	後期実習（参加・責任実習）																													
実習園の概要を知る	幼稚園の特徴、機能や役割を学ぶ																													
実習園の日課を理解する	配属クラスの特徴をつかみ子どもとのかかわる																													
配属クラスの子どもの名前を覚える	個々の子どもの特性を把握し、一人ひとりに合った かかわりをする																													
子どもの遊びに参加する	保育者の保育の進め方や指導方法を学ぶ																													
保育の進め方を観察する	保育の多様な活動の部分を担当する																													
環境構成のあり方を学ぶ	教材研究をする																													
絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び等、保育の営 みの一部分を担当する	部分実習、責任実習などの指導案を作成し実践する																													
子どもの興味・関心、思考傾向など子どもの実態 を知る	登園時、降園時の保育者と保護者のかかわり方を観 察する																													
保育者の職務について学ぶ	幼稚園と他機関との連携、子育て支援などについて学ぶ																													
前期実習を振り返り自己評価をする	実習全般の振り返りを行う																													
自己課題を明確にし、後期実習にむけた準備をす る	保育者としての自己課題を明確にする																													
成績評価	試験期間における定期試験： 実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 実習園の評価（50％）、実習日誌評価（50％）																													
教科書	『幼稚園教育実習』（浅見均・田中正浩、大学図書出版）																													
参考文献	幼稚園教育要領（文部科学省）																													
注意事項	実習日誌の提出期限は厳守すること。																													

科 目 名	幼児教育実習研究		単 位 数	1	実務経験	担当教員	とねがわあきひろ　ながい 利根川彰博・永井めぐみ
ナンバリングコード	EDU2227		授業形態	実習	有・無		
授 業 の 内 容	教育実習と並行して行われる授業であり、教育実習に関する事前事後の指導を行う。教育実習の目的、幼稚園の機能、幼稚園教諭の職務内容について学ぶとともに、実習手続きに必要な書類の作成の指導を行っていく。前期・後期実習の各段階における実習内容や目的、実習記録の方法、指導計画の理解と作成について学習する。						
到 達 目 標	1．幼稚園に関する基本的な事を理解する。 2．子どもの発達の様子や遊びの実態を理解する。 3．保育活動、保育内容を理解する。 4．教材研究、指導案を作成する。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（①・②・3・④・⑤）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第1回	内容	教育実習の意義・目的	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	『実習の手引き』を読む。		
	第2回	内容	教育実習のための手続き	予習	実習の計画を確認する。		
				復習	提出書類を確認する。		
	第3回	内容	前期実習の目的と心得：参加・観察実習について	予習	『実習の手引き』を読む。		
				復習	教科書の内容を整理する。		
	第4回	内容	幼稚園での生活を学ぶ	予習	幼稚園の一日の生活を調べる。		
				復習	感想・気づきをまとめる。		
	第5回	内容	実習時期の保育や子どもの様子を学ぶ	予習	季節の絵本や手遊びを調べる。		
				復習	調べた絵本や手遊びを実践する。		
	第6回	内容	自己紹介の方法と紹介グッズの作成	予習	自己紹介の方法とグッズを調べる。		
				復習	自己紹介グッズを使って練習する。		
	第7回	内容	提出書類の作成①：「学生調査書」下書き	予習	事前に作成した下書きを用意する。		
				復習	期日までに下書きを提出する。		
	第8回	内容	提出書類の作成②：「学生調査書」清書	予習	下書きの修正内容を確認する。		
				復習	清書を作成し提出する。		
	第9回	内容	実習課題の検討	予習	実習課題を考える。		
				復習	実習課題を整理する。		
	第10回	内容	実習課題の作成	予習	実習課題の下書きを作成する。		
				復習	実習課題の清書を作成する。		
	第11回	内容	実習日誌の書き方①：実習園の概況・環境等	予習	実習日誌を確認する。		
				復習	実習園の概況・環境等の書き方を確認する。		
	第12回	内容	実習日誌の書き方②：保育の記録	予習	実習日誌を書く意義について確認する。		
				復習	保育の記録の書き方を確認する。		
	第13回	内容	実習日誌の書き方③：1日の振り返りと自己評価	予習	実習日誌を書く目的について確認する。		
				復習	1日の振り返りの書き方を確認する。		
	第14回	内容	実習中の諸注意	予習	『実習の手引き』を読む。		
				復習	実習中の諸注意を整理する。		
	第15回	内容	オリエンテーションの受け方	予習	オリエンテーションの事前準備をする。		
				復習	オリエンテーション報告書を作成する。		
	第16回	内容	後期実習の目的・心得	予習	『実習の手引き』を読む。		
				復習	教科書の内容を整理する。		
	第17回	内容	後期実習手続きの書類の作成指導：調査書について	予習	下書きを作成する。		
				復習	清書を作成し提出する。		
	第18回	内容	実習課題の検討と作成	予習	後期の実習課題を考える。		
				復習	実習課題を作成する。		
	第19回	内容	実習時期と教材研究	予習	実習時期の保育の流れを確認する。		
				復習	教材を収集する。		
	第20回	内容	責任実習の留意点	予習	教科書を読む。		
				復習	責任実習の留意点について整理する。		

授 業 計 画	第 21 回	内容	主活動の指導案の作成：製作活動について	予習	製作物を調べる。
				復習	指導案を作成する。
	第 22 回	内容	主活動の指導案作成：ゲームや身体活動について	予習	ゲームや身体活動を調べる。
				復習	指導案を作成する。
	第 23 回	内容	責任実習の指導案の作成	予習	1 日の保育の流れを調べる。
				復習	指導案を作成する。
	第 24 回	内容	オリエンテーション報告書の作成	予習	オリエンテーションの事前準備をする。
				復習	オリエンテーション報告書を作成する。
	第 25 回	内容	実習日誌の書き方④：後期実習での視点について	予習	教科書の内容を確認する。
				復習	後期実習の日誌の書き方を確認する。
	第 26 回	内容	実習中の諸注意	予習	『実習の手引き』を読む。
				復習	実習中の諸注意を整理する。
	第 27 回	内容	実習の振り返り	予習	後期実習の振り返りをする。
				復習	後期実習での学びをまとめる。
	第 28 回	内容	実習報告会準備	予習	実習全体を振り返り、まとめる。
				復習	担当の報告内容を考える。
	第 29 回	内容	実習報告会資料作成	予習	担当の報告内容を整理する。
				復習	報告会の資料を作成する。
	第 30 回	内容	実習報告会	予習	報告内容の原稿を作成する。
				復習	報告会の感想をまとめる。
	予習に要する学習時間：概ね 2 0 分を目安とする。			復習に要する学習時間：概ね 2 5 分を目安とする。	
課題へのフィードバック	レポートや課題にはコメントを付けて返却する。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 6 0 ％）、授業態度（ 4 0 ％）				
教科書	『幼稚園教育実習』（浅見均・田中正浩、大学図書出版） 『実習の手引き』				
参考文献	幼稚園教育要領（文部科学省）				
注意事項	・事前に十分な準備を行なうことは、子どもや実習園の状況に応じた柔軟な対応を可能にする。受講生には、授業時だけでなく、授業時間外にも書籍や保育雑誌に目を通し、実践方法を学ぶことが求められる。				

科 目 名	保育・教職実践演習 (幼稚園)		単 位 数	2	実務経験	担当教員 つちや いとう あさぎ とねがわ 土屋・伊藤・浅木・利根川
ナンバリングコード*	EDU2228		授業形態	演習	有・無	
授 業 の 内 容	将来の教員像を描けるように、教職の意義を実践的な演習体験を通して学び直し、自己の課題を自覚し、教職生活が円滑にスタートできるようにする。主に①使命感や責任感、教育的愛情に関する事項、②社会性や対人関係能力に関する事項、③幼児理解や学級経営に関する事項、④教科・保育内容に関する事項といった4つの具体的なテーマを中心に履修する。					
到達目標	1. 演習体験を通して、教職生活についての具体的なイメージができています。 2. 他の学生とのディスカッションなどを通じて、視野を広げて子どもとのかかわりを捉えられている。 3. ポスター発表などを通じて、今日的課題を理解している。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・②・3・④・⑤) 文化表現学科 (1・2・3・4)					
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション(履修カルテの記入)	予習	シラバスを読み、授業計画を把握する。	
				復習	授業の評価方法や注意事項を確認する。	
	第2回	内容	子どもの権利に関する条約① 「知る」・「読む」・「使いこなす」	予習	子どもの権利条約の経緯を調べる。	
				復習	子どもの権利条約の条文に目を通す。	
	第3回	内容	子どもの権利に関する条約② 子どもに伝わる俳句を作る【グループワーク、発表】	予習	注目したい子どもの権利条約を3つ挙げる。	
				復習	他グループの発表を聞き、意見をまとめる。	
	第4回	内容	子どもの権利に関する条約③ 実習体験に基づき事例を作成する(ポスター)	予習	実習体験に基づき事例を考えてくる。	
				復習	事例と子どもの権利条約とのつながりが説明できているかを見直す。	
	第5回	内容	子どもの権利に関する条約④ 【ポスター発表、前半】	予習	発表の練習をする	
				復習	発表を聞き、意見をまとめる	
	第6回	内容	子どもの権利に関する条約⑤ 【ポスター発表、後半】	予習	発表の練習をする	
				復習	発表を聞き、意見をまとめる	
	第7回	内容	保育の質を考える① 保育事故、映像から学ぶ	予習	どのような保育事故があるのか調べる。	
				復習	保育事故について意見をまとめる。	
	第8回	内容	保育の質を考える② 子どものケガ・事故への対応と安全管理【グループワーク】	予習	子どものケガが起こる場面・場所を考える。	
				復習	子どものケガが起こる場面・場所を整理する。	
	第9回	内容	保育の質を考える③ 子どものケガ・事故への対応と安全管理【発表】	予習	発表の準備をする。	
				復習	発表を聞き、意見をまとめる。	
	第10回	内容	現職の先生による講座	予習	講座内容について配布されたプリントを読む。	
				復習	講座の内容をまとめる。	
	第11回	内容	理想の園を考える① コンセプトを考える	予習	理想の園について環境や内容を考える。	
				復習	グループで話し合った内容を整理する。	
	第12回	内容	理想の園を考える③ コンセプトに基づき文献や保育実践例を調べる	予習	コンセプトに基づき文献や保育実践例を探す。	
				復習	調べた文献を読み、整理する。	
	第13回	内容	理想の園を考える④ 発表準備	予習	発表する内容を考える。	
				復習	発表内容を振り返り、追加する内容を考える。	
	第14回	内容	理想の園を考える⑤ 【発表】	予習	発表の練習をする。	
				復習	発表を聞き、意見をまとめる。	
	第15回	内容	授業全体のまとめと振り返り	予習	職業生活のあり方について意見をまとめる。	
				復習	授業で学んだことを整理する。	
予習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。						
課題へのフィードバック	・話し合いの内容および方向性について助言する。 ・発表の内容についてコメントする。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する／(○)しない 成績評価の方法： 課題(60%)、発表(30%)、授業態度(10%)					
教科書	なし					
参考文献	授業で紹介する。					
注意事項	他の受講生の意見や考えを聞き、自分の考えと相対化することで、学びを深めてほしい。					

科 目 名	保育相談支援		単 位 数	1	実務経験	担当教員 いとう あきよし 伊藤 明芳
ナンバリングコード	CHS2229		授業形態	演習	有・無	
授 業 の 内 容	保育相談支援は、保育者が相談者（主に保護者）に対して、家庭や園における子どもの保育・教育上の問題について、その望ましい解決に向けて助言や援助指導をおこなう実践活動である。背景に発達や環境の要因があると推測される子どもの問題行動から保護者の養育不安まで、相談内容は多岐にわたる。これからの保育者には保護者の心へのサポートもより意識的に求められるようになる。本講義では、保育相談支援の基礎的知識の習得と現場で生きる保育相談支援の実践的能力の育成を図る。さらに、保育者自身の心の安定と成長にもアプローチしたいと考えている。					
到 達 目 標	1. 保育者が保育相談支援を行なう意義を理解し説明できる。 2. 保育相談支援の具体的な方法を理解し実践できる。 3. 保育者として、相談者の心に寄り添う保育相談支援の実践をおこなう心を養っている。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（①・②・3・④・⑤）文化表現学科（1・2・3・4）					
授 業 計 画	第 1 回	内容	1. イントロダクション 保育相談支援とは何か	予習	シラバスを読み、授業計画を把握する。	
				復習	授業内容と評価方法について理解する。	
	第 2 回	内容	2. 体験から学ぶ相談に必要なこと ロールプレイ(1) [相談を受ける時の基本姿勢]	予習	本ロールプレイの意味と意義を調べる。	
				復習	実習の感想をまとめる。	
	第 3 回	内容	ロールプレイ(2) [意思を通じあうこと]	予習	本ロールプレイの意味と意義を調べる。	
				復習	実習の感想をまとめる。	
	第 4 回	内容	3. 保育相談支援実践の基本と応用 相談の基礎(1) [概要]	予習	相談について調べる。	
				復習	相談の概要について理解し整理する。	
	第 5 回	内容	相談の基礎(2) [実践へのヒント]	予習	相談実践について調べる。	
				復習	相談の実践について理解し整理する。	
	第 6 回	内容	相談のための理論の活用	予習	相談理論について調べる。	
				復習	相談の理論と活用について理解し整理する。	
	第 7 回	内容	相談のための心理アセスメント	予習	心理アセスメントについて調べる。	
				復習	心理アセスメントについて理解し整理する。	
	第 8 回	内容	相談のプロセス	予習	相談のプロセスについて調べる。	
				復習	相談プロセスについて理解し整理する。	
	第 9 回	内容	相談の技法	予習	相談の技法について調べる。	
				復習	相談技法について理解し整理する。	
	第 10 回	内容	4. 事例から学ぶ保育相談支援 [登園渋り等]	予習	登園渋りについて調べる。	
				復習	本事例からの学びを整理する。	
	第 11 回	内容	子どもの心の発達・心の問題(1) [逸脱行動等]	予習	逸脱行動について調べる。	
				復習	本事例からの学びを整理する。	
	第 12 回	内容	子どもの心の発達・心の問題(2) [養育不安等]	予習	養育不安について調べる。	
				復習	本事例からの学びを整理する。	
	第 13 回	内容	子どもの心の発達・心の問題(3) [保護者の心]	予習	保護者の心について調べる。	
				復習	本事例からの学びを整理する。	
	第 14 回	内容	5. 保育者の心の健康を育む	予習	心の健康について調べる。	
				復習	保育者の心の健康の育みについて理解し整理する。	
	第 15 回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	本講義全体の学びと疑問点を整理する。	
				復習	今後の実践活用について考察をする。	
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	受講学生に対して、主に個別に試験やレポートの成績のフィードバックをおこなう。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ○ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（60％）、レポート・課題（20％）、授業態度（10％）					
教科書	須永進(編)(2013). 事例で学ぶ保育のための相談援助・支援～その方法と実際 同文書院					

参考文献	講義の際に随時紹介する。
注意事項	講義を中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他、ロールプレイ等も取り入れ、相談等の体験的な学習もおこないたい。 相談を受けて人に関わるとき、保育者には人間のかつ専門的な総合力が必要になる。そこで、受講者には積極的に授業に参加し、自ら学び考える意欲を持つことが求められる。

科 目 名	臨 床 心 理 学		単位数	2	実務経験	担当教員	か が や たかふみ 加賀谷 崇文
ナンバリングコード	CLP2211		授業形態	演習	○・無		
授 業 の 内 容	現代社会では、不登校やいじめ・摂食障害など、こころの問題が原因と思われる現象が様々な場面で見られている。臨床心理学とは、このような問題を、どのように理解し、どのように援助していくかを考える学問である。このような視点を紹介した上で、我々が生活の中で、臨床心理学的な考えをどう活かしていくか考えていきたい。						
到 達 目 標	1. 臨床心理学という学問分野を理解している。 2. 保育と臨床心理学の接点を考えることができる。 3. 人の心の動きを知っている。 4. 自分自身について理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科 ①②・3・④ 5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授業計画	第 1 回	内容	臨床心理学とは	予習	シラバスを読んでおく。		
				復習	教科書全体に目を通してみる。		
	第 2 回	内容	臨床心理学の研究領域	予習	教科書を読んでおく。		
				復習	授業内容の整理。		
	第 3 回	内容	臨床心理学の歴史：古代における心のとらえ方	予習	教科書を読んでおく。		
				復習	授業内容の整理。		
	第 4 回	内容	臨床心理学の歴史：キリスト教と心の癒し	予習	教科書を読んでおく。		
				復習	授業内容の整理。		
	第 5 回	内容	臨床心理学の歴史：フランス革命と自然科学	予習	教科書を読んでおく。		
				復習	授業内容の整理。		
	第 6 回	内容	臨床心理学の歴史：メスメルと催眠療法	予習	教科書を読んでおく。		
				復習	授業内容の整理。		
	第 7 回	内容	臨床心理学の歴史：フロイトと精神分析	予習	教科書を読んでおく。		
				復習	授業内容の整理。		
	第 8 回	内容	臨床心理学の歴史：心理学の発展	予習	教科書を読んでおく。		
				復習	授業内容の整理。		
	第 9 回	内容	ユングのグリム童話分析	予習	グリム童話をいくつか読んでおく。		
				復習	読んでおいた童話を分析してみる。		
	第 10 回	内容	乳児期の発達	予習	教科書を読んでおく。		
				復習	実際の子どもの例に当てはめてみる。		
	第 11 回	内容	メラニー・クラインとウィニコットの理論	予習	教科書を読んでおく。		
				復習	実際の子どもの例に当てはめてみる。		
	第 12 回	内容	幼児期前半の発達	予習	教科書を読んでおく。		
				復習	実際の子どもの例に当てはめてみる。		
	第 13 回	内容	幼児期後半の発達	予習	教科書を読んでおく。		
				復習	実際の子どもの例に当てはめてみる。		
	第 14 回	内容	児童期の発達	予習	教科書を読んでおく。		
				復習	実際の子どもの例に当てはめてみる。		
	第 15 回	内容	青年期から老年期の発達	予習	教科書を読んでおく。		
				復習	実際の人物の例に当てはめてみる。		
	第 16 回	内容	クライアント中心療法の実践	予習	教科書を読んでおく。		
				復習	ビデオ内容を振り返ってみる。		
	第 17 回	内容	クライアント中心療法の理論	予習	教科書を読んでおく。		
				復習	授業内容の整理。		
	第 18 回	内容	クライアント中心療法の技法	予習	教科書を読んでおく。		
				復習	授業内容の整理。		
	第 19 回	内容	心理アセスメント	予習	教科書を読んでおく。		
				復習	授業内容の整理。		
	第 20 回	内容	言語による情報収集	予習	教科書を読んでおく。		
				復習	周囲の人物で考えてみる。		

授 業 計 画	第 21 回	内容	非言語による情報収集	予習	教科書を読んでおく。
				復習	周囲の人物で考えてみる。
	第 22 回	内容	心理テスト	予習	教科書を読んでおく。
				復習	心理テストの結果を振り返ってみる。
	第 23 回	内容	健康な人の心理療法	予習	教科書を読んでおく。
				復習	授業内容の整理。
	第 24 回	内容	神経症水準の心理療法	予習	教科書を読んでおく。
				復習	授業内容の整理。
	第 25 回	内容	人格障害水準の心理療法	予習	教科書を読んでおく。
				復習	授業内容の整理。
	第 26 回	内容	境界性人格障害について	予習	教科書を読んでおく。
				復習	授業内容の整理。
	第 27 回	内容	精神病水準の心理療法	予習	教科書を読んでおく。
				復習	授業内容の整理。
	第 28 回	内容	統合失調症とは	予習	教科書を読んでおく。
				復習	授業内容の整理。
	第 29 回	内容	統合失調症の正しい理解	予習	教科書を読んでおく。
				復習	授業内容の整理。
	第 30 回	内容	催眠療法	予習	教科書を読んでおく。
				復習	授業内容の整理。
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	試験を返却する。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（90%）、レポート・課題（ %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（10%）				
教科書	『いちばんよくわかる図解臨床心理学』（加賀谷崇文、成美堂出版）				
参考文献					
注意事項					

科 目 名	地 域 子 育 て 支 援 論		単 位 数	2	実務経験	担当教員	つちやゆう とねがわあきひろ 土屋由・利根川彰 博
ナソバ・リンク・コート*	SWS2228		授業形態	講義	有・無		
授 業 の 内 容	現代社会において、子育て支援は重要な課題となっている。一方で、これらの取り組みが始まってからある程度の時間がたち、より地域に根差した新たな支援も考慮しなければならない。本講義では、学生が主体となって実際の支援活動を企画・運営することで「地域子育て支援」のあり方について学ぶ。						
到 達 目 標	1. 子育て支援の具体的方法について理解している。 2. 二歳・三歳児と保護者への関わり方を学ぶことができる。 3. 子育て支援の効果を理解している。 4. 本学の環境を踏まえた活動の立案を行い、受講生同士で協力し合いながら活動を運営することができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・②・③・4・⑤）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読み、授業計画を把握する。		
				復習	授業の評価方法や注意事項を確認する。		
	第 2 回	内容	支援活動内容についての説明	予習	要領・指針の子育て支援を確認する。		
				復習	子育て支援の考え方について整理する。		
	第 3 回	内容	親子活動内容についての検討①：過去の活動内容	予習	大学の HP から過去の活動を確認する。		
				復習	活動内容のイメージをまとめる。		
	第 4 回	内容	親子活動内容についての検討②：活動のねらい	予習	活動のねらいを考え、意見をまとめる。		
				復習	ねらいに沿った活動案を考える。		
	第 5 回	内容	親子活動内容についての検討③：活動期間の検討	予習	活動期間・回数・時期について意見をまとめる。		
				復習	活動の時期に沿った活動案を考える。		
	第 6 回	内容	親子活動内容についての検討④：主活動案の検討	予習	取り組みたい主活動をまとめる。		
				復習	検討内容を踏まえ主活動案を考える。		
	第 7 回	内容	親子活動内容についての検討⑤：主活動案の決定	予習	主活動の具体的な計画を立てる。		
				復習	決定した主活動に関する資料を収集する。		
	第 8 回	内容	親子活動内容についての検討⑥：活動担当決め	予習	担当したい活動について意見をまとめる。		
				復習	担当する活動の計画を立案する。		
	第 9 回	内容	親子活動内容についての検討⑦：各回の検討	予習	各回の活動の詳細を考える。		
				復習	各回の活動内容を検討する。		
	第 10 回	内容	親子活動内容についての検討⑧：各回の決定	予習	各回の活動内容の実施時期を考える。		
				復習	実施時期を踏まえた活動内容を検討する。		
	第 11 回	内容	親子活動の広報に関する検討	予習	過去の広報活動を確認する。		
				復習	広報活動の方法を確認する。		
	第 12 回	内容	ポスター、チラシの製作	予習	過去のポスター・チラシを確認する。		
				復習	ポスター・チラシを作成する。		
	第 13 回	内容	ポスターの掲示、チラシの配布	予習	過去の配布先・配布方法を確認する。		
				復習	配布先と調整を行う。		
	第 14 回	内容	親子活動準備①：教材研究（絵の具遊び）	予習	絵の具遊びに必要な素材を確認する。		
				復習	模擬制作を振り返り、素材や手順を検討する。		
	第 15 回	内容	親子活動準備②：教材研究（製作活動）	予習	製作活動に必要な環境を確認する。		
				復習	模擬活動を振り返り、環境や手順を検討する。		
	第 16 回	内容	親子活動準備③：指導案の作成	予習	指導案の作成方法を確認する。		
				復習	担当する活動の指導案を作成する。		
	第 17 回	内容	親子活動準備④：教材準備	予習	全活動に必要な教材を確認する。		
				復習	全活動に必要な教材を収集する。		
	第 18 回	内容	直前準備	予習	初回の活動に必要な素材や環境を確認する。		
				復習	活動当日の担当と役割を確認する。		
	第 19 回	内容	親子活動①：自己紹介、室内遊び	予習	活動に必要な素材や環境を確認する。		
				復習	活動の流れや注意事項を振り返り、共有する。		
	第 20 回	内容	前回の活動振り返りと次回の活動計画の確認①	予習	参加者の様子を振り返り、意見をまとめる。		
				復習	次回の活動の役割と流れを確認する。		

授 業 計 画	第 21 回	内容	親子活動②：製作活動	予習	活動に必要な素材や環境を確認する。
				復習	活動の流れや注意事項を振り返り、共有する。
	第 22 回	内容	前回の活動振り返りと次回の活動計画の確認②	予習	参加者の様子を振り返り、意見をまとめる。
				復習	次回の活動の役割と流れを確認する。
	第 23 回	内容	親子活動③：運動遊び	予習	活動に必要な素材や環境を確認する。
				復習	活動の流れや注意事項を振り返り、共有する。
	第 24 回	内容	前回の活動振り返りと次回の活動計画の確認③	予習	参加者の様子を振り返り、意見をまとめる。
				復習	次回の活動の役割と流れを確認する。
	第 25 回	内容	親子活動④：絵の具遊び	予習	活動に必要な素材や環境を確認する。
				復習	活動の流れや注意事項を振り返り、共有する。
	第 26 回	内容	前回の活動振り返りと次回の活動計画の確認④	予習	参加者の様子を振り返り、意見をまとめる。
				復習	次回の活動の役割と流れを確認する。
	第 27 回	内容	親子活動⑤：製作活動	予習	活動に必要な素材や環境を確認する。
				復習	活動の流れや注意事項を振り返り、共有する。
	第 28 回	内容	前回の活動と全体計画の振り返り	予習	参加者の様子を振り返り、意見をまとめる。
				復習	活動の全体を振り返り、意見をまとめる。
	第 29 回	内容	次年度に向けた意見交換	予習	次年度への引き継ぎ事項や意見をまとめる。
				復習	次年度に向けて資料を作成する。
	第 30 回	内容	まとめ	予習	子育て支援のあり方について意見をまとめる。
				復習	活動で学んだことを整理する。
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	・話し合いの内容および方向性について助言する。 ・活動の振り返りにおいて、活動内容および参加態度についてコメントする。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 授業態度（100％）				
教科書	なし				
参考文献	なし				
注意事項	・20名までの受講とする。 ・活動の実施時期・方法については、前年度までの取り組みを踏まえて授業時に検討する。				

科 目 名	カウンセリング論		単位数	2	実務経験	担当教員	か が や たかふみ 加賀谷 崇文
ナシバ [®] リング [®] コード [®]	CLP2221		授業形態	講義	⑦・無		
授 業 の 内 容	心の悩みを解決する方法の一つとしてカウンセリングが挙げられる。カウンセリングの場面で重要なことは、悩んでいるクライアントの話しを如何に聴き、如何に理解するかである。そこで本授業では、精神分析やロジャーズなどのカウンセリング理論を取りあげ、実習を交えながら、クライアントの悩みの聞き方を考えていく。 この授業でピアヘルパーの資格受験対策も行う。						
到 達 目 標	1. カウンセリングの技法を習得している。 2. 実際に悩んでいる人の相談相手になれる。 3. ピアヘルピングの理論を理解している。 4. ピアヘルピングを行える。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・②・③）4・⑤ 文化表現学科（1・2・3・4）						
授業計画	第1回	内容	カウンセリングの定義	予習	教科書の該当部分を読んでおく。		
				復習	もう一度教科書を読んで覚える		
	第2回	内容	構成的グループエンカウンター	予習	教科書の該当部分を読んでおく。		
				復習	もう一度教科書を読んで覚える		
	第3回	内容	現代社会とカウンセリング	予習	教科書の該当部分を読んでおく。		
				復習	もう一度教科書を読んで覚える		
	第4回	内容	カウンセリングと近接領域	予習	教科書の該当部分を読んでおく。		
				復習	もう一度教科書を読んで覚える		
	第5回	内容	ピアヘルピングの基本	予習	教科書の該当部分を読んでおく。		
				復習	もう一度教科書を読んで覚える		
	第6回	内容	リレーションのつくり方	予習	教科書の該当部分を読んでおく。		
				復習	もう一度教科書を読んで覚える		
	第7回	内容	問題の把握	予習	教科書の該当部分を読んでおく。		
				復習	もう一度教科書を読んで覚える		
	第8回	内容	援助法について	予習	教科書の該当部分を読んでおく。		
				復習	もう一度教科書を読んで覚える		
	第9回	内容	問題の解決法	予習	教科書の該当部分を読んでおく。		
				復習	もう一度教科書を読んで覚える		
	第10回	内容	青年期の諸問題	予習	教科書の該当部分を読んでおく。		
				復習	もう一度教科書を読んで覚える		
	第11回	内容	グループの動かし方	予習	教科書の該当部分を読んでおく。		
				復習	もう一度教科書を読んで覚える		
	第12回	内容	ゲシュタルトセラピー	予習	ゲシュタルトセラピーとは何か調べておく。		
				復習	理論を再確認する。		
	第13回	内容	論理療法	予習	論理療法とは何か調べておく。		
				復習	理論を再確認する。		
	第14回	内容	ロールプレイ	予習	ロールプレイの設定を考えておく。		
				復習	実践場面を考える。		
	第15回	内容	保育者とカウンセリング	予習	ここまでの授業内容を振り返っておく。		
復習				保育現場での相談全般を考える。			
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業を理解しているか、常に質問を行っていく。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（ 90％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度（ 10％）						
教科書	『ピアヘルパーハンドブック』（日本教育カウンセラー協会、図書文化社） 『ピアヘルパーワークブック』（日本教育カウンセラー協会、図書文化社）						
参考文献							
注意事項	ピアヘルパー資格受験希望者は必ず受講すること。						

科 目 名	福祉施設の現状		単 位 数	2	実務経験	担当教員	こむろ たいじ 小室 泰治	
ナソバ・リンク・コート*	SWS22211		授業形態	講義	有・無			
授 業 の 内 容	福祉施設の利用者は、社会的養護を必要とする子どもたちや障害を持った子どもたち(成人施設を含む)である。その利用者は施設でどのような生活をし、将来自立した生活を行うために保育士や職員はどのような支援を行っているのか、保育士の役割など事例を通して自立支援のあり方を理解し、課題を整理しながら実践の場で活用できるようにする。							
到 達 目 標	1. 福祉施設の入退所に係る児童相談所や福祉事務所などが行う措置、支援について説明ができる。 2. 各福祉施設の支援内容について説明ができる。 3. 福祉施設の職員として支援のあり方について説明ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（①・2・3・④・⑤）文化表現学科（1・2・3・4）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	社会的養護が必要な子どもの現状 福祉施設はどのような役割を担っているか	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で修得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	福祉施設の入所から退所までの手続き 措置機関としての児童相談所、福祉事務所の役割	予習	措置について調べる			
				復習	子どもの人権についてまとめる			
	第 3 回	内容	乳児院の現状と課題 子どもたちの生活と保育士の役割、具体的な愛着関係の形成方法	予習	乳児院について調べる			
				復習	愛着関係の形成についてまとめる			
	第 4 回	内容	児童養護施設の現状と課題 保育士の役割や被虐待児への支援、自立に向けた支援のあり方	予習	保育士の役割について調べる			
				復習	自立に向けた支援のあり方をまとめる			
	第 5 回	内容	情緒障害児施設の現状と課題 保育士の役割と家族支援のあり方	予習	情緒障害児施設について調べる			
				復習	保育士の役割をまとめる			
	第 6 回	内容	児童自立支援施設の現状と課題 入所児童の事例から非行と虐待の関係について検証する	予習	少年少女の非行について調べる			
				復習	非行と虐待の関係についてまとめる			
	第 7 回	内容	母子生活支援施設の現状と課題 事例を通して保育士の役割と支援のあり方を考える	予習	母子生活支援施設について調べる			
				復習	保育士の役割をまとめ			
	第 8 回	内容	障害児（者）施設の現状と課題 障害児（者）の自立と社会参加について事例を通して考える	予習	障害児（者）施設について調べる			
				復習	障害児（者）の支援のあり方をまとめる			
	第 9 回	内容	児童発達支援施設の現状と課題 施設内での訓練や保育士の役割を理解する	予習	児童発達支援センターについて調べる			
				復習	保育士の役割をまとめる			
	第 10 回	内容	里親制度の現状と課題 被虐待児の増加と里親制度の意義について事例を通して考える	予習	里親制度について調べる			
				復習	里親の抱える課題についてまとめる			
	第 11 回	内容	企業主導型保育園の現状と課題 保育環境と保護者の期待や不安	予習	企業主導型保育園について調べる			
				復習	望ましい保育環境についてまとめる			
	第 12 回	内容	小規模保育園や夜間保育園の現状と課題 子どもの発達と保育環境について考える	予習	小規模保育園、夜間保育園について調べる			
				復習	保育士が抱える課題についてまとめる			
	第 13 回	内容	福祉施設の倫理 児童養護施設での体罰事例を通して子どもの人権や権利擁護を考える	予習	子どもの権利ノートについて調べる			
				復習	体罰の防止策をまとめる			
	第 14 回	内容	認可外保育施設の現状と課題 民間事業者参入に伴う認可外保育施設の増加と課題について考える	予習	認可外保育施設について調べる			
				復習	事故防止についてまとめる			
	第 15 回	内容	社会福祉法人の意義 公共性重視型と市場原理重視型の違い	予習	社会福祉法人について調べる			
				復習	社会福祉法人の公共性についてまとめる			
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	定期試験後に解答を示し解説を行う						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（60％）、レポート・課題（40％）						
教科書	なし(適宜プリントを配布)							
参考文献	『子どもたちの生活を支える社会的養護内容』（小野澤昇・田中利則・大塚良一 編著、ミネルヴァ書房） 『ルポ 保育崩壊』（小林美希、岩波新書）							
注意事項	1. 授業中スマートホンなどはカバンの中に入れておくこと。 2. レポートを発表してもらうので積極的に参加すること。							

科 目 名	地 域 福 祉		単 位 数	2	実務経験	担当教員	あきやま ひろこ 秋 山 展子
ナソパ®リンク®コード*	SWS22212		授業形態	講義	有・無		
授 業 の 内 容	本講義では地域福祉の発展過程を踏まえながら、将来の展望を示し、社会福祉に必要な知識を学ぶことを目的としている。						
到 達 目 標	1．地域福祉の基本的な考え方とシステムを理解している。 2．行政組織と民間組織の役割を理解している。 3．現代における地域福祉の課題を理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科 ①・2・3・4・⑤ 文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第1回	内容	新しい社会福祉システム	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	地域福祉の基本的な考え方	予習	教科書「子ども支援」の章を読んでおく		
				復習	プリントを中心に内容をまとめる		
	第3回	内容	地域福祉の主体と福祉教育	予習	教科書「教育と福祉制度」の章を読んでおく		
				復習	プリントを中心に内容をまとめる		
	第4回	内容	行政組織と民間組織の役割と実際	予習	教科書「児童・地域福祉」の章を読んでおく		
				復習	プリントを中心に内容をまとめる		
	第5回	内容	コミュニティソーシャルワークと専門職の役割	予習	教科書「相談援助」の章を読んでおく		
				復習	プリントを中心に内容をまとめる		
	第6回	内容	住民の参加と方法	予習	教科書「地域福祉理解」の章を読んでおく		
				復習	プリントを中心に内容をまとめる		
	第7回	内容	地域子育て支援の施設を見学	予習	子育て支援施設について理解を深める		
				復習	見学から学んだことを整理する		
	第8回	内容	地域子育て支援の課題	予習	理解したことをレポートにして提出		
				復習	支援課題を整理する		
	第9回	内容	地域における社会資源	予習	教科書「地域福祉関連機関」の章を読んでおく		
				復習	プリントを中心に内容をまとめる		
	第10回	内容	社会資源の活用・調整	予習	教科書「ボランティア」の章を読んでおく		
				復習	プリントを中心に内容をまとめる		
	第11回	内容	民生委員とは	予習	教科書「民生委員」の章を読んでおく		
				復習	プリントを中心に内容をまとめる		
	第12回	内容	地域における福祉サービスの実際	予習	居住地域の福祉サービスを調べる		
				復習	調べた内容をレポートにまとめる		
	第13回	内容	日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方	予習	日本の福祉サービスの章を読んでおく		
				復習	プリントを中心に内容をまとめる		
	第14回	内容	福祉によるまちづくりとソーシャルアクション	予習	教科書「地域ケア」の章を読んでおく		
				復習	プリントを中心に内容をまとめる		
	第15回	内容	これまでのまとめ	予習	教科書・プリントの内容を整理する		
				復習	学習内容をまとめて、学習成果を振り返る		
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	・小テストを行い、試験後に解答を示し、解説をおこなう。 ・提出物等について確認を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験： 実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（50％）、課題（20％）、授業態度（30％）※講義の中で必要に応じて小テストをおこなう。						
教科書	『子育てとケアの原理』（高橋貴志監修、望月雅和編著、北樹出版）						
参考文献	なし						
注意事項							

科 目 名	保育施設経営論		単 位 数	2	実務経験	担当教員	いのう けいこ 伊能 恵子	
ナソバ・リンク・コート*	SWS22213		授業形態	講義	有・無			
授 業 の 内 容	保育所を経営するということは、保育実践の“価値”を生み出し続けることであるという真理を理解する。そのために、経営の条件、経営者の条件を学び「経営品質」の考え方を獲得し、身につけることを目的とする。							
到 達 目 標	1. 学生 1 人 1 人が経営者としてばかりではなく保育実践者としての倫理観を習得できる 2. 保育施設を経営する観点から、保育実践をみがいていくフレームワークを習得できる 3. 自分の良さを発見し、職場で輝く働き方を習得できる 4. 組織人としての心構えを習得できる							
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（①・②・③・4・⑤）文化表現学科（1・2・3・4）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	保育所経営の条件	予習	シラバスを読んでくる			
				復習	人生の第一歩シートをまとめる			
	第 2 回	内容	価値を生み出す保育所経営活動	予習	経営者の条件を考える			
				復習	経営理念と方針を考える			
	第 3 回	内容	保育所におけるリーダーシップ	予習	リーダーシップとは何かを考える			
				復習	経営の本質と認識をまとめる			
	第 4 回	内容	保育所における社会的責任	予習	社会的責任とは何かを考える			
				復習	保育士に守らせたい倫理観をまとめる			
	第 5 回	内容	保育業界市場の理解と対応	予習	保育業界とはどんなものかを考える			
				復習	保育の対象とその理由をまとめる			
	第 6 回	内容	保育所戦略の策定と展開	予習	保育所とはどんな所かを考える			
				復習	保育所の役割とあるべき姿をまとめる			
	第 7 回	内容	保育士の能力向上	予習	保育士に必要な能力を考える			
				復習	理想とする職場環境をまとめる			
	第 8 回	内容	保育所の能力向上	予習	人材育成とは何かを考える			
				復習	保育士資質向上の必然性をまとめる			
	第 9 回	内容	保育現場という職場環境	予習	職場とは何かを考える			
				復習	職場内コミュニケーションをまとめる			
	第 10 回	内容	保育価値創造のプロセス	予習	子ども、保護者、保育士の関係性を考える			
				復習	顧客価値とは何かをまとめる			
	第 11 回	内容	情報マネジメント	予習	保育に必要な情報とは何かを考える			
				復習	情報コントロールの必然性をまとめる			
	第 12 回	内容	保育所経営活動結果分析	予習	顧客とは何かを考える			
				復習	顧客満足の視点をまとめる			
	第 13 回	内容	人事・労務管理①：自己啓発	予習	労務管理とは何かを考える			
				復習	自己分析を行いまとめる			
	第 14 回	内容	人事・労務管理②：自己育成	予習	人事管理とは何かを考える			
				復習	他己分析を行いまとめる			
	第 15 回	内容	経営すること	予習	経営者とはどうあるべきか考える			
				復習	経営することをまとめる			
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	毎授業ごとの課題、レポートにコメントし返却する						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（100%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ %）						
教科書	なし							
参考文献	『日本経営品質賞アセスメント基準書』（日本経営品質委員会）日本経営品質学会機関紙 『社会福祉施設・事業者の為の経営ハンドブック』（東京都社会福祉協議会）							
注意事項	毎授業に課題提出を求める為、出席は必須である。							

科 目 名	インターンシップ		単 位 数	2	実務経験	担当教員 はしもと ようこ 橋本 洋子
ナンバリングコード	SWS2214		授業形態	実習	有・無	
授 業 の 内 容	インターンシップ（就業体験）は学外実習のひとつであり、様々な分野の企業等の就業体験を通して職業理解を深め、広い視野をもつことができる。この授業は長期休業期間等を利用して実施されるインターンシップ実習、および事前事後指導からなる。実務体験を通して、自身の職業適性、社会人に求められる基礎学力、キャリア形成を考える絶好の機会である。					
到 達 目 標	1. 授業を通して社会人として必要なビジネスマナーを習得している。 2. 修業体験を通して仕事への責任感を持つことができる。 3. 就業体験を通して自己の課題に気づき自主的に行動することができる。					
学位授与方針	幼児教育学科（１・２・３・４・５・６・７） 地域保育学科（１・②・③・４・⑤） 文化表現学科（１・２・３・４）					
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス① インターンシップ実習の意義と概要	予習	インターンシップとはなにか考える	
				復習	インターンシップの意義を理解する	
	第 2 回	内容	ガイダンス② インターンシップ報告会 （前回実習参加学生の体験発表）	予習	インターンシップで学ぶ内容を考える	
				復習	先輩等の体験報告をまとめる	
	第 3 回	内容	インターンシップへの心構え 受入事業体の職種・業務内容の理解	予習	事業体の職種、仕事内容を調べておく	
				復習	希望する実習先について調べる	
	第 4 回	内容	インターンシップ実習への申込手続き 事業体の選定・実習申込書の作成	予習	実習で学びたいことを考える	
				復習	必要書類をまとめる	
	第 5 回	内容	学内選考（書類提出・面談）	予習	選定した実習先について調べる	
				復習	書類を精読する	
	第 6 回	内容	実習先の決定、書類の配布	予習	実習先の職務内容を理解する	
				復習	必要書類に記入する	
	第 7 回	内容	事前指導① 実習の目的、目標設定、手続き	予習	実習の目標を考える	
				復習	調査書の下書きをする	
	第 8 回	内容	事前指導② 調査書、承諾書等書類の作成および提出	予習	必要書類を揃える	
				復習	必要書類を確認する	
	第 9 回	内容	事前指導③ 社会人としての基本マナーを学ぶ	予習	テキスト、配布資料を精読する	
				復習	テキストを読み返す	
	第 10 回	内容	事前指導④ オリエンテーションについて 日誌の書き方	予習	オリエンテーションの意義を考える	
				復習	実習先への連絡方法を確認する	
	第 11 回	内容	事前指導⑤ 実習中の注意事項	予習	日誌の必要箇所を記入する	
				復習	実習に必要な書類を確認する	
	第 12 回	内容	就業体験（現場での実務体験）５～１４日 （事業体によって実習時期・期間は異なる）	予習	実習先からの注意事項を確認する	
				復習	学んだことを日誌に記録する	
	第 13 回	内容	事後指導① 記録の提出、報告書の作成・提出	予習	実習を振り返り報告書にまとめる	
				復習	報告会の準備をする	
	第 14 回	内容	事後指導② 面談、実習報告会の準備	予習	学んだことをまとめておく	
				復習	面談を通して学びを振り返る	
	第 15 回	内容	事後指導③ インターンシップ報告会	予習	発表の準備をする	
				復習	インターンシップで学んだことを確認する	
予習に要する学習時間：概ね３０分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね３０分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題について毎授業で確認し説明する。事後指導にて講評する。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 実習（６０％）、課題・記録（２０％）、授業態度（２０％）					
教科書	『新編 ワークで学ぶ インターンシップ・リテラシー』（長谷川文代 編、西文社）					
参考文献	必要に応じて紹介する。					

注意事項	インターンシップは保育実習では体験できない一般企業をはじめ様々な事業体での就業体験である。積極的にチャレンジして欲しい。ただし、以下の注意事項を厳守すること。事業体によって実習の時期および期間が異なるため、詳細は授業内で説明する。 1. 学外でのインターンシップ実習にはこの授業を履修、出席することが条件である。 2. 実習に必要な手続きをはじめ事前・事後指導を行うので授業の無断欠席は派遣を中止する場合もある。 3. 実習の派遣は、書類の提出および面談の上、決定する。 4. 履修態度、必要書類の提出等に問題がある場合は履修を取り止めることもある。
------	--

(添付資料)

【地域保育学科】

「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

(シラバスリンク：新カリキュラム)

https://www.akikusa.ac.jp/akitan/wordpress/wp-content/themes/akikusaTheme/assets/pdf/ch_syllabus_2019_new.pdf#pagemode=bookmarks

	科目名	単位数	授業形態	担当教員	シラバスページ
1	保育所実習Ⅰ	2	実習	土屋	本年度配当無し
2	施設実習	2	実習	秋山	本年度配当無し
3	保育所実習Ⅱ	2	実習	土屋	本年度配当無し
4	児童館実習	2	実習	秋山	47
5	教育実習Ⅰ	2	実習	利根川	本年度配当無し
6	教育実習Ⅱ	2	実習	利根川	本年度配当無し
計		12			

(シラバスリンク：旧カリキュラム)

https://www.akikusa.ac.jp/akitan/wordpress/wp-content/themes/akikusaTheme/assets/pdf/ch_syllabus_2019_old.pdf#pagemode=bookmarks

	科目名	単位数	授業形態	担当教員	シラバスページ
1	保育所実習Ⅰ	2	実習	土屋	51
2	施設実習	2	実習	秋山	52
3	保育所実習Ⅱ	2	実習	土屋	53
4	児童館実習	2	実習	秋山	本年度配当無し
5	幼児教育実習	4	実習	利根川	67
計		12			

注) 「実務経験のある教員等による授業科目」とは、担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っている授業科目を指す。実務経験があっても、担当する授業科目の教育内容と関わりがなく、授業に実務経験を活かしているとは言えない場合は対象とはならないことに注意すること。また、必ずしも実務経験のある教員が直接の担当でなくとも、例えば、オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて指導を行う場合や、学外でのインターンシップや実習等を授業の中心に位置付けているなど、主として実践的教育から構成される授業科目もこれに含む。必修科目、選択科目又は自由科目の別を問わない。